データヘルス計画策定のための共通の様式例

- 〇 この様式例は、計画の標準化を推進するために、都道府県が市区町村に提示する様式の一例を示したものである。都道府県において独自の様式を作成することを妨げるものではない。また、実際の活用状況を踏まえて、最終評価時に、様式の見直しが必要となる。
- 〇 本様式例を参考に共通の様式を作成する場合は、都道府県の判断により、適宜、内容を追加する等、修正することは可能である。
- 都道府県で共通の様式を市区町村に配付する際は、都道府県の健康課題や健康増進に係る取組の方向性も併せて市区町村に提示して、それらを踏まえて、様式を記入するよう市区町村に伝える必要がある。また、様式を配布するだけではなく、記載されたものや計画を収集、分析、評価し、市区町村の支援の参考情報として活用する。
- 〇 市区町村においては、都道府県から共通の様式が提示された場合は、その様式を参考にして、計画を策定する。共通の様式にある記載事項は、都道府県が、市区町村に記載してもらいたいと考えた事項である。計画の策定の際には、市区町村の判断により、共通の様式にある記載事項に加え、それ以外の情報も参考として活用する。
- この様式例は、国保組合においても、活用することができる。適宜内容を修正し、 例えば、複数の組合が、作成後の様式を交換し、比較することは可能である。また、企 業の健康経営との連携(コラボヘルス)を推進することも重要である。
- 全てのシートのフォント、セルの高さ・幅等は適宜、変更可能である。
- 〇 本様式は表計算ソフトで作成しているが、必要な表を追加すれば、ワープロソフトにより作成することは可能である。

※計画様式(I~V)は、東京大学「データヘルス計画標準化ツール®」を改変して作成。

I 基本情報

(2022年度分 2023年3月31日時点)

加入者数	被保険者等の	の基本情報		(2022 1527)	2020 0	() 101 H H J M()
	全体	%	男性	%	女性	%
被保険者数	7578	62. 5	2564	被保険者の33.8%	5014	被保険者の66.2%
被扶養者数	4540	37. 5	1389	被扶養者の31.0%	3151	被扶養者の69.0%
3	•					

2-1. (1) 基本的事項

2-1. (1)①計画の趣旨	当組合では健康・医療情報を活用した効果的かつ効率的な保健事業の実施を図るため、平成28年3月に「第2期データヘルス計画書」を策定し、保健事業を実施してきました。また、特定健康診査・特定保健指導の実施計画については、「高齢者の医療の確保に関する法律(昭和57年法律第80号)」に基づき、特定健康診査及び特定保健指導の実施率向上に取り組んできました。今般、計画の計画期間が満了するにあたり、第2期データヘルス計画を振り返り、評価し、健康寿命の延伸、医療費適正化を目的とした「第3期データヘルス計画」を策定します。
2-1. (1)②計画期間	令和6年度から11年度まで
2-1. (1)③実施体制	健保実施や外部委託

2-1. (1) ③関係者連携 外部医療機関や、保健指導外部委託機関。

保険者及び関係者	具体的な役割、連携内容
1. (4)①市町村国保	
1. (4)②都道府県(国保部局)	
1. (4)③都道府県(保健衛生部局)	
1. (4) ④保健所	
1. (4) ⑤国民健康保険団体連合会及 び保健事業支援・評価委員会、国民健康	
1. (4)⑥後期高齢者医療広域連合	
1. (4)⑦保健医療関係者	
その他	

2-1. (2) 現状の整理

2-1. (2)①保険者の特性	加入者全体では20~29歳と45~64歳が多い二層構造で、被保険者は女性が6割強を占めており、男性は55~64歳が多い。加入者は北海道内各地に点在する。 当健保組合には理事に歯科医師が在籍。保健師等看護職は不在。
地域資源の状	加入者が北海道内に点在しているため、特定保健指導等は事業所や自宅 兄 へ指導員の訪問、医療機関を選択して受診できるよう配慮。地方での保 健指導開催など対象者の利便性を考慮している。
2-1.(2)②前期計画等に 係る考察	特定健診をはじめとする各種健診(検診)、保健指導の受診率の向上が 引き続き必要。 生活習慣病ハイリスク者や糖尿病性腎症重症化予防のための取り組みも 実施しており、この事業の効果検証を行うことでPDCAサイクルを回 し、さらなる疾病予防と医療費抑制につなげたい。

※項目名の前の数字は、手引きの見出しの番号。

Ⅱ 健康医療情報等の分析と課題

①健康・医療情報 等の大分類	②左記の大分類のうち、健康・医療情報等の分析に必要となる各種データ等の分析結果(必要に応じて適宜追加・削除)	参照データ	③健康課題 との対応
医療費の分析	【3-0 (年齢階級別加入者数 p4~6) 3-1 (年齢階級別医療費 全体 p7~9)、3-5 (被保険者 疾病分類別医療費 p20~31)】 ③ 加入者全体では20~29歳と45~64歳が多い.		A B C D E
特定健康診査・特定 保健指導等の健診 データ(質問票を 含む)の分析	【4-1 (健康分布 肥満 p57~60)、4-2 (健康分布 問診 p61~62)、4-3 (健康分布 検査・計測 p63~68)】 ③ 全年齢 (40歳以上がほとんど) 男性の肥満該当者の割合は全体の38~40%であり、「20歳時から10kg以上増加」は男性45%前後存在。 ⑤ BM 1 25以上は各年代3割強~4割弱存在したが、腹囲基準超過該当者割合は5割強と多く内臓脂肪型肥満が一定数存在すると推察される。 【4-2 (健康分布 問診票 p61~62) ⑥ 3年間の男女の食習慣傾向として男性は「食べる速度が速い」人が4割、「就寝間近の夕食を週3日以上」の人が3割弱、「朝食を抜くのが週に3回以上」の人が2割強存在した。 ⑥ 男女とも「朝食を抜くのが週に3回以上」の人の割合が経年度的に増加傾向であった(男22.4→24.2%、女18.0→20.0%)。 ⑥ 飲酒に関しては、「お酒を飲む頻度毎日」は男性3割強女性2割弱、「1日あたりの量が1合以上」の割合は男性6割弱、女性3割強であった。 【4-4 (健康分布 喫煙率 p99~100) ⑥ 喫煙率は男性は15%台、女性が12%台で男女とも経年度的に喫煙率の低下がみとめられた(男性全体16.6→15.9%、女性13.5→12.8%6)。男性は国の基準より低いが女性は高い(男性25.4%、女性7.7%)。40歳代以上では、男女とも40歳代の喫煙率が高い。 【5-2 (後発医薬品数量・薬剤費割合 p105~107)】 ⑥ 後発医薬品の使用割合は70%台前半から後半であり、国の基準の80%にまだ達していない。		G H
レセブト・健診データ 等を組み合わせた分析	【3-7 (被保険者生活習慣病 p44~49)、3-8 (被扶養者生活習慣病 p50~55)】 ⑤ 男性被保険者の生活習慣病の医療費総額 (入院+入院外) は糖尿病、腎疾患、高血圧症が多く、女性被保険者では高血圧症が首位であり脳血管疾患も多い。 ⑥ 男性被扶養者の生活習慣病の医療費総額 (入院+入院外) は高血圧症等、脂質異常症、糖尿病が多く、女性被扶養者では脂質異常症、脳血管疾患が多く増加傾向。 【4-3 (健康分布 検査・計測 p70、73】 ⑥ 拡張期血圧の受診勧奨者割合は男性に多く、40歳代から50歳代にかけて倍近く増加した。 ⑥ 収縮期血圧の受診勧奨者割合は男性で高く、50歳代で24~29%、60歳代で35~38%であった。		
その他	◎特定健診、特定保健指導の受診率向上		

(注)上記各種データについては、経年比較、国・都道府県・同規模保険者との比較等により分析する方法もある。

参照データ (帳票名、データ項目 名等を記載)

Ⅲ 計画全体

	保険者の 健康課題 被保険者の健康に関する課題										データヘルス計画全体 における目的	抽出した健康課題に対して、この計画によって目指す姿(目的)・目標・評価指標							
① 項目	②健康	課題	③優先する	④対応する 保健事業	⑤データヘルス計画 ⑦部 無性標		⑦評価指標	⑧計画策定 時実績	⑨目標値										
- 4			健康課題	番号	 項目	全体における目的	少可 1 脚 7 对	2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)					
Α	◎ 加入者全体では20~29 層構造で、被保険者は女性 り、男性は55~64歳が多く 人数構成から高齢者側に仮 ② 一人あたり医療費は70 以降で急増する。 ◎ 医療費総額は2020年度 て、特に医科入院外で医療 たり医療費が経年度的に境	が6割強を占めてお 、医療費総額は加入者 い60~74歳が多い。 ~74歳が高額で60歳代 から2022年度にかけ 費総額を含めて一人あ	5	1, 2, 3, 4	Α	医療費総額、一人あたり医療費の削減。	◎医療費総額、(医科入院・入院外)◎年齢階級別 一人あたり医療費 円/年 (特に60~74歳)	一人あたり医療費60~64歳357,119円65~69歳70~74歳63歳円470~74歳634,950円	一人あたり 医療費前年 度の3%約削 減 60~64歳 346,406円 65~69歳 70~74歳 615,902円	一 医療比3和6 度比3和6 度比3和6 度の鑑み度再 和7年 に 定 の に の に の に の に の に の に の に の に の に	度比3%減 (前年度の 実績値を鑑 みて当該年	一人教 を 度 力 を 力 の 後 力 等 の 後 当 終 定 的 存 他 う 修 後 ら 後 ら 後 ら 後 ら き ら き ら き ら き ら き ら き ら	(前年度の 実績値を鑑 みて当該年	医療費前年 度比3%減 (前年度の 実績値を鑑 みて当該年					
В	◎ 男性被保険者の疾病分物が入院で首位、次いで循院外でも新生物、循環器系代謝疾患が多い。 ◎男性の収縮期血圧 男性歳代から50歳代にかけて任 18%→50歳代27~ 30%)	環器系疾患であり、入疾患、内分泌・栄養・ の受診勧奨者割合は40	1	1	В	新生物、循環器疾患、内分泌系疾患の早期発 見・治療。	◎被保険者の19疾病分類別医療費総額(新生物、循環器系疾患、腎尿路系疾患、内分泌系疾患)	被保険者 新生物 230,991千円 循環器系 152,874千円 腎尿路 109,483千円 カ分泌系 78,138千円	被保険者疾病別医療病別多6減 第396減 第生物 224.061 干 円 循環器干 円 門暴系 148.28 干 円 腎尿路 106,199 干 円 内分泌系 75,794 干 円	"	u,	n	"	"					
С	② 女性被保険者 疾病分類は新生物、妊娠・分娩・産 化器系疾患が、入院外では 次いで呼吸器系疾患、内分 が多い。	褥、循環器系疾患、消 腎尿路生殖器系疾患、	2	2	С	新生物、循環器疾患、内分泌系疾患の早期発見・治療。 妊娠・分娩・産褥期を正常に過ごせるよう支援。	◎被保険者の19疾病分類別医療費総額(新生物、循環器、妊娠・分娩・産褥、)	被保険者女性 新生物 90.670千円 循環器 42.196千円 妊娠・分娩・ 産褥 25,428千円	被保険者女性 妊妊 妊娠・分娩・産褥 25,000千円	"	"	n	"	n					
D	◎ 男性被扶養者は25歳未; 類別医療費総額の入院外は 年々増加傾向。		11	10	D	子供の呼吸器系疾患の予防についての知識、 情報提供し医療費の抑制に努める。	◎被扶養者の19疾病分類別医療費総額(呼吸器系疾患)	被扶養者 呼吸器系 49,366千円	被扶養者 呼吸器系 49,000千円	"	"	"	"	"					
E	◎ 女性被扶養者は25歳未決疾病分類別医療費総額は人物が多い。		4	4	E		◎がん検診受診率(胃、大腸、肺、乳、子 宮)5大がんについて。	被扶養者率 96 受診 平 96 突移 で 96 突移 で 96 実積値不明	被扶養者 乳がん率 50% 子 50% 子 50% 胃が必要 50% 事 50% 大腸が必要 50% か 50% か 50% を 50% 50% を 50% を 50% を 50% を 50% を 50% 60% を 50% を 50% 50% を 50% を 50% 60% 50% 50% 60% 60% 50% 60% 60% 60% 60% 60% 60% 60% 60% 60% 6	"度の (前年度を (実験で を を を は り は り は り は り に と の と り り り り り り り り り り り り り り り り り	"	"	"	"					

F	◎ 男性被保険者の生活習慣病の医療費総額(入院+入院外)は糖尿病、腎疾患、高血圧症が多く、女性被保険者では高血圧症が首位であり脳血管疾患も多い。 ◎ 男性被扶養者の生活習慣病の医療費総額(入院+入院外)は高血圧症等、脂質異常症、糖尿病が多く、女性被扶養者では脂質異常症、脳血管疾患が多く増加傾向。	3	3	F	生活習慣病の予防、またはすでに罹患している場合はステージを進行させない疾病管理を 支援。	②生活習慣病の医療費総額(被保険者、被扶養者を分け、糖尿病、高血圧、腎疾患)	被保険者 糖尿病 37,293千円 高血圧 40,651千円 腎疾患 37,910千円	被保険者生 海費総 病費総 動尿病 36,174千円 39,431千円 腎疾患 36,772千円	度以降は再	ı,	"	"	"
G	◎ 全年齢(40歳以上がほとんど)男性の肥満該当者の割合は全体の38~40%であり、「20歳時から10kg以上増加」は男性45%前後存在。 ◎ BM I 25以上は各年代3割強~4割弱存在したが、腹囲基準超過該当者割合は5割強と多く内臓脂肪型肥満が一定数存在すると推察される。	6	5		肥満は高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病のリスク要因であり、特に内臓脂肪型間機病のリスク要因であり、特に内臓脂肪型患などのハイリスク要因であるため、肥満の是正を支援。 現在ハイリスク者重症化予防対策では40歳以上を対象としているが、「20歳時から体重が10kg以上増加している」割合が特に男性で高いため、若年期からの保健指導の実施に努める。	◎健診データの肥満者(BMI25以上の割合、腹囲基準以上の者の割合)男女、年代別。 ②健診問診表の「20歳時から10kg以上増加」した者の割合	男性 (特定) の割分 (特定) の割分 (特定) の割分 (特定) の割分 (40%) 以上 歳強 (40%) 以上 歳強 (40%) の割合で引きいる。 (44.4 49%) は (44.4 49%)	男性(特定) 健診の影響を 者) 当者の材の 37.5% 製上の影響とも 450.096 時期 で20歳時以上で 位置の問時以上で 位置の問時以上で 位置の問時以上で 44.096 世で44.096	и	"	男性(特定) 明報 (特定) (特定) (特定) (特定) (特定) (特定) (特定) (特定)	И	"
Н	◎ 3年間の男女の食習慣傾向として男性は「食べる速度が速い」人が4割、「就寝間近の夕食を週3日以上」の人が3割弱、「朝食を抜くのが週に3回以上」の人が2割強存在した。 ◎ 男女とも「朝食を抜くのが週に3回以上」の人の割合が経年度的に増加傾向であった(男22.4→2%、女18.0→20.0%)。	8	7	Н	食生活の改善により生活習慣病を予防する。	◎健診問診表の食習慣	食べる速い 速い 男39.4、女 25.3% 就模間近の夕 食 男30.7、女 24.3% 朝食抜き 男24.2、女 20.0	各項目約 3%前年目指 す。速さ が速い 男36.7% 就寝間近 男27.2% 朝食1.2%	"	"	"	"	"
I	飲酒に関しては、「お酒を飲む頻度毎日」は 男性3割強女性2割弱、「1日あたりの量が1合以 上」の割合は男性6割弱、女性3割強であった。	9	8	I	飲酒習慣の改善によりアルコールが起因とな る生活習慣病を予防する。	◎健診問診票の飲酒習慣	飲酒毎日 男31.3、女 18.0% 適量以上の飲 酒 男58.3、女 34.6%	各項目前年 度比3%減 を目指す 飲酒毎日 男30.4、 適量以上の 飲酒 男54.86%	"	"	"	"	"
J	◎ 喫煙率は男性は15%台、女性が12%台で男女と も経年度的に喫煙率の低下がみとめられた(男性 全体16.6⇒15.9% 女性13.5⇒12.8%)。男性は国 の基準より低いが女性は高い(男性25.4%、女性 7.7%)。40歳代以上では、男女とも40歳代の喫煙 率が高い。	10	9	J	喫煙率の減少により生活習慣病を予防する。	◎健診問診表の喫煙率(男女別)	喫煙率 男15.9、 女12.8%	男15.0% 女12.0%	"	n.	男14.5% 女11.5%	n.	n
К	◎ 後発医薬品の使用割合は70%台前半から後半 であり、国の基準の80%にまだ達していない。	7	6	К	後発医薬品の利用促進により医療費の抑制を 図る。	◎後発医薬品の使用割合	2023年3月 79. 4%	80%以上	"	"	"	"	"

① 項目	(場データヘルス計画(保健事業全体) の目標を達成するための戦略
A	医療費総額の削減
B, C, D, E, F	疾病別一人あたり医療費の削減
, C, D, , F, G, H, I	健診(検診)受診率の向上
B. C. D. E. F	生活習慣病などの重症化予防
(喫煙率の減少
G. H. I	生活習慣の改善

(注1) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。 (注2) 実績年度が異なる場合には、欄外等に注釈を記載。 (注3)目標値は、必要な年度に記載。

個別の保健事業

解決すべ き健康課 題と保健 事業の対 応づけ

⑩事業 番号	⑪事業名称	⑫重点・ 優先度
1, 2, 3, 4	特定健診	1
5	特定保健指導	2
1, 2, 3, 4	人間ドック・脳ドック	3
	集団検診	4
1, 2, 3, 4	生活習慣病ハイリスク者の受診勧奨	. 5
1, 2, 3, 4	糖尿病性腎症重症化予防	6
1, 2, 3, 4	医療費通知	12
6	ジェネリック医薬品差額通知	7
6	ジェネリック医薬品の使用促進	8
5	各種大会助成	9
5	ウォーキングイベントへの参加及び助成	10
1, 2, 3, 4	家庭用常備薬斡旋	- 11
	死亡見舞金	15
	傷病見舞金	14
1, 2, 3, 4	レセプト点検等	13

手引きP16以降を参照。

- 「II 健康医療情報等の分析と課題」の分析結果から抽出した健康課題は、「II 計画全体」の②「健康課題」に記載し、この②「健康課題」に対応する①「項目」に記載されたアルファベットを「II 健康医療情報等の分析と課題」の③「健康課題との対応」の欄に記載する。
- 記載の一例としては、②「健康課題」を記載後、②「健康課題」に対応する⑦「評価指標」を記載し、⑤「項目」と①「項目」は同一のアルファベットとする。

この⑦「評価指標」に対応する⑥「データヘルス計画全体における目的」を記載し、⑧「計画策定時実績」及び⑨「目標値」を記載する。

⑥「データヘルス計画全体における目的」は、一つとは限らず、複数の⑦「評価指標」を包含して記載しても良い。

なお、②「健康課題」に対応する⑦「評価指標」は、一つとは限らず、複数の⑦「評価指標」を包含して記載しても良い。

- ②「健康課題」を解決するための個別の保健事業は、⑩「事業番号」、⑪「事業名称」を記載し、⑰「重点・優先度」は、1から順位づけ、この⑩「事業番号」と④「対応する保健事業番号」を同一にし、③「優先する健康課題」は、1から順位づける。
- (値「データヘルス計画(保健事業全体)の目標を達成するための戦略」については、個々の②「健康課題」に応じて設定する必要はなく、複数の②「健康課題」を包含して記載しても良い。 この場合、③「項目」と①「項目」は同一のアルファベットとする。
- ②「健康課題」を解決するための個別の保健事業は、一つとは限らず、このため、④「対応する保健事業番号」は、複数の⑩「事業番号」を包含して記載しても良い。

なお、上記の一例の順序以外の順序で記載してもかまわない。

データヘルス計画に記載する個別の保健事業数は、5~10事業程度を想定している。ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチの両者を含める必要があるが、それぞれ別の保健事業として実施する形態と、ひとつの保健事業に両者を含める形態があり得る。

個別の保健事業

事業番号 1 ①事業名称 特定健診 ②事業の目的 生活習慣病リスクの把握、特定保健指導対象者の抽出 ③対象者 被保険者、被扶養者(40~74歳 全員) ④現在までの事業結果 特定健診受診率(令和4年度実績 57.1%)

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績										
	の計1世11 保	2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)				
アウトカム (成果) 指標	特定健診の案内、周知率	100.0%	100.0%	100. 0%	100.0%	100. 0%	100. 0%	100.0%				
アウトプット (実施量・率) 指標	特定健康診査実施率	55. 0%	58. 0%	60. 0%	62. 0%	64. 0%	68. 0%	70. 0%				

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 主な戦略特定健診の案内・周知。 受診時期の見直し(休日、夜間等)。

⑩現在までの実施方法 (プロセス)

単独受診、ドックや集団検診受診時に併せて受診。

⑪今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

特定健診の案内・周知。 受診時期の見直し(休日、夜間等)。

⑩現在までの実施体制 (ストラクチャー)

周知方法。

受診可能な健診機関。

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

受診率アップのため、周知の変更など

仰評価計画

受診率の推移。被保険者、被扶養者、被保険者・被扶養者計で算出。

事業番号 2	①事業名称	特定保健指導
②事業の目的	対象者の生活習慣改善、生活習慣病ハイリスク者の減少	
③対象者	被保険者、被扶養者(40~74歳 基準該当者)	
④現在までの事業結果	特定保健指導受診率(令和4年度 2.9%)	

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績	⑧目標値					
指標 少計 伽指標		2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム (成果) 指標	特定保健指導対象者の割合	20. 0%	19. 8%	19. 6%	19. 4%	19. 2%	19.0%	18. 8%
アウトプット (実施量・率) 指標	特定保健指導実施率	3.0%	4. 0%	5. 0%	6. <mark>0</mark> %	7. 0%	8. 0%	9. 0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 対象者への案内、周知方法。 主な戦略 保健指導を受けていただきやすい日時の設定。ICTの活用。

⑩現在までの実施方法 (プロセス)

事業所や自宅へ指導員の訪問、医療機関を選択して受診、地方での保健指導開催(H29年度実施)など対象者の利便性を考慮し様々な方法での受診を可能とした。また参加有無未回答者へ再度案内文書を送付し、受診勧奨を図った。

①今後の実施方法 (プロセス) の改善案、目標

ICTの利用。

⑩現在までの実施体制 (ストラクチャー)

外部委託

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

継続

14評価計画

年度末に特定保健指導対象者割合の把握。

保健指導対象者の保健指導が終了した時点で特定保健指導実施率把握。

事業番号 3 ①事業名称 人間ドック・脳ドック ②事業の目的 健康状態の把握、生活習慣病・疾病重症化予防、特定健診受診率向上。 ③対象者 被保険者、被扶養者(0~74歳 基準該当者) ④現在までの事業結果 人間ドック受診者数:542名、脳ドック受診者数:55名

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績						
7日1茶		2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム (成果) 指標	人間ドック受診者数	542名	550名	550名	550名	560名	560名	560名
アウトカム (成果) 指標	脳ドック受診者数	55名	60名	60名	60名	70名	70名	70名
アウトプット (実施量・率) 指標	人間ドック・脳ドック受診者への案 内、周知(年1回)郵送、HP掲 載。	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100.0%	100. 0%

- (注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 人間ドック・脳ドック受診者への案内、周知徹底。

⑩現在までの実施方法(プロセス)

受診者数629名 (平成30年3月末までの予約含む)

何歳からでも受検可能のため、若い時から健康意識を実感できる。

特定健診対応不可の委託契約病院がある。

⑪今後の実施方法 (プロセス) の改善案、目標

受診率の向上(受診勧奨の方法を増やし、医療機関への受診勧奨を図る)

⑩現在までの実施体制 (ストラクチャー)

外部医療機関に委託。

受診率アップのため、周知の検討など

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

受診率アップのため、周知の検討など

14評価計画

受診率の推移。被保険者、被扶養者、被保険者・被扶養者計で算出。

事業番号 4	①事業名称 集団検診
②事業の目的	健康状態の把握、生活習慣病・疾病重症化予防、特定健診受診率向上。
③対象者	被保険者、被扶養者(0~74歳の基準該当者)
④現在までの事業結果	受診者数2640名(令和6年1月末)

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績	⑧目標値					
7日7末	2024年 1 月末	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	
アウトカム (成果) 指標	集団検診受診者数	2640名	2650名	2650名	2650名	2700名	2700名	2700名
アウトプット (実施量・率) 指標	集団検診受診者への案内、周知(年 1回)郵送、HP掲載。	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100.0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 集団検診受診者への案内、周知徹底。

⑩現在までの実施方法 (プロセス)

受診者数5155名(平成30年1月末)

集団検診を利用して事業所健診を実施することが多い。

年度の前半に受診を促し、対象者には早い時期から特定保健指導を案内できるようにする。

⑪今後の実施方法 (プロセス) の改善案、目標

受診率の向上(受診勧奨の方法を増やし、医療機関への受診勧奨を図る)

⑩現在までの実施体制 (ストラクチャー)

外部医療機関に委託。 受診率アップのため、周知の検討など

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

受診率アップのため、周知の検討など

(4)評価計画

受診率の推移。被保険者、被扶養者、被保険者・被扶養者計で算出。

事業番号 5 ①事業名称 生活習慣病 ハイリスク者の受診勧奨 ②事業の目的 生活習慣病のハイリスク者に対する医療機関への受診勧奨 ③対象者 被保険者、被扶養者の基準該当者(40~74歳) ④現在までの事業結果 基準対象者87名へ送付(令和5年度は8月送付)

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績	⑧目標値					
1日1赤	₩at imih1z	2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム (成果) 指標	生活習慣病ハイリスク者の受診者数	87名	90名	90名	90名	95名	95名	95名
アウトプット (実施量・率) 指標	生活習慣病ハイリスク者への受診勧 奨	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%

- (注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための
主な戦略

受診勧奨後の受診率。未受診者の把握。未受診者への再通知検討など。

⑩現在までの実施方法 (プロセス)

対象者の個々の検査結果に応じ細分化した分析結果や現状に対する助言を冊子とし受診勧奨を図った。 受診率の向上(受診勧奨の方法を増やし、医療機関への受診勧奨を図る)

⑪今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

受診勧奨後の受診率や未受診者の把握。未受診者への再通知検討など。

12現在までの実施体制	(ス	トラクチャー	١

対象者抽出、通知送付など外部委託。

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

(A) =T	/m = 1	=
(14) 訂平	伽言士	曲

年度末に通知対象者の病院受診率や、未受診者数を把握。

事業番号 6	①事業名称 糖尿病性腎症 重症化予防
②事業の目的	糖尿病性腎症のハイリスク者を抽出し受診勧奨の通知を行うことで、重症化を予防する
③対象者	被保険者、被扶養者(基準該当者)
④現在までの事業結果	基準対象47名へ送付(令和5年度は8月送付)(2019年度から実施の事業)

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績	⑧目標値					
打日1示	7月1宗		2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム (成果) 指標	H b A 1 c 8. 0. %以上の者の割合	実績なし	2. 0%	2. 0%	2. 0%	1. 9%	1. 9%	1. 9%
アウトプット (実施量・率) 指標	通知対象者割合	実績なし	12. 0%	11. 9%	11. 8%	11. 7%	11. 6%	11. 5%
アウトプット (実施量・率) 指標	通知対象者割合の受診率	実績なし	40. 0%	42. 0%	44. 0%	46. 0%	48. 0%	50. 0%

- (注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 主な戦略	通知対象者が受診できているか把握	

⑩現在までの実施方法 (プロセス)

健診で e G F R や尿蛋白の値が基準値以上の方に通知を送付し受診勧奨を実施。

⑪今後の実施方法(プロセス	() の改善案、目標
---------------	------------

継続

⑪現在までの実施体制(ス	1	ラ	ク	チャ	-)
--------------	---	---	---	----	----

外部委託

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

継続

14評価計画

年度ごとにアウトカム、アウトプット内容を評価。

事業番号 7	①事業名称	医療費通知
②事業の目的	医療費実績による健康意識への働きかけ、医療費適正化	
③対象者	被保険者、被扶養者 (0~上限なし) 歳	
④現在までの事業結果	医療費通知の送付を6、12、2月に実施	

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績			8目	標値		
10.10%	₩at im1a1m	2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11) 151, 409円 100. 0%
アウトカム (成果) 指標	一人あたり医療費(目標値は前年度 比3%減)	181,770円	176, 316円	171,027円	165, 896円	160, 919円	156, 092円	151, 409円
アウトプット (実施量・率) 指標	医療費通知の送付	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 主な戦略

医療費通知の送付を実施し、医療費総額の推移を把握。

⑩現在までの実施方法 (プロセス)

年3回(6、12、2月)対象者へ医療費通知を送付

⑪今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

医療費の抑制、削減に効果があるか検証。

⑪現在までの実施体制	(ス	トラクチャー
------------	----	--------

外部委託

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

14評価計画

年度末に医療費総額、疾病分類別医療費総額を算出し経年度推移を把握。

個別の保健事業

事業番号 8 ①事業名称 ジェネリック医薬品差額通知 ②事業の目的 ジェネリック医薬品の利用促進による医療費の削減 ③対象者 被保険者、被扶養者(基準該当者) 後発医薬品の数量割合は2018年度~2023年3月にかけて70%台前半から後半の微増で推移した。2023年3月は ④現在までの事業結果 79.4%であった。

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績	⑧目標値					
	♥計Ⅲ指標	2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11) 80%以上
アウトカム (成果) 指標	<mark>薬代削減(使用率80%以上達成目</mark> 標)	79. 4%	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
アウトプット (実施量・率) 指標	差額通知の発送	100. 0%	100.0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100.0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

ー ⑨目標を達成するための <mark>2期の計画を継続</mark> 主な戦略

⑩現在までの実施方法 (プロセス)

基準対象者822名へ送付(平成29年度は9月送付)

ジェネリック医薬品へ切り替えた場合の具体的な金額が表示される為、薬代削減への意識づけになり医療費削減につながる。

ツラ後の天心万法(フロビヘ)の以告呆、日	プロセス)の改善案、目標	の実施方法	U
-----------------------------	--------------	-------	---

差額通知、希望シールの配布だけでなく様々な方法で周知を図る。

12現在までの実施体制	(ス	トラクチャー
		1 / / / / /

外部委託

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

継続

仰評価計画

ジェネリック医薬品使用割合を年度末に算出。

事業番号 9	①事業名称	ジェネリック医薬品の使用促進
②事業の目的	薬代負担軽減、医療費抑制	
③対象者	被保険者、被扶養者	
④現在までの事業結果	1年に1回事業所へジェネリック医薬品希望シ	一ルの配布

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績	⑧目標値					
11175	₩計 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム (成果) 指標	薬代削減(使用率80%以上達成目 標)	79. 4%	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上
アウトプット (実施量・率) 指標	ジェネリック医薬品希望シールの配 布率	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100.0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 主な戦略

2期の計画を継続

①現在までの実施方法(プロセス)

1年に1回事業所へジェネリック医薬品希望シールの配布(平成29年度は10月配布)

⑪今後の実施方法(プロセス)	の以音条、	日悰
----------------	-------	----

継続

⑪現在までの実施体制 (ストラクチャー)

外部委託

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

継続

14評価計画

ジェネリック医薬品使用割合を年度末に算出。

事業番号 10	①事業名称 各種大会助成
②事業の目的	被保険者の健康保持・増進
③対象者	被保険者全て
④現在までの事業結果	全7団体 令和2~4年度全て中止 令和元年度ボウリング27名、テニス34名、野球398名、ゴルフ65名、囲碁12名、スキー0名(中止)、釣魚8名

⑤今後の目標値

指標	極		⑦計画策定 8目標値 標 ⑥評価指標						
7日1示	少計11111111111111111111111111111111111 1111	2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	
アウトカム (成果) 指標	参加者数	ボウリング、テニ ス、野球、ゴル フ、囲碁、釣魚 合計544名	550名	550名	550名	555名	555名	555名	
アウトプット (実施量・率) 指標	各種大会助成 実施率	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	

- (注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 主な戦略	2期の計画を継続					
---------------------	----------	--	--	--	--	--

⑩現在までの実施方法 (プロセス)

各種大会(野球、ゴルフ、ボウリング、スキー、テニス、釣魚、囲碁)への助成

⑪今後の実施方法	(プロセス)	の改善案、	目標

継続

⑩現在までの実施体制 (ストラクチャー)

申請により助成

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

継続

14評価計画

年度末に参加者数、参加率、助成額を算出。

事業番号 11	①事業名称	ウォーキングイベントへの参加及び助成
②事業の目的	被保険者、被扶養者の健康保持・増進	。運動のきっかけづくり。
③対象者	被保険者、被扶養者(0~上限なし)	
④現在までの事業結果	40名参加(平成29年7月)	

⑤今後の目標値

指標 ⑥評価指標		⑦計画策定 時実績			8目	標値		
1日1末	❷6↑Ⅲ/161孫	2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム (成果) 指標	参加者数	実績なし	40名	40名	40名	50名	50名	50名
アウトプット (実施量・率) 指標	参加助成 実施率	実績なし	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100.0%

- (注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

③目標を達成するための 参加者数の向上のため周知・広報の徹底。インセンティブの検討。

⑩現在までの実施方法 (プロセス)

平成29年7月の参加当日は、ゴール地点で開催される地域の祭事に合わせた企画である事や、参加助成の為か、多くの申し込みがあった。 JR北海道主催のイベントの為、被保険者以外の参加者も多数いる。また健康な方が参加している印象。

⑪今後の実施方法(プロセス)の改善案、目標

コロナ禍の為、実施できていない年があった。 今年度から再開予定。 参加者数によってはインセンティブの活用も検討。

⑩現在までの実施体制 (ストラクチャー)

他組織主催のイベントに参加。

③今後の実施体制	(ストラクチャー)	の改善室	日標

継続

(4)評価計画

実施終了後、参加者数、参加率など算出。

事業番号 12	①事業名称	家庭用常備薬斡旋
②事業の目的	疾病予防	
③対象者	被保険者、被扶養者	
④現在までの事業結果	家庭用常備薬の特価斡旋を行う。年2回(5、10月)系	目合員本人(全世帯)へ案内。

⑤今後の目標値

指標	票 ⑥評価指標				8目	標値		
7日7本	₩ 6T IW 1H 1 / π	2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム (成果) 指標	アウトカム設定なし	_	_				-	-
アウトプット (実施量・率) 指標	家庭用常備薬の特価斡旋 年2回実施 率	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100.0%	100.0%	100.0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 主な戦略	2其
---------------------	----

期の計画を継続

⑩現在までの実施方法(プロセス)

家庭用常備薬の特価斡旋を行う。年2回(5、10月)組合員本人(全世帯)へ案内。

	⑪今後の実施方法	(プロセス)	の改善案、	目標
--	----------	--------	-------	----

継続

⑩現在までの実施体制 (ストラクチャー)

外部委託

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

継続

14評価計画

年度末に斡旋の実施率を評価

事業番号 13	①事業名称	死亡見舞金
②事業の目的	高齢者組合員への支給	
③対象者	被保険者	
④現在までの事業結果	高齢者組合員本人が死亡した場合、150,000円支給	

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績	⑧目標値					
1日1차	♥計Ⅲ担係	2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム (成果) 指標	-							
アウトプット (実施量・率) 指標	_					an.		

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 主な戦略	2期の計画を継続	
---------------------	----------	--

⑩現在までの実施方法 (プロセス)

高齢者組合員本人が死	亡した場合、	150,000	川支給
------------	--------	---------	-----

①今後の実施方法 (プロセス) の改善案、目標

継続		

⑩現在までの実施体制 (ストラクチャー)

健保実施	
(13)全後の宝	2. 体体制(ストラクチャー)の改善家 日標

続			

2 Telephone Control of the Control o	

事業番号 14	①事業名称
②事業の目的	高齢者組合員への支給
③対象者	被保険者
④現在までの事業結果	高齢者組合員が1ヵ年度に合算して10日以上入院した場合、50,000円支給(1ヵ年度に1回限り)

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績	8目標値					
7日1示	❷計Ⅲ担傷	2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)
アウトカム (成果) 指標	+							
アウトプット (実施量・率) 指標	支給人数							

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための <mark>2期の計画を継続</mark> 主な戦略

⑩現在までの実施方法 (プロセス)

|高齢者組合員が1ヵ年度に合算して10日以上入院した場合、50,000円支給(1ヵ年度に1回限り)

⑪今後の実施方法 (プロセス) の改善案、目標

継続

⑩現在までの実施体制 (ストラクチャー)

健保実施

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

継続

4 評価計画

年度末に支給者数など把握。経年度推移等も比較。

事業番号 15	①事業名称 レセプト点検等
②事業の目的	医療費適正化
③対象者	被保険者、被扶養者
④現在までの事業結果	レセプト点検→外部委託。歯科のみ役員による縦覧点検。 柔整受診内容調査→外部委託。

⑤今後の目標値

指標	⑥評価指標	⑦計画策定 時実績			8目	標値		
141条	2022年度 (R4)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度 (R8)	2027年度 (R9)	2028年度 (R10)	2029年度 (R11)	
アウトカム (成果) 指標	一人あたり医療費(目標値は前年度 比3%減)	181, 770円	176, 316円	171,027円	165, 896円	160, 919円	156, 092円	151, 409円
アウトプット (実施量・率) 指標	外部委託、または役員による点検実 施率	100.0%	100. 0%	100. 0%	100. 0%	100.0%	100.0%	100.0%

(注1) 評価指標が複数ある場合には、適宜行を追加する。 (注2) 太枠の2026年度は中間評価年度、2029年度は最終評価年度。

⑨目標を達成するための 主な戦略 2期の計画を継続

⑩現在までの実施方法(プロセス) レセプト点検→外部委託。歯科のみ役員による縦覧点検。 柔整受診内容調査→外部委託。

⑪今後の実施方法 (プロセス) の改善案、目標

Lible	4+
XIII	*=

⑩現在までの実施体制 (ストラクチャー)

役員実施と外部委託

③今後の実施体制 (ストラクチャー) の改善案、目標

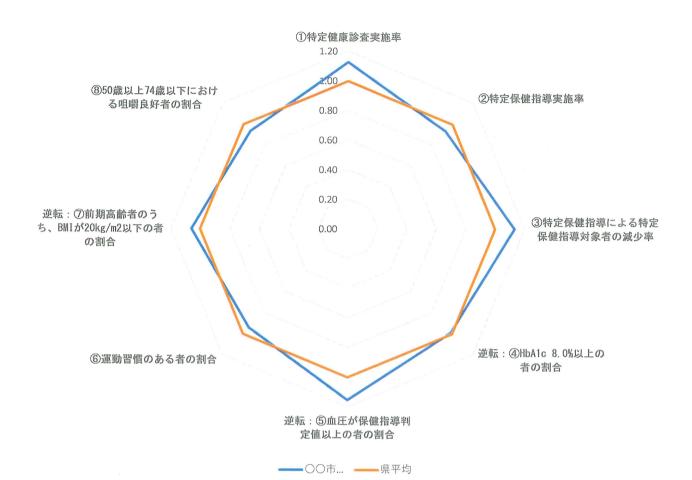
継続

14評価計画

年度末に医療費総額を算出し経年度推移等把握。

V その他	
データヘルス計画の 評価・見直し	1. 計画の評価・見直し (1) 個別保健事業の評価 個別の保健事業については毎年度評価を行い、事業の目標の達成状況を確認します。目標を達成していない場合は、ストラクチャーやプロセスが適切であったかを確認し、目標を達成できなかった原因や事業の改善点を検討し、次年度以降の保健事業の実施に反映させます。 (2) データヘルス計画全体の評価 データヘルス計画全体の評価を行い、目標の達成状況を確認し、目標値などの見直しを行います。計画の評価にあたっては、PDCA サイクルに基づき実施していきます。計画の評価にあたっては、MDCA サイクルに基づき実施していきます。評価・見直しの流れとしては、個別の保健事業を4つの評価区分(ストラクチャー、プロセス、アウトプット、アウトカム)で整理します。評価内容に応じて、成功要因、阻害要因、改善の余地等を確認し、見直しや改善策を検討し実施していきます。
データヘルス計画の 公表・周知	第3期データヘルス計画の期間は、2024年度から2029年度までの6年間です。2024年度から2026年度までを前期、2027年度から2029年度までを後期に区分けし、前期終了時に実施される中間評価をふまえ、必要に応じて、後期計画の見直しを行います。また、保健事業の目的や内容が加入者、事業主等の関係者に理解され、事業の実効性が高まるように、データヘルス計画はホームページや広報誌等で公表し、関係者への周知を図ります。
個人情報の取扱い	個人情報の取扱いについては、個人情報保護関係法令及び医療・介護関係事業者における個人情報の 適切な取扱いのためのガイドラインなどを遵守するとともに、事業ご との個人情報保護に関する事項は、契約書や仕様書等で別に定めるものとします。
地域包括ケアに 係る取組	
その他留意事項	なし

○○市の各指標値の実績と都道府県平均値との比較の見える化の例



(単位:%)

	レーダーチャ	ートの数値		<u>(早位:%)_</u> 責値
	〇〇市 (a/b or (100- a)/(100-b))	県平均	〇〇市 (a)	県平均(b)
①特定健康診査実施率	1. 13	1.00	45	40
②特定保健指導実施率	0. 93	1. 00	28	30
③特定保健指導による特定保健指導対象者の減少 率	1. 13	1. 00	17	15
逆転: ④HbA1c 8.0%以上の者の割合	0. 99	1. 00	3	2
逆転:⑤血圧が保健指導判定値以上の者の割合	1. 16	1. 00	48	55
⑥運動習慣のある者の割合	0. 94	1.00	33	35
逆転:⑦前期高齢者のうち、BMIが20kg/m ² 以下の者の割合	1. 06	1. 00	10	15
850歳以上74歳以下における咀嚼良好者の割合	0. 93	1. 00	70	75

(注) 数値は、ダミーデータを使用。

(※1)レーダーチャートの数値のうち、高い数値がより良い項目の場合は、a/bで算出する。 低い数値がより良い項目(上記の場合は、4)、5)及び(アのみ)の場合は、(100-a)/(100-b)で算出す る。

(※2)(100-a)/(100-b)により算定した項目は、項目名の冒頭に「逆転:」と付記するなど、レーダー チャートだけをみた際にも、その旨が誤解なく分かるようにする。

- (※3)各種指標のうち、低い数値がより良いため、(100-a)/(100-b)で算出する項目の例。
 - O HbA1c 8.0%以上の者の割合
 - 〇 高血糖者の割合
 - HbA1c 6.5%以上の者のうち、糖尿病のレセプトがない者の割合
 - 〇 血圧が保健指導判定値以上の者の割合
 - 前期高齢者のうち、BMIが20kg/m²以下の者の割合

(※4)一般的に、下記の示し方などがあり、地域の状況に応じて適宜活用する。また、同規模保険者の 値を追加する方法もある。

- 〇当該保険者と県の数値を割算した比率をレーダーチャートに示す。(本例) 〇県内全保険者の標準偏差を算定し、それにより偏差値を算定して、レーダーチャートに示す。(本来は、この方法が望ましいが、今回は簡易的な上記方法を例示。)
- ○種々の指標について、課題の大きい順、または、良好な順に並び替えて折れ線グラフに示す。
- 〇共通の指標のうち、特に重要な指標について、県と当該保険者の指標値の年次推移を折れ線グラフ に示す。

(※5)「共通の指標」等について、県内の全保険者の過去数年分を表に示す方法もある。表は基礎資料 として沢山の情報を掲載できる一方で、そのままでは読み取りが難しい面もある。注目したい指標等 を抜き出して図に示したり、並び替えをしたりすることで、読み取りが行いやすくなる。

北海道歯科医師国民健康保険組合様

データヘルス計画立案用 基本データ分析結果図表 概要版



2024.3.5 株式会社 大正オーディット

【3-0-00】年齡階級別 加入者数 全体 (①男女計/②男性/③女性)

- ◎ 加入者全体では20~29歳と45~64歳が多い二層構造である。
- ◎ 被保険者は女性が6割強を占めており、男性は55~64歳が多く、女性は25~29歳がピークの構造である。
- ◎ 被扶養者は男性は25歳未満が8割超を占めた。女性は男性とほぼ同数の25歳未満と55~64歳が多い二 重構造である。

※貴健保組合から頂いたデータを元に加入者数を集計しております。貴健保組合ポータルサイト上の加入者情報とは異なる可能性があります。



【3-1-00】年齢階級別 医療費 全体 男女計 (①医療費総額/②一人あたり医療費)

- ◎ 医療費総額は加入者人数構成から高齢者側に偏り60~74歳が多い。
- ◎ 一人あたり医療費は70~74歳が高額で60歳代以降で急増する。
- ◎ 一人あたり医療費が経年度的に増加傾向。



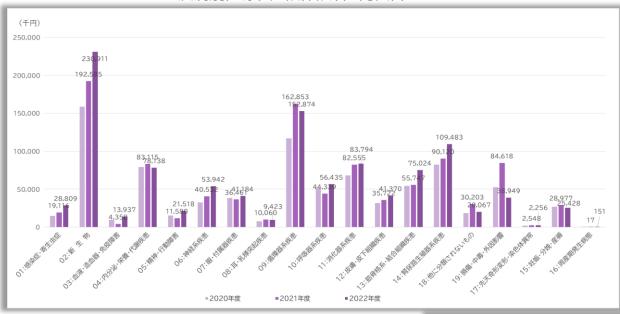
【3-4-02】診療区分別 医療費総額

- ◎ 医療費総額は2020年度から2022年度にかけて、特に医科入院外で医療費総額が経年度的に増加傾向。
- ◎ 調剤も2022年度が最多となった。



疾病別医療費

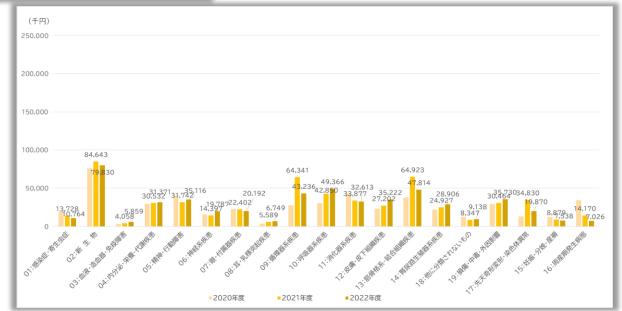
疾病別医療費 被保険者 男女計



- ② 被保険者の疾病分類別医療費総額は新生物が首位、次いで循環器系疾患、腎尿路系疾患であった。
- ◎新生物、腎尿路系は経年度的に増加傾向がみられた。
- ◎ 女性被保険者では新生物に次いで妊娠・分娩・産 褥が多かったが男女計にすると上位には入らなかった。

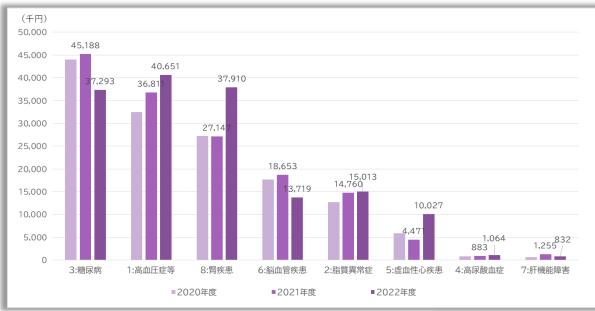
疾病別医療費 被扶養者 男女計

◎ 被扶養者の疾病分類別医療費総額は新生物 が首位、次いで筋骨格系、循環器系、呼吸器系で あった。



生活習慣病 医療費

生活習慣病医療費 被保険者 男女計



- ◎ 被保険者の生活習慣病医療費は糖尿病、高血圧、 腎疾患が多い。
- ◎ 高血圧、腎疾患については経年度的に増加傾向。

生活習慣病医療費 被扶養者 男女計

- ◎ 被扶養者の生活習慣病医療費は高血圧、脂質異常症、 糖尿病がの順であった。
- ◎ 脂質異常症が経年度的にはやや増加傾向であった。
- ◎ 腎疾患、脳血管疾患は2022年度に急増しており、 注意が必要

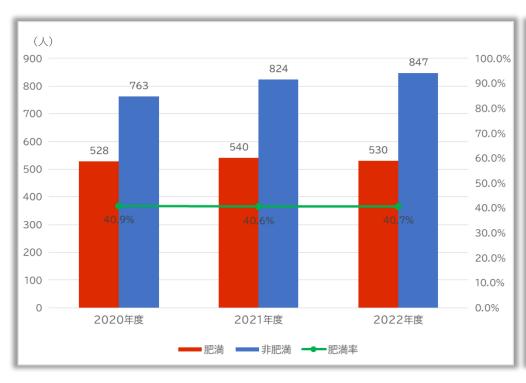


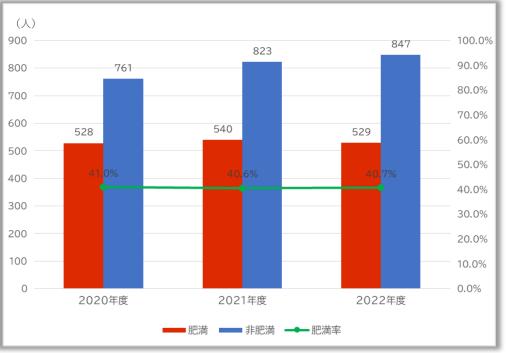
【4-1-03】健康分布 肥満 男性 (全年齢/40歳以上)

- ◎ 40歳以上 男性の肥満該当者の割合は4割強であった。
- ◎ 経年度的には横ばいの推移だが、4割超で注意が必要。
 - ※健診データはほとんどが40歳以上で、40歳未満の対象が少ないため、全年齢と40歳以上の比較で差がなかった。

健康分布 肥満 全年齢 男性 (①人数/②割合)

健康分布 肥満 40歳以上 男性 (①人数/②割合)



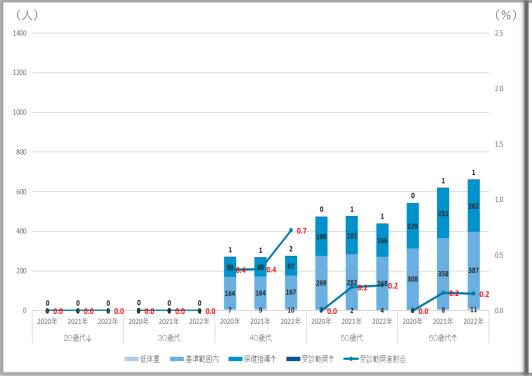


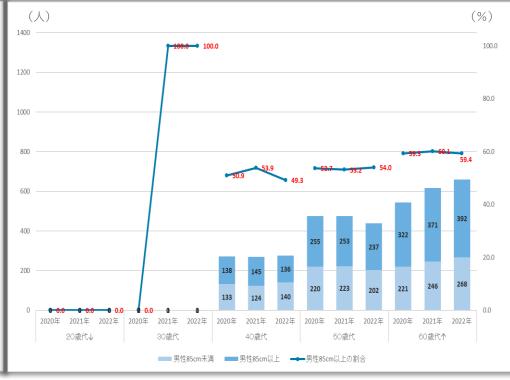
【4-3-01】健康分布 検査·計測 男性

- ◎ BMI高値は男性に多い特徴があり、男性の受診勧奨対象者は各年代1~2名であった。
- ◎ 保健指導対象者は多い順に60歳代以上(39~42%)、50歳代(38~41%)、40歳代(35~36%)であった。
- ◎ 腹囲基準超過該当者割合は男性で5割強と多く、年齢階級が増えるにつれて微増傾向で、60歳代以上では6割が該当者であった。

BMI

腹囲





【4-2-01】健康分布 問診票 食習慣他

- ◎ 男女の食習慣傾向として男性は「食べる速度が速い」人が4割、「就寝間近の夕食を週3日以上」の人が3割弱、「朝食を抜くのが週に3回以上」の人が2割強で女性より多く(各々2.5割、2割強、2割弱)、女性は「間食や甘い飲み物の摂取を毎日」の人が約3割弱存在し男性の1割強より多かった。
- ◎ 男女とも「朝食を抜くのが週に3回以上」の人の割合が経年度的に増加傾向であった(男22.4⇒24.2%、女18.0⇒20.0%)。
- ◎ 飲酒に関しては、「お酒を飲む頻度毎日」は男性3割強女性2割弱、「1日あたりの量が1合以上」の割合は男性6割弱、女性3割強であった。
- ◎「20歳時から10kg以上増加」は男性45%前後、女性25%弱で男性の割合が多かった。

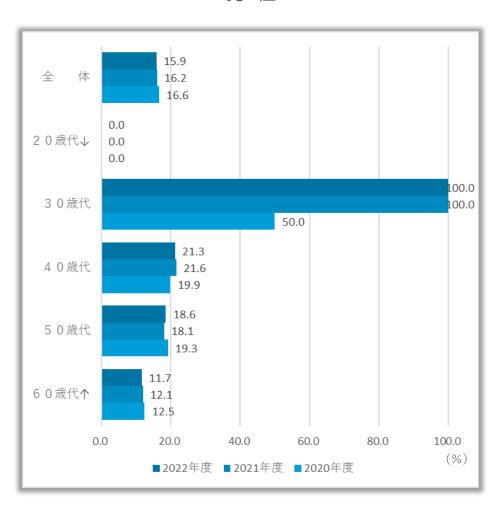
	【2020年度】						【2021年度】						【2022年度】						
人と比較した食べる速度	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	
①速い	1005	31.4	492	40.3	513	25.9	1063	31.0	536	40.6	527	25.0	1088	30.6	522	39.4	566	25.3	
②ふつう	1992	62.3	677	55.5	1315	66.5	2158	63.0	731	55.4	1427	67.8	2221	62.4	746	56.3	1475	66.0	
③遅い	201	6.3	51	4.2	150	7.6	204	6.0	53	4.0	151	7.2	251	7. 1	58	4.4	193	8.6	
就寝間近の夕食が週3回以上	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	
①はい	813	25.5	359	29.5	454	23.1	865	25.4	388	29.5	477	22.8	949	26.7	407	30.7	542	24.3	
②いいえ	2372	74.5	860	70.5	1512	76.9	2546	74.6	928	70.5	1618	77.2	2608	73.3	918	69.3	1690	75.7	
朝食を抜くのが週に3回以上	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	
①はい	628	19.7	272	22.4	356	18.0	716	21.0	303	23.0	413	19.6	765	21.6	319	24.2	446	20.0	
②いいえ	2566	80.3	944	77.6	1622	82.0	2701	79.0	1012	77.0	1689	80.4	2782	78.4	1000	75.8	1782	80.0	
お酒を飲む頻度	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	
①毎日	739	23.1	388	31.7	351	17.7	763	22.3	402	30.5	361	17.2	818	23.0	415	31.3	403	18.0	
②時々	1157	36.1	484	39.5	673	34.0	1227	35.8	521	39.5	706	33.6	1239	34.8	500	37.7	739	33.0	
③ほとんど飲まない	1309	40.8	352	28.8	957	48.3	1434	41.9	397	30.1	1037	49.3	1505	42.3	410	30.9	1095	48.9	
飲酒日の1日あたり飲酒量	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	
①1合未満	1279	53.4	422	41.5	857	62.2	1515	58.2	511	46.2	1004	67.2	1448	55.7	444	41.7	1004	65.4	
②1~2合未満	756	31.6	359	35.3	397	28.8	714	27.5	359	32.5	355	23.7	764	29.4	369	34.6	395	25.7	
③2~3合未満	276	11.5	173	17.0	103	7.5	290	11.1	175	15.8	115	7.7	292	11.2	177	16.6	115	7.5	
④3合以上	85	3.5	64	6.3	21	1.5	82	3.2	61	5.5	21	1.4	97	3.7	76	7.1	21	1.4	
20歳時から体重10kg以上増加	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	
①はい	1017	31.8	558	45.7	459	23.2	1086	31.7	581	44.0	505	24.0	1137	32.0	588	44.4	549	24.6	
②いいえ	2185	68.2	663	54.3	1522	76.8	2339	68.3	739	56.0	1600	76.0	2421	68.0	736	55.6	1685	75.4	

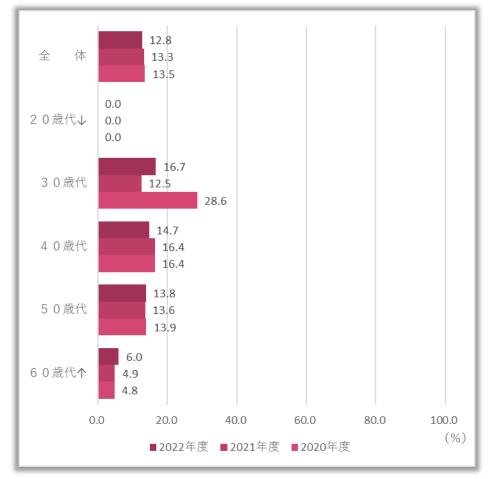
【4-4-02】健康分布 喫煙率 (年度比較)

◎ 厚生労働省 2022年 国民生活基礎調査では、40歳代および50歳代の喫煙率は男性で35%および33%、女性で11%および12%であり、比較すると男性は全国基準よりも低く、女性は基準よりも高かった。男性はさらなる禁煙対策、女性はより積極的な禁煙対策が必要と考えられる。

男 性

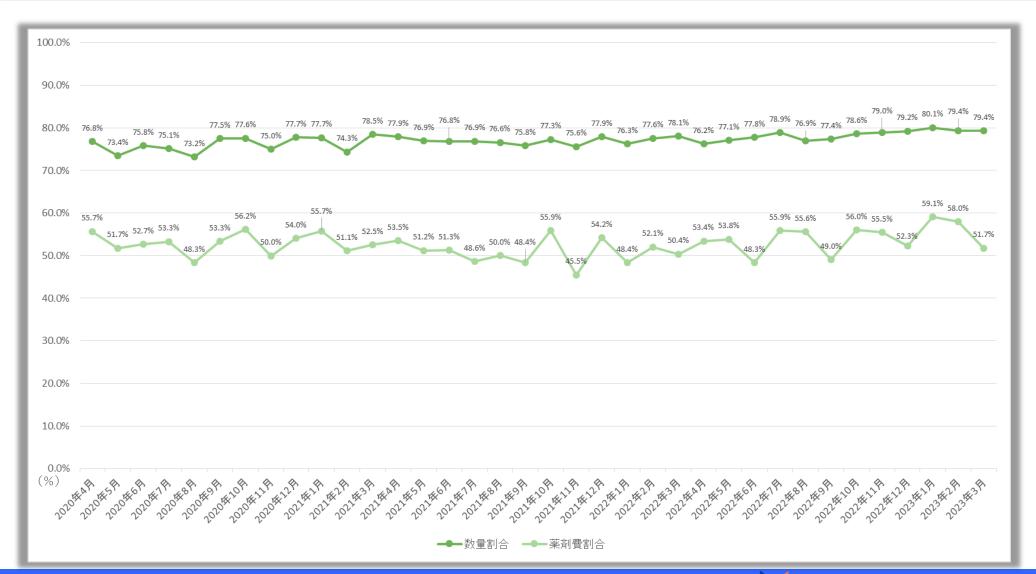
女性





【5-2-00】後発医薬品 数量・薬剤費割合 全体

- ◎ 後発医薬品の数量割合は、概ね70%台前半から後半の微増で推移した。
- ◎ 薬剤費割合は使用月による変動はあるがほぼ横ばいでの推移で50%台であった。
- (2022年4月の診療報酬改定により後発医薬品調剤体制加算の最低要件が置換率75%から80%変更があった。)



北海道歯科医師国民健康保険組合様

データヘルス計画立案用 基本データ分析結果図表



2024.3.5 株式会社 大正オーディット

収載図表一覧

3 医療費

3-0-00 年齢階級別 加入者数 全体 3-0-01 年齡階級別 加入者数 被保険者 3-0-02 年齢階級別 加入者数 被扶養者 3-1-00 年齢階級別 医療費 全体 男女計 3-1-01 年齢階級別 医療費 全体 男性 3-1-02 年齢階級別 医療費 全体 女性 3-2-00 年齡階級別 医療費 被保険者 男女計 3-2-01 年齢階級別 医療費 被保険者 男性 3-2-02 年齢階級別 医療費 被保険者 女性 3-3-00 年齡階級別 医療費 被扶養者 男女計 3-3-01 年齢階級別 医療費 被扶養者 男性 3-3-02 年齢階級別 医療費 被扶養者 女性 3-4-01 診療区分別 医療費 基本分析値(表) 3-4-02 診療区分別 医療費 基本分析値(図) 3-5-01 疾病分類別 医療費 基本分析値 被保険者 男性 入院 3-5-02 疾病分類別 医療費 基本分析値 被保険者 男性 入院外 3-5-03 疾病分類別 医療費 基本分析值 被保険者 女性 入院 3-5-04 疾病分類別 医療費 基本分析値 被保険者 女性 入院外 3-6-01 疾病分類別 医療費 基本分析値 被扶養者 男性 入院 3-6-02 疾病分類別 医療費 基本分析値 被扶養者 男性 入院外 3-6-03 疾病分類別 医療費 基本分析値 被扶養者 女性 入院 3-6-04 疾病分類別 医療費 基本分析値 被扶養者 女性 入院外 3-7-01 生活習慣病 医療費 基本分析値 被保険者 男性 3-7-02 生活習慣病 医療費 基本分析値 被保険者 女性 3-8-01 生活習慣病 医療費 基本分析値 被扶養者 男性 3-8-02 生活習慣病 医療費 基本分析値 被扶養者 女性

4 健康分布

- 4-1-01 健康分布 肥満 全年齢 男性
- 4-1-02 健康分布 肥満 全年齢 女性
- 4-1-03 健康分布 肥満 40歳↑ 男性
- 4-1-04 健康分布 肥満 40歳↑ 女性
- 4-2-01 健康分布 問診票 食生活
- 4-2-02 健康分布 問診票 その他生活習慣
- 4-3-01 健康分布 検査·計測 BMI
- 4-3-02 健康分布 検査·計測 腹囲
- 4-3-03 健康分布 検査·計測 拡張期血圧
- 4-3-04 健康分布 検査·計測 収縮期血圧
- 4-3-05 健康分布 検査·計測 中性脂肪
- 4-3-06 健康分布 検査·計測 HDL
- 4-3-07 健康分布 検査·計測 LDL
- 4-3-08 健康分布 検査·計測 空腹時血糖
- 4-3-09 健康分布 検査·計測 HbA1c
- 4-3-10 健康分布 検査·計測 AST
- 4-3-11 健康分布 検査·計測 ALT
- 4-3-12 健康分布 検査·計測 γ-GT
- 4-4-01 健康分布 喫煙率 基本分析値(表)
- 4-4-02 健康分布 喫煙率 基本分析値(図)

5 後発医薬品

- 5-1-00 後発医薬品 数量 全体
- 5-1-01 後発医薬品 数量 被保険者
- 5-1-02 後発医薬品 数量 被扶養者
- 5-2-00 後発医薬品 数量·薬剤費割合 全体
- 5-2-01 後発医薬品 数量·薬剤費割合 被保険者
- 5-2-02 後発医薬品 数量·薬剤費割合 被扶養者
- 5-3-01 後発医薬品 数量割合 比較

3 医療費

4健康分布

5 後発医薬品

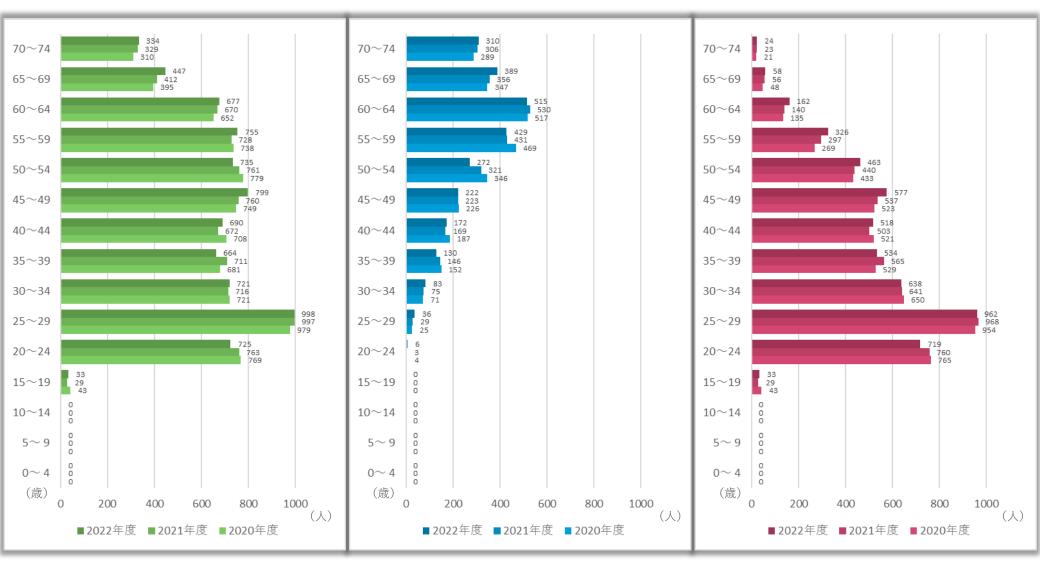
【3-0-00】年齡階級別 加入者数 全体 (①男女計/②男性/③女性)



- ◎ 加入者全体では20~29歳と45~64歳が多い二層構造である。
- ◎ 被保険者は女性が6割強を占めており、男性は55~64歳が多く、女性は25~29歳がピークの構造である。
- ◎ 被扶養者は男性は25歳未満が8割超を占めた。女性は男性とほぼ同数の25歳未満と55~64歳が多い二 重構造である。

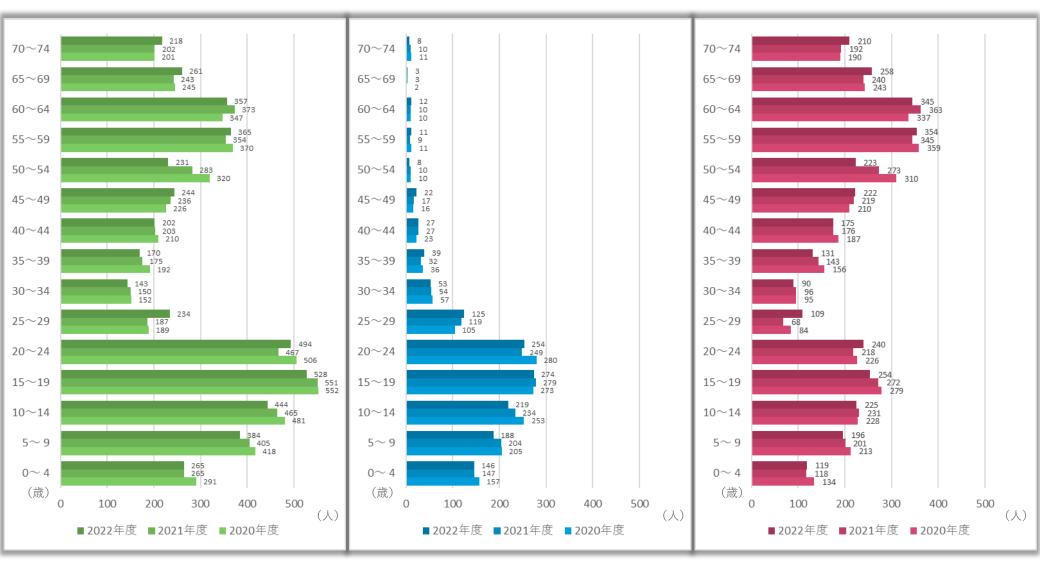
※貴健保組合から頂いたデータを元に加入者数を集計しております。貴健保組合ポータルサイト上の加入者情報とは異なる可能性があります。

【3-0-01】年齡階級別 加入者数 被保険者 (①男女計/②男性/③女性)



- ◎ 加入者全体では20~29歳と45~64歳が多い二層構造である。
- ◎ 被保険者は女性が6割強を占めており、男性は55~64歳が多く、女性は25~29歳がピークの構造である。
- ◎ 被扶養者は男性は25歳未満が8割超を占めた。女性は男性とほぼ同数の25歳未満と55~64歳が多い二重構造である。

【3-0-02】年齡階級別 加入者数 被扶養者 (①男女計/②男性/③女性)



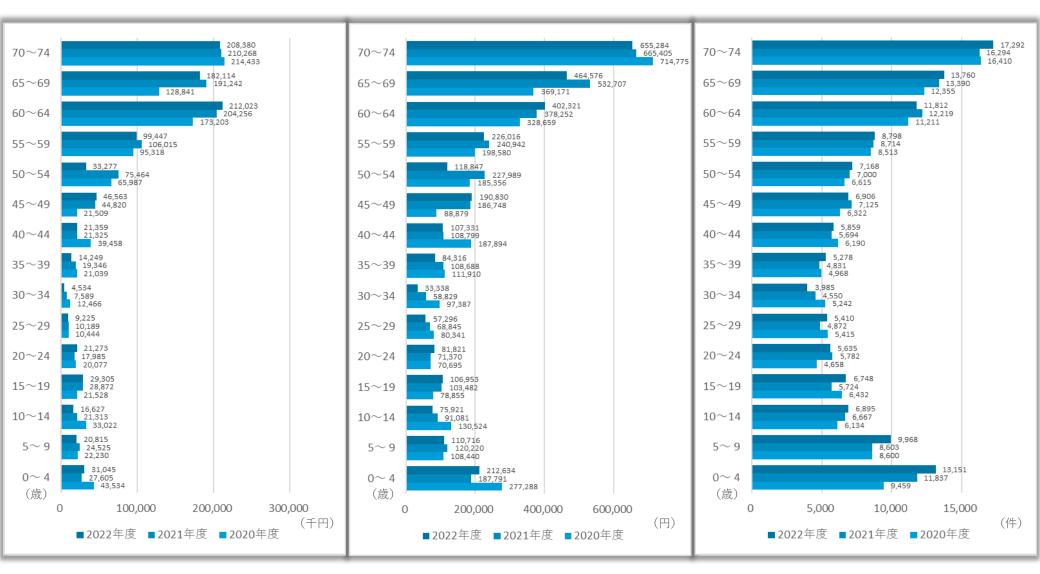
- ◎ 加入者全体では20~29歳と45~64歳が多い二層構造である。
- ◎ 被保険者は女性が6割強を占めており、男性は55~64歳が多く、女性は25~29歳がピークの構造である。
- ◎ 被扶養者は男性は25歳未満が8割超を占めた。女性は男性とほぼ同数の25歳未満と55~64歳が多い二重構造である。

【3-1-00】年齢階級別 医療費 全体 男女計 (①医療費総額/②一人あたり医療費/③千人あたり件数)



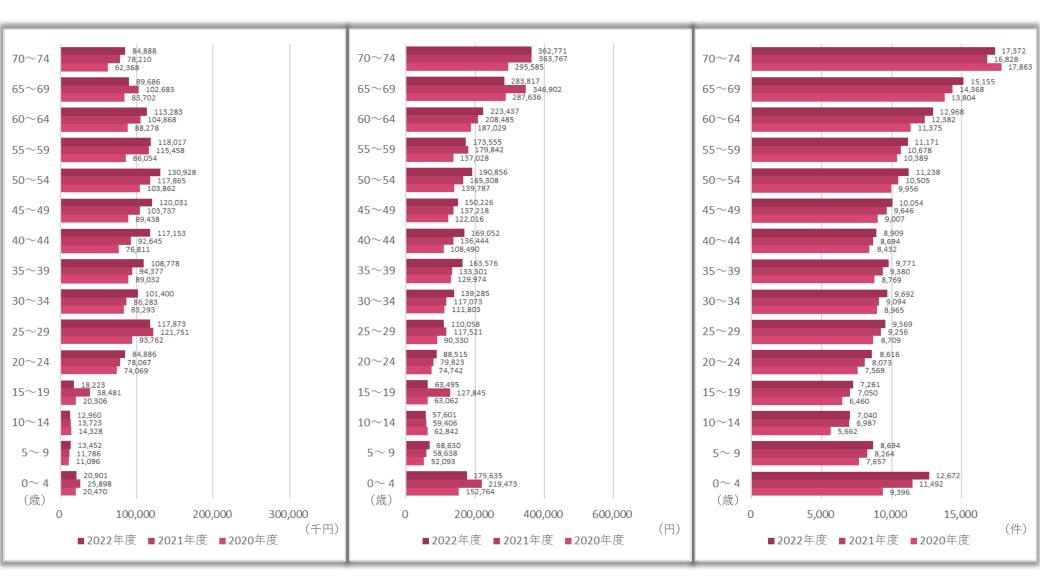
- ◎ 医療費総額は加入者人数構成から高齢者側に偏り60~74歳が多くを占めた。他の年代では加入者数が多い25~29歳が若干多く、年齢階級増加に伴って増加傾向であり、若年層では加入者数が少ない0~4歳がやや多かった。
- ◎ 一人あたりの医療費は70~74歳が多く、5~14歳を底として高齢化するほど増加し、若年層では0~4歳が多かった。
- ◎ 千人あたりの件数は10~19歳が少なく、年齢が上がるほど増加し、また低年齢化するほど増加する傾向がみられた。

【3-1-01】年齢階級別 医療費 全体 男性 (①医療費総額/②一人あたり医療費/③千人あたり件数)



- ◎ 男性の医療費総額は60~74歳が多くを占めた。他の年代は大差なかった。
- ◎ 一人あたりの医療費は20~34歳を底として年齢が増すほど、また幼若化に伴って増加する傾向がみられた。
- ◎ 千人あたりの件数も20~34歳を底として一人あたり医療費と同様のパターンを示した。

【3-1-02】年齢階級別 医療費 全体 女性 (①医療費総額/②一人あたり医療費/③千人あたり件数)



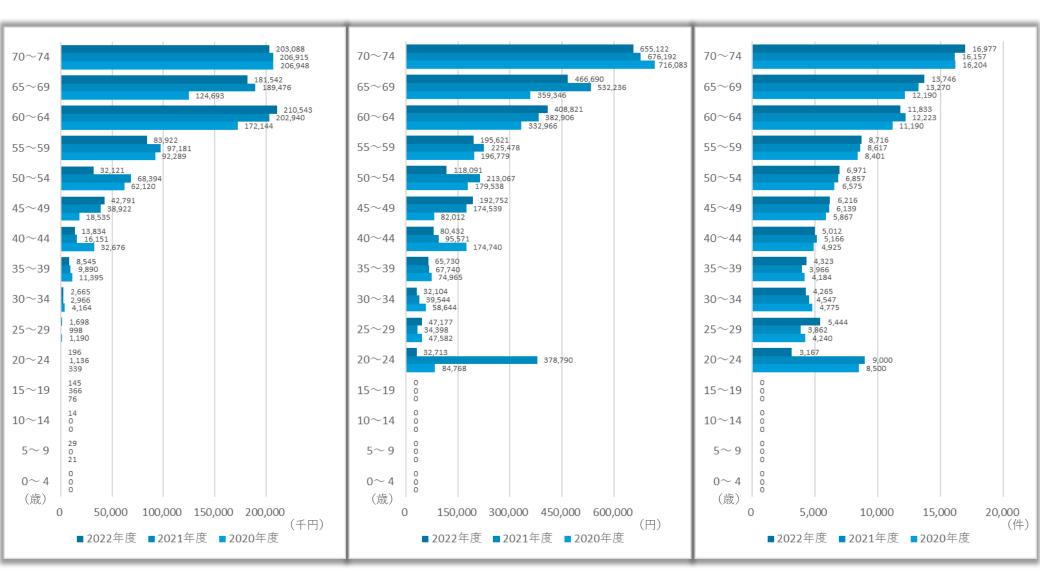
- ◎ 女性の医療費総額は25~29歳が少し多いが、30歳以降は概ね50~54歳に向けて緩やかに増加し、以降は緩やかに減少した。
- ◎ 一人あたりの医療費は5~14歳を底に年齢が増すほど、また幼若化に伴って増加する傾向がみられた。
- ◎ 千人あたりの件数は10~19歳を底に一人あたり医療費と同様のパターンを示した。

【3-2-00】年齢階級別 医療費 被保険者 男女計 (①医療費総額/②一人あたり医療費/③千人あたり件数)



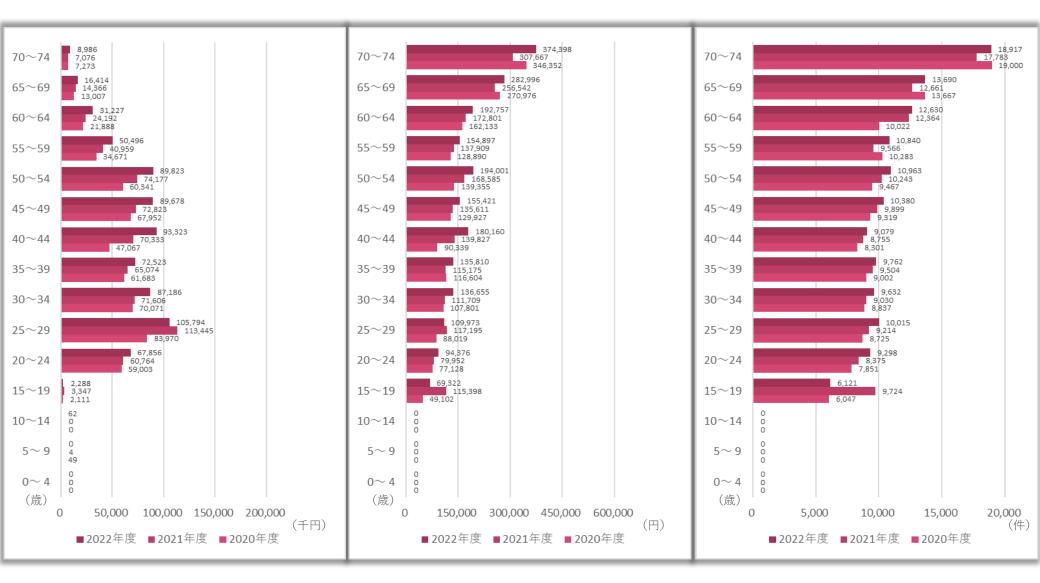
- ◎ 被保険者の医療費総額は60~74歳が多くを占めた。
- ◎ 一人あたり医療費は15歳から59歳までは緩やかに、60歳代以降では急激に増加した。
- ◎ 千人あたり件数は60歳代以降が多くを占めた。

【3-2-01】年齢階級別 医療費 被保険者 男性 (①医療費総額/②一人あたり医療費/③千人あたり件数)



- ◎ 男性被保険者の医療費総額は60~74歳が多くを占めた。
- ◎ 一人あたり医療費は20歳から59歳にかけては緩やかな増加だが、60歳代以降では急激に増加した。
- ◎ 千人あたり件数は35~39歳を底に年齢階級が増すにつれ、また幼若化するにつれ増加傾向がみられた。

【3-2-02】年齢階級別 医療費 被保険者 女性 (①医療費総額/②一人あたり医療費/③千人あたり件数)



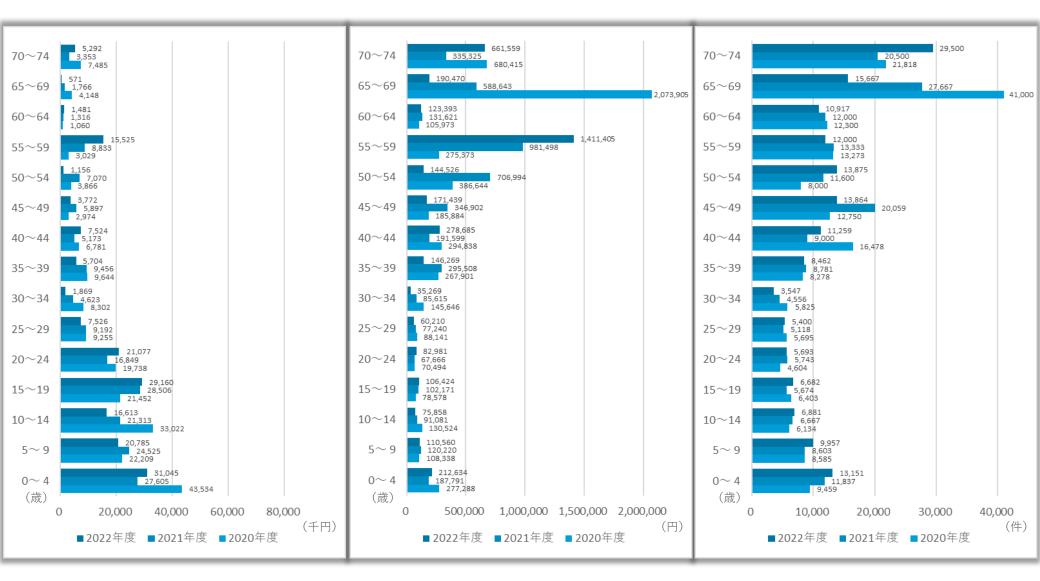
- ◎ 女性被保険者の医療費総額は25~54歳が多くを占めた。
- ◎ 一人あたり医療費は概ね年齢階級が増すにつれ増加していた。
- ◎ 千人あたり件数も概ね年齢階級が増すにつれ増加傾向であった。

【3-3-00】年齢階級別 医療費 被扶養者 男女計 (①医療費総額/②一人あたり医療費/③千人あたり件数)



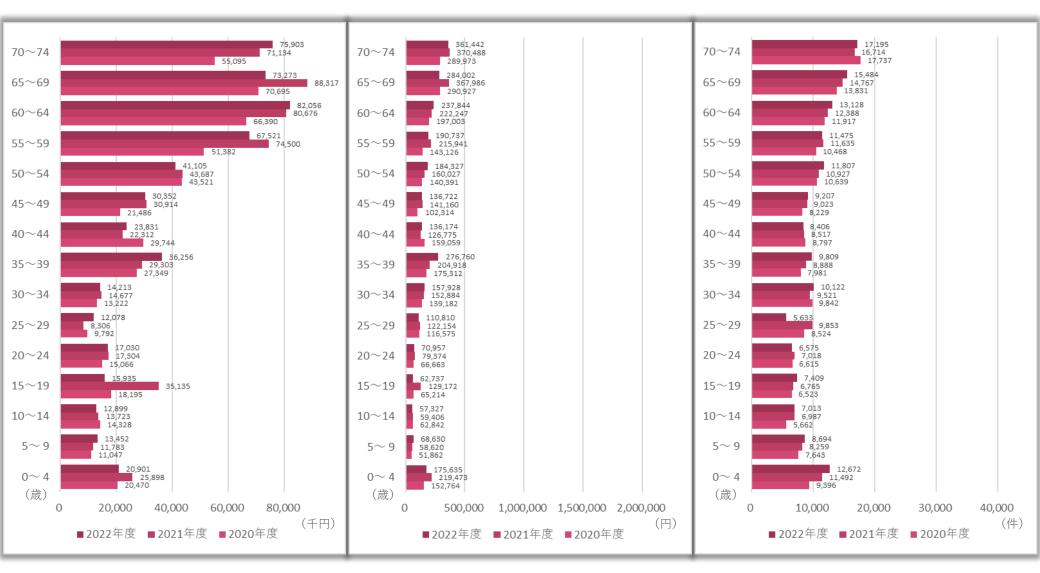
- ◎ 被扶養者の加入者数は55~64歳および10~24歳にピークがあり若年者が5割を占めるが、医療費総額は55~74歳が多くを占め、次いで0~4歳と15~19歳が多かった。
- ◎ 被扶養者の一人あたり医療費は10~14歳を底に年齢階級が増えるにつれ、また幼若化するにつれ増加傾向がみられた。
- ◎ 千人あたり件数は20~29歳を底に一人あたり医療費と同様の傾向がみられた。

【3-3-01】年齢階級別 医療費 被扶養者 男性 (①医療費総額/②一人あたり医療費/③千人あたり件数)



- ◎ 被扶養者男性の加入者は25歳未満が多く、医療費総額は0~24歳が多くを占め、概ね年齢階級が幼若化するにつれ増加傾向であった。
- ◎ 一人あたり医療費は20~34歳を底に概ね年齢階級が増すにつれ増加し、幼若化に伴ってわずかに増加傾向であった。
- ◎ 千人あたり件数は30~34歳を底に年齢階級が増すにつれ、また幼若化するにつれ概ね増加となった。

【3-3-02】年齢階級別 医療費 被扶養者 女性 (①医療費総額/②一人あたり医療費/③千人あたり件数)



- ◎ 被扶養者女性の医療費総額は、概ね35歳以降では年齢階級が増すにつれ増加し、55~74歳が多くを占めた。
- ◎ 一人あたり医療費は5~9歳を底に概ね年齢階級が増すにつれて増加し、また幼若化に伴っても緩やかに増加傾向であった。
- ◎ 千人あたり件数は10~24歳を底に年齢階級が増すにつれ、また幼若化するにつれ概ね増加となった。

【3-4-01】診療区分別 医療費三要素 (①実数&前年比) 1/2

【2022年度】	医療	費総額	一人あたり医療費		千人あたり件数		一件あたり日数		一日あたり医療費	
診療区分	前年比(%)	金額(円)	前年比(%)	金額(円)	前年比(%)	件数(件)	前年比(%)	日数(日)	前年比(%)	金額(円)
総額	100.3	2, 202, 692, 400	100. 2	181,770	104.8	9, 956	89.4	17. 01	100.1	166, 444
医科 計	99.9	1, 612, 376, 550	99.8	133, 056	104.5	5,860	99.0	10. 25	93. 4	70, 532
入院	92. 1	666, 614, 850	92. 1	55, 010	101.0	102	99.1	8.94	91.9	60, 148
入院外	106. 2	945, 761, 700	106.1	78, 046	104.6	5, 758	98.5	1.31	103.1	10, 384
歯科 計	89.9	97, 175, 730	89.8	8, 019	101.7	529	74. 6	5.64	106.6	85, 705
入院	57. 6	11, 269, 670	57. 5	930	75.0	3	68.5	4.06	107. 6	77, 190
入院外	97. 0	85, 906, 060	97.0	7, 089	101.9	526	96.9	1.58	97. 9	8,515
調剤	103.9	493, 140, 120	103.8	40, 695	105.7	3, 567	100.0	1.12	98.7	10, 207

【2021年	丰度】	医療	貴総額	一人あた	り医療費	千人あた	ら件数	一件あた	こり日数	一日あたり医療費	
診療区	☑分	前年比(%)	金額(円)	前年比(%)	金額(円)	前年比(%)	件数(件)	前年比(%)	日数(日)	前年比(%)	金額(円)
総額		114. 4	2, 196, 646, 720	115.5	181, 435	105.8	9, 501	115.8	19.03	104. 5	166, 266
医科 言	i †	116. 2	1, 613, 783, 430	117.4	133, 293	106. 2	5,607	94. 7	10.35	116.4	75, 520
7	入院	121.8	723, 434, 360	123.0	59, 753	111.0	101	94.0	9.02	117.9	65, 451
7	入院外	112. 1	890, 349, 070	113. 2	73, 540	106.1	5,506	100.0	1.33	107.3	10,069
歯科 言	i †	124. 4	108, 108, 660	125. 6	8, 929	106.6	520	172. 6	7. 56	95.4	80, 405
7	入院	260.1	19, 576, 380	262. 5	1, 617	133.3	4	215.6	5. 93	94.3	71,708
7	入院外	111.5	88, 532, 280	112.6	7, 312	106.4	516	100.0	1.63	105.8	8, 697
調剤		106.8	474, 754, 630	107.8	39, 213	105.1	3, 374	99.1	1.12	103.0	10, 341

[◎] 医療費総額は2020年度から2022年度にかけて増加傾向であった。

[◎] 特に医科入院外で医療費総額および一人あたり医療費が経年度的に増加傾向であった。

【3-4-01】診療区分別 医療費三要素 (①実数&前年比) 2/2

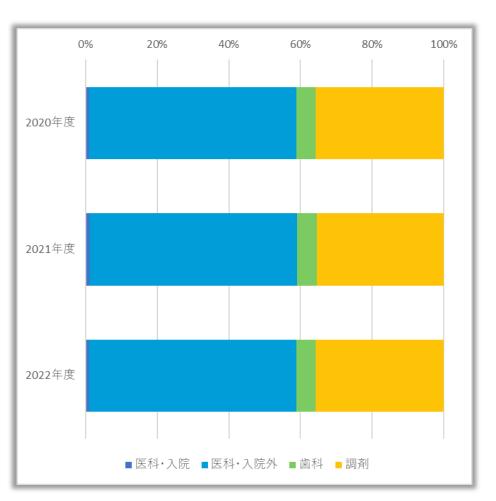
【2020年度】	医療費総額		一人あたり医療費		千人あたり件数		一件あたり日数		一日あたり医療費	
診療区分	前年比(%)	金額(円)	前年比(%)	金額(円)	前年比(%)	件数(件)	前年比(%)	日数(日)	前年比(%)	金額(円)
総額	1	1, 919, 958, 810	-	157, 065	1	8, 977	1	16. 44	1	159, 169
医科 計	1	1, 388, 393, 300	_	113, 579	1	5, 280	1	10.93	1	64,875
入院	1	593, 953, 460	_	48, 589	-	91	1	9.60	-	55, 494
入院外	1	794, 439, 840	-	64, 990	1	5, 189	1	1.33	-	9, 381
歯科 計	1	86, 894, 210	-	7, 109	ı	488	1	4. 38	1	84, 255
入院	1	7, 527, 370	-	616	ı	3	1	2. 75	1	76,034
入院外	_	79, 366, 840	_	6, 493	-	485		1.63	_	8, 221
調剤	_	444, 671, 300	_	36, 377	-	3, 209		1.13	_	10,039

【3-4-02】診療区分別 医療費三要素 (②診療区分割合) 1/2

【医療費総額】



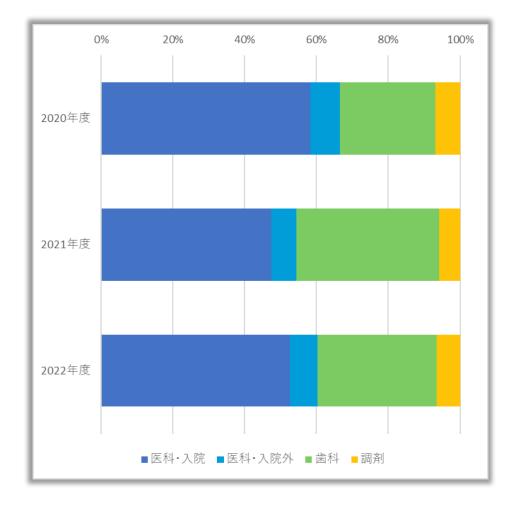




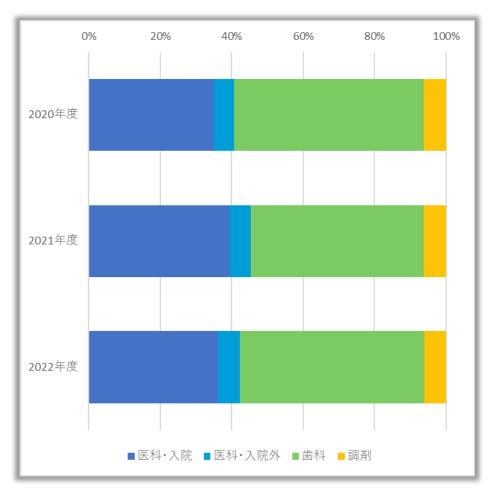
- ◎ 各年度医療費総額の診療区分割合は最多が医科入院外(40~42%)、次点は医科入院(30~32%)であった。
- ◎ 一件あたり日数の各年度の最多は医科入院の47~58%で、一日あたり医療費は歯科(48~51%)と医科入院(36~39%)が上位を占めた。

【3-4-02】診療区分別 医療費三要素 (②診療区分割合) 2/2

【一件あたり日数】



【一日あたり医療費】



【3-5-01】疾病分類別 医療費三要素 被保険者 男性 入院 1/3

【2022年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	4, 592, 040	1.56	1,791	0.3900	31.00	148, 130	1	31	1
02:新 生 物	112,580,060	38.17	43,908	52. 2621	10.25	81,996	134	1, 373	134
03:血液・造血器・免疫障害	5, 343, 010	1.81	2,084	1.9501	7.40	144, 406	5	37	5
04:内分泌・栄養・代謝疾患	3, 662, 780	1.24	1,429	3. 1201	14.50	31,576	8	116	8
05:精神・行動障害	3, 315, 660	1.12	1, 293	3.1201	12.88	32, 191	8	103	8
06:神経系疾患	27, 811, 760	9.43	10,847	20. 2808	10.37	51, 599	52	539	52
07:眼・付属器疾患	3, 926, 280	1.33	1,531	4.6802	3. 17	103, 323	12	38	12
08:耳・乳様突起疾患	1, 271, 350	0.43	496	1.9501	6.40	39, 730	5	32	5
09:循環器系疾患	72, 313, 420	24.52	28, 203	31. 2012	11.00	82, 174	80	880	80
10:呼吸器系疾患	4, 943, 300	1.68	1,928	2.3401	11.67	70,619	6	70	6
11:消化器系疾患	13, 132, 470	4.45	5, 122	17.5507	4.16	70, 227	45	187	45
12:皮膚・皮下組織疾患	505,900	0.17	197	1.1700	3.67	45, 991	3	11	3
13:筋骨格系・結合組織疾患	12,937,350	4.39	5,046	6.6303	14. 71	51, 749	17	250	17
14:腎尿路生殖器系疾患	9,879,920	3.35	3,853	6.2402	12.19	50,666	16	195	16
15:妊娠・分娩・産褥	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
16:周産期発生病態	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
17:先天奇形変形・染色体異常	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
18:他に分類されないもの	760, 690	0.26	297	1.1700	6.33	40,036	3	19	3
19:損傷・中毒・外因影響	17, 971, 210	6.09	7,009	11.7005	9.03	66, 314	30	271	30

[◎] 男性被保険者の疾病分類別医療費総額は年度によって変動はあるが、直近3年間は新生物、循環器系疾患、損傷・中毒・外因影響が必ず上位5位以内に入った。また、新生物と神経系疾患の医療費は直近3年間は増加傾向で2022年度が最も多かった。

^{◎ 2022}年度男性被保険者の入院医療費総額は多い順に、新生物、循環器系疾患、神経系疾患であり、一人あたり医療費も同じであった。

【3-5-01】疾病分類別 医療費三要素 被保険者 男性 入院 2/3

【2021年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	4, 267, 250	1. 28	1,648	2.7037	11.43	53, 341	7	80	7
02:新 生 物	86, 534, 600	25.87	33, 424	40.5562	9.89	83, 367	105	1,038	105
03:血液・造血器・免疫障害	157, 390	0.05	61	0.3862	2.00	78, 695	1	2	1
04:内分泌・栄養・代謝疾患	13,851,000	4.14	5,350	8.4975	19.18	32,822	22	422	22
05:精神・行動障害	1,723,020	0.52	666	1.5450	17.75	24, 268	4	71	4
06:神経系疾患	21, 475, 070	6.42	8, 295	13.9050	11.75	50,768	36	423	36
07:眼・付属器疾患	6, 751, 480	2.02	2,608	5. 7937	5.80	77,603	15	87	15
08:耳・乳様突起疾患	721,580	0.22	279	1.5450	3.00	60, 132	4	12	4
09:循環器系疾患	91, 781, 500	27.44	35, 451	36.6937	12.05	80, 159	95	1, 145	95
10:呼吸器系疾患	6,697,460	2.00	2,587	4.6350	5.67	98, 492	12	68	12
11:消化器系疾患	13,825,000	4. 13	5,340	19.3125	3.84	72,005	50	192	50
12:皮膚・皮下組織疾患	1,742,940	0.52	673	1.1587	15.00	38, 732	3	45	3
13:筋骨格系・結合組織疾患	11,868,330	3.55	4,584	5.0212	12.23	74, 644	13	159	13
14:腎尿路生殖器系疾患	13, 158, 550	3.93	5,082	14. 2912	5.05	70,367	37	187	37
15:妊娠・分娩・産褥	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
16:周産期発生病態	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
17:先天奇形変形・染色体異常	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
18:他に分類されないもの	1,635,640	0.49	632	1.5450	10.75	38,038	4	43	4
19:損傷・中毒・外因影響	58, 255, 500	17.42	22,501	20.8575	13.87	77, 778	54	749	54

^{◎ 2021}年度男性被保険者の入院医療費総額は多い順に、循環器系疾患、新生物、損傷・中毒・外因影響であり、一人あたり医療費も同じであった。

[◎] 循環器系疾患と損傷・中毒・外因影響の医療費は直近3年間で最も多かった。

【3-5-01】疾病分類別 医療費三要素 被保険者 男性 入院 3/3

【2020年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
02:新 生 物	78, 461, 850	29.44	29, 799	31.5230	10.71	88, 259	83	889	83
03:血液・造血器・免疫障害	6, 224, 710	2.34	2,364	2.2788	8.33	124, 494	6	50	6
04:内分泌・栄養・代謝疾患	13, 953, 270	5.24	5, 299	7.9757	20.90	31,784	21	439	21
05:精神・行動障害	5, 912, 210	2.22	2, 245	5.6969	21.00	18, 769	15	315	15
06:神経系疾患	16,878,200	6.33	6,410	11.3938	6.27	89,778	30	188	30
07:眼・付属器疾患	7, 321, 990	2.75	2, 781	6.4565	6.24	69,075	17	106	17
08:耳・乳様突起疾患	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
09:循環器系疾患	51, 436, 380	19.30	19,535	19.7493	15.00	65,944	52	780	52
10:呼吸器系疾患	18, 385, 200	6.90	6,983	5.6969	12.67	96, 764	15	190	15
11:消化器系疾患	17, 171, 310	6.44	6,522	22.0281	4.84	61,108	58	281	58
12:皮膚・皮下組織疾患	1, 128, 980	0.42	429	1.1394	11.00	34, 212	3	33	3
13:筋骨格系・結合組織疾患	8,826,840	3.31	3,352	4. 1777	13.18	60,875	11	145	11
14:腎尿路生殖器系疾患	9, 131, 790	3.43	3,468	8.3555	6.95	59,685	22	153	22
15:妊娠・分娩・産褥	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
16:周産期発生病態	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
17:先天奇形変形・染色体異常	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
18:他に分類されないもの	535, 250	0.20	203	0.7596	5.00	53, 525	2	10	2
19:損傷・中毒・外因影響	31, 164, 610	11.69	11,836	14.0524	16.43	51,258	37	608	37

^{◎ 2020}年度男性被保険者の入院医療費総額は多い順に、新生物、循環器系疾患、損傷・中毒・外因影響であり、一人あたり医療費も同じであった。

【3-5-02】疾病分類別 医療費三要素 被保険者 男性 入院外 1/3

【2022年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	9, 034, 710	3. 17	3,524	175.5070	1.50	13, 425	450	673	450
02:新 生 物	40, 151, 830	14.08	15,660	262.4805	1.48	40, 273	673	997	673
03:血液・造血器・免疫障害	3, 717, 100	1.30	1,450	16.3807	1.74	50, 919	42	73	42
04:内分泌・栄養・代謝疾患	41,085,370	14.41	16,024	916. 5367	1. 24	14,080	2,350	2,918	2,350
05:精神・行動障害	5, 433, 280	1.91	2,119	186.8175	1. 29	8,806	479	617	479
06:神経系疾患	11, 412, 830	4.00	4, 451	214. 1186	1.43	14, 539	549	785	549
07:眼・付属器疾患	15, 981, 440	5.60	6,233	447. 7379	1.33	10, 487	1, 148	1,524	1,148
08:耳・乳様突起疾患	2, 303, 590	0.81	898	73. 3229	1.24	9,887	188	233	188
09:循環器系疾患	48, 252, 470	16.92	18,819	1402.1061	1.17	11,508	3, 595	4, 193	3,595
10:呼吸器系疾患	10,065,950	3.53	3,926	315.5226	1.26	9,888	809	1,018	809
11:消化器系疾患	24, 466, 470	8.58	9,542	483.6193	1.25	15, 785	1,240	1,550	1,240
12:皮膚・皮下組織疾患	6, 908, 280	2.42	2,694	302. 2621	1.26	7, 100	775	973	775
13:筋骨格系・結合組織疾患	14, 402, 680	5.05	5,617	428. 2371	1.65	7, 927	1,098	1,817	1,098
14:腎尿路生殖器系疾患	39, 501, 490	13.85	15,406	281.9813	2.41	22,624	723	1,746	723
15:妊娠・分娩・産褥	238, 420	0.08	93	3.9002	1.80	13, 246	10	18	10
16:周産期発生病態	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
17:先天奇形変形・染色体異常	268,860	0.09	105	6.6303	1.18	13, 443	17	20	17
18:他に分類されないもの	4,550,340	1.60	1,775	90.8736	1. 25	15,637	233	291	233
19:損傷・中毒・外因影響	7, 399, 190	2.59	2,886	133.3853	2. 15	10,040	342	737	342

[◎] 男性被保険者の疾病分類別医療費総額は年度によって変動はあるが、新生物、内分泌・栄養・代謝疾患、循環器系疾患、消化器系疾患、腎尿路生殖器系疾患が上位5位以内に入った。

[◎] 循環器系疾患と腎尿路生殖器系疾患の医療費は直近3年間で2022年度が最も多く、循環器系は年々増加傾向を示した。

【3-5-02】疾病分類別 医療費三要素 被保険者 男性 入院外 2/3

【2021年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	4, 192, 880	1.51	1,619	144. 8436	1.50	7, 447	375	563	375
02:新 生 物	43, 090, 320	15.55	16,644	222.0935	1.57	47,878	575	900	575
03:血液・造血器・免疫障害	475,640	0.17	184	10.4287	1.19	14, 864	27	32	27
04:内分泌・栄養・代謝疾患	42, 164, 810	15.22	16,286	907. 3001	1.23	14, 585	2,349	2,891	2,349
05:精神・行動障害	3, 076, 300	1.11	1,188	145.6161	1.20	6,821	377	451	377
06:神経系疾患	8,637,530	3.12	3,336	219. 7760	1. 23	12, 339	569	700	569
07:眼・付属器疾患	14, 483, 910	5.23	5,594	430.6682	1. 22	10,642	1, 115	1, 361	1, 115
08:耳・乳様突起疾患	2, 573, 770	0.93	994	57. 9374	1.49	11,542	150	223	150
09:循環器系疾患	45, 521, 270	16.43	17,583	1375.8208	1.16	11,054	3,562	4, 118	3,562
10:呼吸器系疾患	7, 619, 430	2.75	2,943	277. 7134	1.19	8,880	719	858	719
11:消化器系疾患	25, 737, 100	9.29	9,941	472.3832	1. 25	16,844	1,223	1,528	1,223
12:皮膚・皮下組織疾患	9, 281, 730	3.35	3,585	285.8246	1. 21	10,325	740	899	740
13:筋骨格系・結合組織疾患	14, 452, 740	5.22	5,582	392.0433	1.81	7,863	1,015	1,838	1,015
14:腎尿路生殖器系疾患	27, 995, 210	10.10	10,813	253. 7659	1.96	21,786	657	1, 285	657
15:妊娠・分娩・産褥	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
16:周産期発生病態	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
17:先天奇形変形・染色体異常	364, 460	0.13	141	9. 2700	1.04	14, 578	24	25	24
18:他に分類されないもの	13, 582, 610	4.90	5, 246	103.1286	1.53	33, 209	267	409	267
19:損傷・中毒・外因影響	13, 872, 280	5. 01	5, 358	160. 2935	2.84	11, 756	415	1, 180	415

^{◎ 2021}年度男性被保険者の入院外医療費総額は多い順に、循環器系疾患、新生物、内分泌・栄養・代謝疾患であり、一人あたり医療費も同じであった。

[◎] 新生物、内分泌・栄養・代謝疾患、消化器系疾患の医療費は直近3年間でこの年が最も多かった。

【3-5-02】疾病分類別 医療費三要素 被保険者 男性 入院外 3/3

【2020年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	3, 357, 560	1.32	1,275	137.8656	1.52	6,083	363	552	363
02:新 生 物	35, 758, 060	14.06	13,581	214. 9639	1.52	41,628	566	859	566
03:血液・造血器・免疫障害	870, 230	0.34	331	11.3938	1.47	19, 778	30	44	30
04:内分泌・栄養・代謝疾患	40, 765, 010	16.03	15,482	859.8557	1. 24	14, 507	2,264	2,810	2,264
05:精神・行動障害	3, 459, 820	1.36	1,314	137. 1060	1.39	6,906	361	501	361
06:神経系疾患	8,850,890	3.48	3,362	223. 3194	1.30	11,555	588	766	588
07:眼・付属器疾患	15, 723, 910	6.18	5,972	421.9521	1.25	11, 345	1, 111	1,386	1, 111
08:耳・乳様突起疾患	2, 382, 790	0.94	905	75. 1994	1.41	8,510	198	280	198
09:循環器系疾患	39, 136, 610	15.39	14,864	1272.3130	1.14	10, 264	3,350	3,813	3,350
10:呼吸器系疾患	7, 550, 230	2.97	2,868	306. 4945	1.25	7, 498	807	1,007	807
11:消化器系疾患	24, 050, 760	9.46	9,134	442.8409	1.21	17,045	1,166	1, 411	1,166
12:皮膚・皮下組織疾患	7, 781, 010	3.06	2,955	252.9434	1.31	8,893	666	875	666
13:筋骨格系・結合組織疾患	13, 171, 070	5.18	5,002	390.0494	1.60	8,036	1,027	1,639	1,027
14:腎尿路生殖器系疾患	29,845,050	11.73	11,335	223. 3194	2.40	21, 107	588	1, 414	588
15:妊娠・分娩・産褥	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
16:周産期発生病態	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
17:先天奇形変形・染色体異常	231, 230	0.09	88	6. 4565	1. 24	11, 011	17	21	17
18:他に分類されないもの	8,500,950	3.34	3, 229	73.3004	1. 27	34, 698	193	245	193
19:損傷・中毒・外因影響	12, 895, 410	5.07	4,898	101.4052	3. 21	15,065	267	856	267

^{◎ 2020}年度男性被保険者の入院外医療費総額は多い順に、内分泌・栄養・代謝疾患、循環器系疾患、新生物であり、一人あたり医療費も同じであった。

【3-5-03】疾病分類別 医療費三要素 被保険者 女性 入院 1/3

【2022年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	2, 914, 770	1.70	581	2.9916	4.80	40, 483	15	72	15
02:新 生 物	50,008,820	29.15	9,974	16.9525	7.06	83, 348	85	600	85
03:血液・造血器・免疫障害	1,546,470	0.90	308	1. 7950	4.00	42, 958	9	36	9
04:内分泌・栄養・代謝疾患	3, 774, 940	2.20	753	2. 1939	5. 73	59,920	11	63	11
05:精神・行動障害	3, 773, 550	2.20	753	2. 1939	7.27	47, 169	11	80	11
06:神経系疾患	5, 873, 420	3.42	1, 171	2. 5927	8.15	55, 410	13	106	13
07:眼・付属器疾患	4, 254, 980	2.48	849	2. 3933	5.67	62,573	12	68	12
08:耳・乳様突起疾患	819, 310	0.48	163	0.7978	4.00	51, 207	4	16	4
09:循環器系疾患	18,020,940	10.50	3,594	2.9916	12.07	99, 563	15	181	15
10:呼吸器系疾患	3, 898, 020	2.27	777	2. 7922	5.57	49, 975	14	78	14
11:消化器系疾患	13, 543, 620	7.89	2,701	8. 7754	5.02	61, 283	44	221	44
12:皮膚・皮下組織疾患	5, 694, 110	3.32	1,136	3. 1911	6.88	51, 765	16	110	16
13:筋骨格系・結合組織疾患	19, 721, 770	11.49	3,933	5. 5844	9.14	77,038	28	256	28
14:腎尿路生殖器系疾患	10, 227, 980	5.96	2,040	7. 3793	4.14	66,850	37	153	37
15:妊娠・分娩・産褥	19, 104, 410	11.13	3,810	20.5425	5.65	32,825	103	582	103
16:周産期発生病態	151,380	0.09	30	0.1994	7.00	21,626	1	7	1
17: 先天奇形変形・染色体異常	1, 267, 850	0.74	253	1. 1966	2.50	84, 523	6	15	6
18:他に分類されないもの	1,849,420	1.08	369	1.9944	4.50	41,098	10	45	10
19:損傷・中毒・外因影響	5, 131, 680	2.99	1,023	3.5899	4.56	62, 581	18	82	18

[◎] 女性被保険者の疾病分類別医療費総額は年度によって変動はあるが、直近3年間は新生物、妊娠・分娩・産褥、循環器系疾患、消化器系疾患が上位5位以内に入っていた。また、新生物、筋骨格系・結合組織疾患、循環器系疾患の医療費は直近3年間で2022年度が最も多かった。

^{◎ 2022}年度女性被保険者の入院医療費総額は多い順に、新生物、筋骨格系・結合組織、妊娠・分娩・産褥であり、一人あたり医療費も同じであった。

【3-5-03】疾病分類別 医療費三要素 被保険者 女性 入院 2/3

【2021年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	1,599,610	1.29	323	2.0165	5.30	30, 181	10	53	10
02:新 生 物	35, 127, 430	28.32	7,084	11. 2926	6.02	104, 236	56	337	56
03:血液・造血器・免疫障害	606, 470	0.49	122	0.6050	6.67	30, 324	3	20	3
04:内分泌・栄養・代謝疾患	1, 350, 280	1.09	272	1.2099	5.67	39, 714	6	34	6
05:精神・行動障害	516,860	0.42	104	0.2017	4.00	129, 215	1	4	1
06:神経系疾患	3, 598, 140	2.90	726	1. 2099	8.83	67, 889	6	53	6
07:眼・付属器疾患	973,090	0.78	196	0.6050	4.33	74, 853	3	13	3
08:耳・乳様突起疾患	1, 325, 160	1.07	267	1.4116	4.71	40, 156	7	33	7
09:循環器系疾患	13, 136, 380	10.59	2,649	3. 4281	8.12	95, 191	17	138	17
10:呼吸器系疾患	1,141,350	0.92	230	1.4116	3.43	47,556	7	24	7
11:消化器系疾患	16, 489, 450	13.29	3,325	8.6711	7.47	51, 369	43	321	43
12:皮膚・皮下組織疾患	950,220	0.77	192	1.0083	5.80	32, 766	5	29	5
13:筋骨格系・結合組織疾患	4, 272, 250	3.44	862	2.0165	6.30	67,813	10	63	10
14:腎尿路生殖器系疾患	7, 073, 180	5.70	1,426	4.6380	4.09	75, 247	23	94	23
15:妊娠・分娩・産褥	23, 218, 620	18.72	4,682	21.3753	5.85	37, 449	106	620	106
16:周産期発生病態	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
17: 先天奇形変形・染色体異常	1,658,480	1.34	334	0.4033	14.00	59, 231	2	28	2
18:他に分類されないもの	4, 322, 250	3.48	872	1.6132	8.13	66, 496	8	65	8
19:損傷・中毒・外因影響	6, 684, 420	5.39	1,348	2. 4198	7.33	75, 959	12	88	12

^{◎ 2021}年度女性被保険者の入院医療費総額は多い順に、新生物、妊娠・分娩・産褥、消化器系疾患であり、一人あたり医療費も同じであった。

[◎] 妊娠・分娩・産褥と消化器系疾患の医療費総額は直近3年間で本年度が最も多かった。

【3-5-03】疾病分類別 医療費三要素 被保険者 女性 入院 3/3

【2020年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	2, 636, 870	2.65	539	2. 2490	6.09	39, 356	11	67	11
02:新 生 物	19, 783, 460	19.88	4,045	7. 7694	5.68	91, 590	38	216	38
03:血液・造血器・免疫障害	130,540	0.13	27	0.4089	6.00	10,878	2	12	2
04:内分泌・栄養・代謝疾患	1,040,670	1.05	213	0.8178	4.75	54, 772	4	19	4
05:精神・行動障害	945,540	0.95	193	0.4089	10.00	47, 277	2	20	2
06:神経系疾患	1,038,310	1.04	212	1.0223	4.60	45, 144	5	23	5
07:眼・付属器疾患	332, 220	0.33	68	0.4089	3.00	55, 370	2	6	2
08:耳・乳様突起疾患	1,569,530	1.58	321	1. 2267	6.17	42, 420	6	37	6
09:循環器系疾患	15, 004, 670	15.08	3,068	4. 0891	9.55	78, 558	20	191	20
10:呼吸器系疾患	3,907,680	3.93	799	3. 2713	4.88	50,098	16	78	16
11:消化器系疾患	7, 608, 060	7.65	1,556	6.5426	5.72	41,574	32	183	32
12:皮膚・皮下組織疾患	126, 210	0.13	26	0.2045	2.00	63, 105	1	2	1
13:筋骨格系・結合組織疾患	11, 472, 730	11.53	2,346	3.6802	10.33	61,681	18	186	18
14:腎尿路生殖器系疾患	6, 128, 980	6.16	1,253	5.5203	3.07	73, 843	27	83	27
15:妊娠・分娩・産褥	21, 675, 910	21.78	4, 432	16.7655	6.51	40,592	82	534	82
16:周産期発生病態	253,870	0.26	52	1.0223	6.20	8, 189	5	31	5
17: 先天奇形変形・染色体異常	1, 145, 940	1.15	234	0.6134	5.33	71,621	3	16	3
18:他に分類されないもの	1, 150, 450	1.16	235	1.6357	4. 75	30, 275	8	38	8
19:損傷・中毒・外因影響	3, 553, 710	3.57	727	2.4535	5.08	58, 258	12	61	12

^{◎ 2020}年度女性被保険者の入院医療費総額は多い順に、妊娠・分娩・産褥、新生物、循環器系疾患であり、一人あたり医療費も同じであった。

【3-5-04】疾病分類別 医療費三要素 被保険者 女性 入院外 1/3

【2022年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	12, 267, 240	3.70	2,447	245. 9114	1.36	7, 315	1, 233	1,677	1,233
02:新 生 物	28, 170, 490	8.49	5,618	332.6685	1. 20	14, 092	1,668	1,999	1,668
03:血液・造血器・免疫障害	3, 330, 300	1.00	664	63.8213	1.24	8,389	320	397	320
04:内分泌・栄養・代謝疾患	29, 614, 690	8.92	5,906	459.7128	1.20	10,680	2,305	2,773	2,305
05:精神・行動障害	8, 995, 360	2.71	1,794	206. 6215	1.27	6,830	1,036	1,317	1,036
06:神経系疾患	8,843,670	2.66	1,764	176.3063	1.17	8,536	884	1,036	884
07:眼・付属器疾患	17, 021, 460	5.13	3, 395	583.3666	1.10	5, 278	2,925	3, 225	2,925
08:耳・乳様突起疾患	5,029,090	1.51	1,003	100.9174	1.33	7, 495	506	671	506
09:循環器系疾患	14, 287, 100	4.30	2,849	295. 7718	1.16	8,336	1,483	1,714	1,483
10:呼吸器系疾患	37, 528, 040	11.30	7, 485	722. 9757	1.20	8,623	3,625	4, 352	3,625
11:消化器系疾患	32, 651, 030	9.83	6,512	409.8524	1.23	12,895	2,055	2,532	2,055
12:皮膚・皮下組織疾患	28, 261, 940	8.51	5,637	945. 1536	1.20	4, 965	4, 739	5,692	4, 739
13:筋骨格系・結合組織疾患	27, 962, 220	8.42	5,577	431. 7910	1.48	8, 706	2, 165	3, 212	2,165
14:腎尿路生殖器系疾患	49, 873, 240	15.02	9,947	841. 2445	1. 24	9, 573	4, 218	5,210	4, 218
15:妊娠・分娩・産褥	6,085,380	1.83	1,214	107. 6984	1.62	6,955	540	875	540
16:周産期発生病態	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
17: 先天奇形変形・染色体異常	719,530	0.22	144	12. 1659	1.34	8, 775	61	82	61
18:他に分類されないもの	12,906,760	3.89	2,574	167. 7304	1. 26	12, 165	841	1,061	841
19:損傷・中毒・外因影響	8, 446, 930	2.54	1,685	133.0275	1.84	6,873	667	1, 229	667

[◎] 女性被保険者の疾病分類別医療費総額は年度によって変動はあるが、直近3年間は腎尿路生殖器系疾患(1位)、呼吸器系疾患、内分泌・栄養・ 代謝疾患が上位5位以内に入った。ほとんどの疾病分類において2022年度の医療費総額が最多であり、腎尿路は2位の呼吸器系の約1.5倍増。

^{◎ 2022}年度女性被保険者の入院外医療費総額は多い順に、腎尿路生殖器系疾患、呼吸器系疾患、消化器系疾患であった。

【3-5-04】疾病分類別 医療費三要素 被保険者 女性 入院外 2/3

【2021年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	9, 056, 400	3.24	1,826	206.8966	1.48	5, 970	1,026	1,517	1,026
02:新 生 物	27, 832, 990	9.94	5,613	315.5878	1.22	14, 519	1,565	1,917	1,565
03:血液・造血器・免疫障害	3, 118, 550	1.11	629	57. 4713	1. 28	8, 521	285	366	285
04:内分泌・栄養・代謝疾患	25, 748, 810	9.20	5, 192	427. 1022	1. 20	10,090	2, 118	2,552	2,118
05:精神・行動障害	6, 263, 320	2.24	1, 263	151.0385	1. 22	6,845	749	915	749
06:神経系疾患	6,821,630	2.44	1,376	149.0220	1.14	8,073	739	845	739
07:眼・付属器疾患	14, 252, 070	5.09	2,874	550. 5142	1.09	4, 789	2,730	2,976	2,730
08:耳・乳様突起疾患	5, 439, 220	1.94	1,097	101. 2301	1.32	8, 229	502	661	502
09:循環器系疾患	12, 414, 180	4.44	2,503	267. 5943	1.12	8,371	1,327	1,483	1,327
10:呼吸器系疾患	28, 880, 430	10.32	5,824	566. 2432	1.20	8,537	2,808	3, 383	2,808
11:消化器系疾患	26, 503, 370	9.47	5,344	387. 5781	1. 25	11,006	1,922	2,408	1,922
12:皮膚・皮下組織疾患	23, 746, 850	8.48	4,789	883. 2426	1. 21	4, 466	4,380	5,317	4,380
13:筋骨格系・結合組織疾患	25, 153, 290	8.99	5,072	347. 2474	1.47	9, 915	1,722	2,537	1,722
14:腎尿路生殖器系疾患	41, 892, 760	14.97	8,448	762. 4521	1.28	8,688	3, 781	4,822	3, 781
15:妊娠・分娩・産褥	5, 758, 350	2.06	1,161	112.3210	1.62	6, 391	557	901	557
16:周産期発生病態	16,990	0.01	3	0.4033	1.50	5,663	2	3	2
17:先天奇形変形・染色体異常	525,020	0.19	106	10.8893	1. 26	7, 721	54	68	54
18:他に分類されないもの	10,662,300	3.81	2,150	154. 2650	1. 28	10,847	765	983	765
19:損傷・中毒・外因影響	5,805,900	2.07	1, 171	106. 4731	1.62	6, 791	528	855	528

^{◎ 2021}年度の被保険者の入院外医療費総額は多い順に、腎尿路生殖器系疾患、呼吸器系疾患、新生物であり、一人あたり医療費も同じであった。

【3-5-04】疾病分類別 医療費三要素 被保険者 女性 入院外 3/3

【2020年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	8,771,580	3.63	1,793	207. 9329	1.48	5, 813	1,017	1,509	1,017
02:新 生 物	24, 610, 360	10.18	5,032	285.0133	1.27	13,857	1, 394	1,776	1,394
03:血液・造血器・免疫障害	2, 318, 750	0.96	474	48.6608	1.33	7,338	238	316	238
04:内分泌・栄養・代謝疾患	23, 473, 310	9.71	4,799	379.2680	1.22	10,336	1,855	2, 271	1,855
05:精神・行動障害	5, 214, 970	2.16	1,066	120.4253	1.26	7,000	589	745	589
06:神経系疾患	5, 979, 160	2.47	1, 222	130.0348	1.12	8, 398	636	712	636
07:眼・付属器疾患	14, 883, 200	6.16	3,043	523.4103	1.09	5, 356	2,560	2,779	2,560
08:耳・乳様突起疾患	3, 922, 160	1.62	802	87.3032	1.36	6, 739	427	582	427
09:循環器系疾患	11, 556, 590	4.78	2,363	234. 3079	1.14	8,842	1, 146	1,307	1,146
10:呼吸器系疾患	21, 295, 660	8.81	4,354	530.5663	1.22	6,712	2,595	3, 173	2,595
11:消化器系疾患	19, 307, 460	7.99	3,948	336.3320	1.24	9, 451	1,645	2,043	1,645
12:皮膚・皮下組織疾患	22, 875, 420	9.46	4,677	840.9323	1.19	4, 687	4, 113	4, 881	4, 113
13:筋骨格系・結合組織疾患	20, 999, 410	8.69	4, 293	315. 2730	1.55	8, 797	1,542	2,387	1,542
14:腎尿路生殖器系疾患	37, 364, 600	15.46	7,639	685.9538	1.28	8, 679	3, 355	4,305	3,355
15:妊娠・分娩・産褥	5, 284, 440	2.19	1,080	99. 1617	1.77	6, 145	485	860	485
16:周産期発生病態	16,420	0.01	3	0.4089	2.00	4, 105	2	4	2
17: 先天奇形変形・染色体異常	460,510	0.19	94	9.8139	1.40	6,873	48	67	48
18:他に分類されないもの	8, 165, 020	3.38	1,669	124. 1055	1. 26	10,659	607	766	607
19:損傷・中毒・外因影響	5, 196, 160	2.15	1,062	99.1617	1.62	6,594	485	788	485

^{© 2020}年度女性被保険者の入院外医療費総額は多い順に、腎尿路生殖器系疾患、新生物、内分泌・栄養・代謝疾患であり、一人あたり医療費も同じであった。

【3-6-01】疾病分類別 医療費三要素 被扶養者 男性 入院 1/3

【2022年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	1, 453, 400	2.53	1,046	4.3197	3.50	69, 210	6	21	6
02:新 生 物	453, 440	0.79	326	1.4399	3.50	64, 777	2	7	2
03:血液・造血器・免疫障害	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
04:内分泌・栄養・代謝疾患	590,930	1.03	425	2.1598	2.00	98, 488	3	6	3
05:精神・行動障害	10, 998, 950	19.18	7,919	18.7185	24. 27	17, 431	26	631	26
06:神経系疾患	1,638,860	2.86	1,180	3.5997	12.40	26, 433	5	62	5
07:眼・付属器疾患	334,660	0.58	241	0.7199	3.00	111, 553	1	3	1
08:耳・乳様突起疾患	686,600	1.20	494	0.7199	12.00	57, 217	1	12	1
09:循環器系疾患	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
10:呼吸器系疾患	3, 569, 900	6.23	2,570	7. 1994	5.50	64, 907	10	55	10
11:消化器系疾患	1, 151, 590	2.01	829	2.8798	2. 25	127, 954	4	9	4
12:皮膚・皮下組織疾患	8, 511, 160	14.84	6,128	8.6393	23.92	29,656	12	287	12
13:筋骨格系・結合組織疾患	3, 471, 590	6.05	2,499	3.5997	10.80	64, 289	5	54	5
14:腎尿路生殖器系疾患	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
15:妊娠・分娩・産褥	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
16:周産期発生病態	3,520,090	6.14	2,534	10.0792	5.93	42, 411	14	83	14
17:先天奇形変形・染色体異常	14, 119, 500	24.62	10, 165	10. 7991	23. 13	40,690	15	347	15
18:他に分類されないもの	1,550	0.00	1	0.7199	6.00	258	1	6	1
19:損傷・中毒・外因影響	6,840,330	11.93	4,925	11.5191	7.50	57,003	16	120	16

[◎] 男性被扶養者の疾病分類別医療費総額は年度によって変動はあるが、先天奇形変形・染色体異常、精神・行動障害、損傷・中毒・外因影響が上位 5位以内に入っていた。また、損傷・中毒・外因影響の医療費総額は直近3年間で2022年度が最も多かった。

^{◎ 2022}年度男性被扶養者の入院医療費総額は多い順に、先天奇形変形・染色体異常、精神・行動障害、皮膚・皮下組織疾患であった。

【3-6-01】疾病分類別 医療費三要素 被扶養者 男性 入院 2/3

【2021年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	1, 342, 620	2.01	956	4. 2735	3.67	61,028	6	22	6
02:新 生 物	2, 893, 130	4.33	2,061	3.5613	4.60	125, 788	5	23	5
03:血液・造血器・免疫障害	1, 195, 480	1.79	851	0.7123	14.00	85, 391	1	14	1
04:内分泌・栄養・代謝疾患	1, 175, 620	1.76	837	2.1368	7.33	53, 437	3	22	3
05:精神・行動障害	5, 638, 310	8.43	4,016	11.3960	24.94	14, 131	16	399	16
06:神経系疾患	2, 179, 840	3.26	1,553	4.9858	14.00	22, 243	7	98	7
07:眼・付属器疾患	400,770	0.60	285	1. 4245	4.00	50,096	2	8	2
08:耳・乳様突起疾患	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
09:循環器系疾患	2,520,810	3.77	1,795	2.1368	4.33	193, 908	3	13	3
10:呼吸器系疾患	6,420,860	9.60	4,573	4. 9858	10.43	87, 957	7	73	7
11:消化器系疾患	4,335,800	6.48	3,088	7.8348	4.91	80, 293	11	54	11
12:皮膚・皮下組織疾患	2,805,430	4.20	1,998	3.5613	24. 20	23, 185	5	121	5
13:筋骨格系・結合組織疾患	2,847,220	4.26	2,028	1. 4245	20.50	69, 444	2	41	2
14:腎尿路生殖器系疾患	2, 313, 330	3.46	1,648	4. 9858	4. 71	70, 101	7	33	7
15:妊娠・分娩・産褥	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
16:周産期発生病態	9, 274, 820	13.87	6,606	7. 1225	12.30	75, 405	10	123	10
17:先天奇形変形・染色体異常	16,048,630	24.00	11, 431	12.8205	22. 22	40, 122	18	400	18
18:他に分類されないもの	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
19:損傷・中毒・外因影響	5, 474, 660	8.19	3, 899	8.5470	7. 42	61,513	12	89	12

^{◎ 2021}年度男性被扶養者の入院医療費総額は多い順に、先天奇形変形・染色体異常、周産期発生病態、呼吸器系疾患であり、一人あたり医療費も同じであった。

[◎] 先天奇形変形・染色体異常の医療費総額は直近3年間で本年度が最も多かった。

【3-6-01】疾病分類別 医療費三要素 被扶養者 男性 入院 3/3

【2020年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	656,550	0.74	453	1.3803	6.00	54, 713	2	12	2
02:新 生 物	2,931,810	3.31	2,023	3.4507	8.20	71,508	5	41	5
03:血液・造血器・免疫障害	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
04:内分泌・栄養・代謝疾患	1, 752, 960	1.98	1,210	2.0704	6.67	87, 648	3	20	3
05:精神・行動障害	13, 323, 810	15.03	9, 195	19.3237	27.93	17,038	28	782	28
06:神経系疾患	5,068,990	5.72	3,498	8.9717	16.77	23, 252	13	218	13
07:眼・付属器疾患	1, 553, 200	1.75	1,072	1.3803	8.50	91, 365	2	17	2
08:耳・乳様突起疾患	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
09:循環器系疾患	2, 074, 480	2.34	1,432	2.7605	7.00	74, 089	4	28	4
10:呼吸器系疾患	2, 959, 230	3.34	2,042	4.1408	8.50	58,024	6	51	6
11:消化器系疾患	8, 999, 270	10.15	6,211	11.7322	8.71	60,806	17	148	17
12:皮膚・皮下組織疾患	2, 857, 130	3.22	1,972	3.4507	24.60	23, 229	5	123	5
13:筋骨格系・結合組織疾患	3, 759, 050	4.24	2,594	3.4507	6.40	117, 470	5	32	5
14:腎尿路生殖器系疾患	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
15:妊娠・分娩・産褥	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
16:周産期発生病態	27, 234, 360	30.72	18,795	15. 1829	14.50	85, 374	22	319	22
17:先天奇形変形・染色体異常	9, 206, 300	10.38	6,354	11.7322	22. 24	24, 355	17	378	17
18:他に分類されないもの	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
19:損傷・中毒・外因影響	6, 287, 240	7.09	4,339	12. 4224	6.94	50, 298	18	125	18

^{◎ 2020}年度男性被扶養者の入院医療費総額は多い順に、周産期発生病態、精神・行動障害、先天奇形変形・染色体異常であり、一人あたり医療費も同じであった。

[◎] 周産期発生病態の医療費総額は直近3年間で本年度が最も多かった。

【3-6-02】疾病分類別 医療費三要素 被扶養者 男性 入院外 1/3

【2022年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	3, 285, 500	4.80	2,365	261.3391	1.58	5, 714	363	575	363
02:新 生 物	1, 016, 580	1.49	732	38. 1569	1.32	14, 523	53	70	53
03:血液・造血器・免疫障害	200,860	0.29	145	10.0792	1.14	12,554	14	16	14
04:内分泌・栄養・代謝疾患	3,771,050	5.51	2,715	138. 2289	1.18	16,613	192	227	192
05:精神・行動障害	7, 023, 840	10.26	5,057	420.4464	1.46	8, 263	584	850	584
06:神経系疾患	954, 590	1.39	687	67. 6746	1.17	8,678	94	110	94
07:眼・付属器疾患	3, 727, 610	5.45	2,684	470.1224	1.11	5, 142	653	725	653
08:耳・乳様突起疾患	1, 226, 980	1.79	883	103.6717	1.60	5, 335	144	230	144
09:循環器系疾患	1,641,070	2.40	1,181	106.5515	1.13	9,827	148	167	148
10:呼吸器系疾患	17, 219, 780	25.16	12,397	1187. 9050	1.30	8, 039	1,650	2, 142	1,650
11:消化器系疾患	3, 922, 020	5.73	2,824	179.9856	1.18	13, 250	250	296	250
12:皮膚・皮下組織疾患	5, 656, 680	8.27	4,072	805.6156	1.17	4, 315	1, 119	1, 311	1, 119
13:筋骨格系・結合組織疾患	4, 498, 970	6.57	3, 239	169. 1865	1.63	11,777	235	382	235
14:腎尿路生殖器系疾患	4, 445, 590	6.50	3, 201	82.0734	2.05	18,998	114	234	114
15:妊娠・分娩・産褥	27, 220	0.04	20	4. 3197	1.00	4,537	6	6	6
16:周産期発生病態	929, 420	1.36	669	22.3182	1.42	21, 123	31	44	31
17:先天奇形変形・染色体異常	2,089,800	3.05	1,505	65.5148	1. 77	12,980	91	161	91
18:他に分類されないもの	1, 794, 570	2.62	1, 292	111. 5911	1. 19	9,700	155	185	155
19:損傷・中毒・外因影響	5,006,120	7.31	3,604	261.3391	1.80	7,655	363	654	363

[◎] 男性被扶養者の疾病分類別医療費総額は年度によって変動はあるが、直近3年間は呼吸器系疾患(1位)、精神・行動障害(2位)、皮膚・皮下組織疾患(3位)は必ず上位に入っていた。また、呼吸器系疾患の医療費総額は直近3年間で2022年度が最も多く、年々増加傾向を示した。

^{◎ 2022}年度男性被扶養者入院外医療費総額は多い順に、呼吸器系疾患、精神・行動障害、皮膚・皮下組織疾患であった。

【3-6-02】疾病分類別 医療費三要素 被扶養者 男性 入院外 2/3

【2021年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	2,666,100	4.00	1,899	216.5242	1. 75	5, 021	304	531	304
02:新 生 物	1, 523, 130	2.28	1,085	49.1453	1.38	16,033	69	95	69
03:血液・造血器・免疫障害	84,670	0.13	60	5. 6980	1.00	10,584	8	8	8
04:内分泌・栄養・代謝疾患	3, 285, 440	4.92	2,340	123. 9316	1.34	14, 040	174	234	174
05:精神・行動障害	9, 511, 760	14.25	6,775	400. 2849	1.93	8,750	562	1,087	562
06:神経系疾患	2, 032, 240	3.05	1,447	81.9088	1.43	12, 317	115	165	115
07:眼・付属器疾患	4, 520, 740	6.77	3, 220	495. 7265	1.10	5, 917	696	764	696
08:耳・乳様突起疾患	1, 139, 410	1.71	812	93.3048	1.37	6,330	131	180	131
09:循環器系疾患	1, 783, 850	2.67	1,271	101.1396	1.35	9,340	142	191	142
10:呼吸器系疾患	13, 717, 220	20.56	9,770	1007.8348	1.37	7,093	1, 415	1,934	1,415
11:消化器系疾患	5, 184, 000	7.77	3,692	185.8974	1.44	13, 751	261	377	261
12:皮膚・皮下組織疾患	5, 922, 450	8.88	4,218	762.1083	1. 24	4, 456	1,070	1,329	1,070
13:筋骨格系・結合組織疾患	4, 057, 390	6.08	2,890	131.7664	1.39	15, 726	185	258	185
14:腎尿路生殖器系疾患	1,618,570	2.43	1,153	61.2536	1.41	13, 377	86	121	86
15:妊娠・分娩・産褥	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
16:周産期発生病態	932,750	1.40	664	25.6410	1.19	21,692	36	43	36
17:先天奇形変形・染色体異常	1,822,840	2.73	1,298	49.8575	1.87	13, 915	70	131	70
18:他に分類されないもの	1,881,480	2.82	1,340	105. 4131	1.18	10,813	148	174	148
19:損傷・中毒・外因影響	5,043,320	7.56	3,592	279. 9145	1. 98	6, 491	393	777	393

^{◎ 2021}年度男性被扶養者の入院外医療費総額は多い順に、呼吸器系疾患、精神・行動障害、皮膚・皮下組織疾患であり、一人あたり医療費も同じであった。

[◎] 精神・行動障害の医療費総額は直近3年間で本年度が最も多かった。

【3-6-02】疾病分類別 医療費三要素 被扶養者 男性 入院外 3/3

【2020年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	2,679,640	4.13	1,849	191.8565	1.63	5, 915	278	453	278
02:新 生 物	4,679,620	7.21	3,230	69.0131	1.34	34, 923	100	134	100
03:血液・造血器・免疫障害	684, 760	1.06	473	6.9013	1.30	52,674	10	13	10
04:内分泌・栄養・代謝疾患	3, 358, 780	5.18	2,318	97. 9986	1.56	15, 198	142	221	142
05:精神・行動障害	8, 981, 230	13.84	6,198	400.9662	1.87	8, 255	581	1,088	581
06:神経系疾患	1,869,920	2.88	1,290	76.6046	1.27	13, 262	111	141	111
07:眼・付属器疾患	3, 932, 890	6.06	2,714	444. 4444	1.16	5, 244	644	750	644
08:耳・乳様突起疾患	1, 222, 340	1.88	844	107.6605	1.45	5, 409	156	226	156
09:循環器系疾患	1,939,540	2.99	1,339	104.8999	1.44	8,856	152	219	152
10:呼吸器系疾患	10, 117, 130	15.59	6,982	870. 2553	1.34	5, 994	1, 261	1,688	1, 261
11:消化器系疾患	5,821,290	8.97	4,017	211. 1801	1.46	13,052	306	446	306
12:皮膚・皮下組織疾患	6,400,770	9.86	4, 417	798. 4817	1. 25	4, 414	1, 157	1,450	1, 157
13:筋骨格系・結合組織疾患	2, 797, 710	4.31	1,931	155.9696	1.58	7, 815	226	358	226
14:腎尿路生殖器系疾患	970,780	1.50	670	57.9710	1.32	8,746	84	111	84
15:妊娠・分娩・産褥	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
16:周産期発生病態	1,614,540	2.49	1, 114	19.3237	1.04	55, 674	28	29	28
17:先天奇形変形・染色体異常	1,873,720	2.89	1, 293	58.6611	1.86	11,859	85	158	85
18:他に分類されないもの	1,672,930	2.58	1, 155	100.0690	1.30	8, 899	145	188	145
19:損傷・中毒・外因影響	4, 275, 650	6.59	2, 951	236. 7150	1.64	7, 581	343	564	343

^{◎ 2020}年度の男性被扶養者入院外医療費総額は多い順に、呼吸器系疾患、精神・行動障害、皮膚・皮下組織疾患であり、一人あたり医療費も同じであった。

[◎] 皮膚・皮下組織疾患の医療費総額は直近3年間で本年度が最も多かった。

【3-6-03】疾病分類別 医療費三要素 被扶養者 女性 入院 1/3

【2022年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	102, 290	0.07	32	0.6347	3.00	17, 048	2	6	2
02:新 生 物	40,661,370	26.50	12,904	18. 4069	7.69	91, 169	58	446	58
03:血液・造血器・免疫障害	3, 264, 070	2.13	1,036	0.9521	15.67	69, 448	3	47	3
04:内分泌・栄養・代謝疾患	2, 478, 560	1.62	787	2. 2215	6.14	57, 641	7	43	7
05:精神・行動障害	9, 011, 440	5.87	2,860	5.3951	26.88	19, 719	17	457	17
06:神経系疾患	9, 153, 110	5.96	2,905	5.3951	27.18	19,812	17	462	17
07:眼・付属器疾患	1,650,660	1.08	524	1. 2694	4.50	91, 703	4	18	4
08:耳・乳様突起疾患	1, 154, 360	0.75	366	1. 2694	6.00	48,098	4	24	4
09:循環器系疾患	24, 175, 590	15.75	7,672	8. 2513	12.96	71, 738	26	337	26
10:呼吸器系疾患	3,468,650	2.26	1,101	3. 1736	5.60	61, 940	10	56	10
11:消化器系疾患	10, 188, 950	6.64	3, 234	9.8381	5.10	64, 487	31	158	31
12:皮膚・皮下組織疾患	3, 053, 440	1.99	969	2.5389	6.00	63, 613	8	48	8
13:筋骨格系・結合組織疾患	14,301,970	9.32	4,539	6.6646	9.14	74, 489	21	192	21
14:腎尿路生殖器系疾患	4, 219, 060	2.75	1,339	4. 4430	4. 79	62,971	14	67	14
15:妊娠・分娩・産褥	6, 289, 420	4.10	1,996	8.8861	4.68	48,011	28	131	28
16:周産期発生病態	2,477,770	1.61	786	2.8562	4.78	57, 623	9	43	9
17: 先天奇形変形・染色体異常	2,962,870	1.93	940	1.9042	6.00	82, 302	6	36	6
18:他に分類されないもの	242,500	0.16	77	0.6347	2.00	60,625	2	4	2
19:損傷・中毒・外因影響	14,606,680	9.52	4,636	8.8861	7. 29	71,601	28	204	28

[◎] 女性被扶養者の入院医療費総額は年度によって変動はあるが、直近3年間は新生物、損傷・中毒・外因影響が必ず上位5位以内に入った。

^{◎ 2022}年度の女性被扶養者の医療費総額は多い順に、新生物、循環器系疾患、損傷・中毒・外因影響であり、一人あたり医療費も同じであった。

[◎] 新生物、損傷・中毒・外因影響の医療費総額は直近3年間で本年度が最も多かった。

【3-6-03】疾病分類別 医療費三要素 被扶養者 女性 入院 2/3

【2021年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	249, 150	0.14	79	0.6339	4.50	27, 683	2	9	2
02:新 生 物	37, 558, 420	20.93	11,904	19.6513	6.39	94, 844	62	396	62
03:血液・造血器・免疫障害	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
04:内分泌・栄養・代謝疾患	3, 412, 460	1.90	1,082	1.9017	10.67	53, 320	6	64	6
05:精神・行動障害	8,730,640	4.87	2,767	6.9731	24. 27	16,350	22	534	22
06:神経系疾患	907,880	0.51	288	0.9509	5.33	56, 743	3	16	3
07:眼・付属器疾患	1, 859, 410	1.04	589	2. 2187	4.43	59, 981	7	31	7
08:耳・乳様突起疾患	1, 352, 200	0.75	429	1.2678	4.50	75, 122	4	18	4
09:循環器系疾患	39, 610, 610	22.08	12,555	11.4105	12.78	86,110	36	460	36
10:呼吸器系疾患	3,660,670	2.04	1,160	3.1696	6.20	59,043	10	62	10
11:消化器系疾患	8, 355, 330	4.66	2,648	8.5578	4.63	66,843	27	125	27
12:皮膚・皮下組織疾患	834,040	0.46	264	0.9509	5.67	49,061	3	17	3
13:筋骨格系・結合組織疾患	32,019,650	17.85	10,149	10.4596	8.79	110, 413	33	290	33
14:腎尿路生殖器系疾患	2,710,080	1.51	859	2.8526	3.56	84, 690	9	32	9
15:妊娠・分娩・産褥	7, 989, 530	4.45	2,532	8.5578	6.04	49,016	27	163	27
16:周産期発生病態	3, 562, 520	1.99	1,129	4.1204	6.38	42, 922	13	83	13
17: 先天奇形変形・染色体異常	16, 285, 720	9.08	5, 162	3. 4865	9.18	161, 245	11	101	11
18:他に分類されないもの	0	0.00	0	0.0000	0.00	0	0	0	0
19:損傷・中毒・外因影響	10, 316, 100	5.75	3, 270	5. 7052	7.50	76, 416	18	135	18

^{◎ 2021}年度の女性被扶養者の入院医療費総額は多い順に、循環器系疾患、新生物、筋骨格系・結合組織疾患であり、一人あたり医療費も同じであった。

[◎] 循環器系疾患、筋骨格系・結合組織疾患の医療費総額は直近3年間で本年度が最も多かった。

【3-6-03】疾病分類別 医療費三要素 被扶養者 女性 入院 3/3

【2020年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	4, 217, 050	3.33	1,297	2. 7684	6.56	71, 475	9	59	9
02:新 生 物	38, 413, 560	30.31	11,816	19.6863	6.59	91,027	64	422	64
03:血液・造血器・免疫障害	1,628,090	1.28	501	0.6152	5.50	148,008	2	11	2
04:内分泌・栄養・代謝疾患	1, 410, 310	1.11	434	2. 1532	4.43	45, 494	7	31	7
05:精神・行動障害	11, 052, 640	8.72	3,400	7.3823	24. 25	18, 991	24	582	24
06:神経系疾患	2,506,020	1.98	771	1.8456	5.83	71,601	6	35	6
07:眼・付属器疾患	3, 312, 850	2.61	1,019	1.5380	6.20	106,866	5	31	5
08:耳・乳様突起疾患	272,700	0.22	84	0.9228	2.00	45, 450	3	6	3
09:循環器系疾患	7, 808, 460	6.16	2,402	3.3836	6.36	111, 549	11	70	11
10:呼吸器系疾患	2,064,490	1.63	635	1.5380	6.00	68,816	5	30	5
11:消化器系疾患	11,681,520	9.22	3,593	9.5355	5. 23	72, 108	31	162	31
12:皮膚・皮下組織疾患	1,017,070	0.80	313	0.6152	8.00	63, 567	2	16	2
13:筋骨格系・結合組織疾患	9, 261, 930	7.31	2,849	5. 2292	10.88	50,064	17	185	17
14:腎尿路生殖器系疾患	3, 526, 250	2.78	1,085	4. 6140	5.00	47,017	15	75	15
15:妊娠・分娩・産褥	10, 759, 430	8.49	3,310	10.4583	6.41	49, 355	34	218	34
16:周産期発生病態	5, 175, 450	4.08	1,592	3.3836	6.73	69, 939	11	74	11
17: 先天奇形変形・染色体異常	621,420	0.49	191	0.3076	8.00	77, 678	1	8	1
18:他に分類されないもの	1, 275, 030	1.01	392	1.2304	4. 75	67, 107	4	19	4
19:損傷・中毒・外因影響	10,738,800	8.47	3,303	7.0747	8. 22	56,819	23	189	23

^{◎ 2020}年度の女性被扶養者入院医療費総額の多い順は、新生物、消化器系疾患、精神・行動障害であり、一人あたり医療費も同じであった。

【3-6-04】疾病分類別 医療費三要素 被扶養者 女性 入院外 1/3

【2022年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	5, 923, 050	2.40	1,880	209.7747	1.49	6,013	661	985	661
02:新 生 物	37, 698, 830	15.27	11,964	367.8197	1.35	24, 150	1, 159	1,561	1, 159
03:血液・造血器・免疫障害	2, 393, 580	0.97	760	24. 4367	1.44	21,564	77	111	77
04:内分泌・栄養・代謝疾患	24, 530, 540	9.94	7,785	589.0194	1.16	11, 346	1,856	2,162	1,856
05:精神・行動障害	8,081,770	3.27	2,565	295. 7791	1.33	6,544	932	1,235	932
06:神経系疾患	8,040,620	3.26	2,552	149.7937	1.21	14, 057	472	572	472
07:眼・付属器疾患	14, 479, 510	5.86	4,595	644.8746	1.12	6, 365	2,032	2, 275	2,032
08:耳・乳様突起疾患	3, 681, 440	1.49	1,168	112.3453	1.36	7,670	354	480	354
09:循環器系疾患	17, 418, 840	7.06	5,528	529.0384	1.11	9,380	1,667	1,857	1,667
10:呼吸器系疾患	25, 107, 190	10.17	7,968	772. 4532	1. 21	8,537	2,434	2,941	2,434
11:消化器系疾患	17, 350, 070	7.03	5,506	419.8667	1.28	10, 242	1,323	1,694	1,323
12:皮膚・皮下組織疾患	18,001,070	7.29	5,713	815. 2967	1.23	5, 716	2,569	3, 149	2,569
13:筋骨格系・結合組織疾患	25,540,990	10.35	8,106	567.1215	1.58	9,073	1, 787	2,815	1,787
14:腎尿路生殖器系疾患	20, 241, 380	8.20	6,424	441.1298	1.55	9, 388	1,390	2,156	1,390
15:妊娠・分娩・産褥	1, 221, 380	0.49	388	36.8137	1.59	6,602	116	185	116
16:周産期発生病態	99,010	0.04	31	6.6646	1.19	3,960	21	25	21
17:先天奇形変形・染色体異常	697, 960	0.28	222	26.3408	2. 25	3, 732	83	187	83
18:他に分類されないもの	7, 099, 790	2.88	2, 253	145.3507	1.26	12, 262	458	579	458
19:損傷・中毒・外因影響	9, 276, 380	3.76	2,944	205. 3316	1.96	7, 316	647	1, 268	647

[◎] 女性被扶養者の入院外医療費総額は年度によって変動はあるが、直近3年間は新生物(すべて1位)、筋骨格系・結合組織疾患、内分泌・栄養・代謝疾患が必ず上位5位内に入っていた。また、内分泌・栄養・代謝疾患、呼吸器系疾患の医療費総額は直近3年間で2022年度が最も多かった。

^{◎ 2022}年度の女性被扶養者医療費総額は多い順に、新生物、筋骨格系・結合組織疾患、呼吸器系疾患であり、一人あたり医療費も同じであった。

【3-6-04】疾病分類別 医療費三要素 被扶養者 女性 入院外 2/3

【2021年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	9, 470, 530	3.81	3,002	181.9334	1.56	10,558	574	897	574
02:新 生 物	42,668,330	17.14	13,524	320.1268	1.43	29,508	1,010	1,446	1,010
03:血液・造血器・免疫障害	2,777,610	1.12	880	27.5753	1.53	20,884	87	133	87
04:内分泌・栄養・代謝疾患	22, 658, 460	9.10	7, 182	554.9921	1.15	11, 212	1, 751	2,021	1,751
05:精神・行動障害	7,861,280	3.16	2,492	299.8415	1.39	5, 992	946	1,312	946
06:神経系疾患	9, 277, 530	3.73	2,941	142.6307	1.37	15,061	450	616	450
07:眼・付属器疾患	15, 621, 070	6.28	4,951	634.5483	1.11	7, 018	2,002	2, 226	2,002
08:耳・乳様突起疾患	3, 097, 530	1.24	982	101.1094	1.34	7, 237	319	428	319
09:循環器系疾患	20, 425, 520	8.21	6,474	541.9968	1.13	10,572	1,710	1,932	1,710
10:呼吸器系疾患	19,051,330	7.65	6,038	674.1680	1.21	7, 404	2, 127	2,573	2, 127
11:消化器系疾患	16,001,810	6.43	5,072	381.9334	1.31	10, 115	1,205	1,582	1,205
12:皮膚・皮下組織疾患	17, 640, 190	7.09	5,591	808.8748	1.26	5, 497	2,552	3, 209	2,552
13:筋骨格系・結合組織疾患	25, 998, 980	10.45	8, 241	543. 2647	1.63	9, 319	1,714	2,790	1,714
14:腎尿路生殖器系疾患	18, 284, 830	7.35	5,796	416.4818	1.63	8,520	1,314	2, 146	1,314
15:妊娠・分娩・産褥	889, 310	0.36	282	26.6244	1.70	6, 219	84	143	84
16:周産期発生病態	399, 960	0.16	127	9. 1918	1. 21	11, 427	29	35	29
17:先天奇形変形・染色体異常	673, 180	0.27	213	22.1870	1.91	5,024	70	134	70
18:他に分類されないもの	6, 465, 470	2.60	2,049	141.0460	1. 20	12, 108	445	534	445
19:損傷・中毒・外因影響	9, 630, 330	3.87	3,052	206. 9731	2. 25	6,542	653	1, 472	653

^{◎ 2021}年度の女性被扶養者の入院外医療費総額は多い順に、新生物、筋骨格系・結合組織疾患、内分泌・栄養・代謝疾患であり、一人あたり医療費も同じであった。

[◎] 新生物、筋骨格系・結合組織疾患の医療費総額は直近3年間で本年度が最も多かった。

【3-6-04】疾病分類別 医療費三要素 被扶養者 女性 入院外 3/3

【2020年度】	医療費総額	割合	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	件数	日 数	受診者数
疾病19分類	(円)	(%)	(円)	(件)	(日)	(円)	(件)	(日)	(人)
01:感染症・寄生虫症	11, 543, 130	5.40	3, 551	209.1664	1.53	11, 131	680	1,037	680
02:新 生 物	29, 900, 960	13.99	9,197	306.0597	1.46	20,536	995	1,456	995
03:血液・造血器・免疫障害	942,070	0.44	290	23.0698	1.31	9, 613	75	98	75
04:内分泌・栄養・代謝疾患	22, 761, 980	10.65	7,002	530.6060	1.16	11, 341	1,725	2,007	1,725
05:精神・行動障害	7, 224, 240	3.38	2,222	271.3011	1.38	5, 931	882	1,218	882
06:神経系疾患	6,090,040	2.85	1,873	138. 1114	1.41	9,606	449	634	449
07:眼・付属器疾患	13, 914, 390	6.51	4, 280	594. 8939	1.11	6, 457	1,934	2, 155	1,934
08:耳・乳様突起疾患	2, 127, 020	1.00	654	73. 5158	1.43	6, 219	239	342	239
09:循環器系疾患	15, 649, 360	7.32	4,814	478.6220	1.14	8,826	1,556	1,773	1,556
10:呼吸器系疾患	15, 086, 400	7.06	4,641	593.3559	1. 24	6,323	1,929	2,386	1,929
11:消化器系疾患	16, 132, 510	7.55	4,962	385. 1123	1.31	9,867	1, 252	1,635	1, 252
12:皮膚・皮下組織疾患	12,868,050	6.02	3,958	787. 1424	1. 23	4, 089	2,559	3, 147	2,559
13:筋骨格系・結合組織疾患	21, 969, 430	10.28	6,758	471.5472	1.74	8, 259	1,533	2,660	1,533
14:腎尿路生殖器系疾患	17, 297, 870	8.09	5,321	380. 1907	1.60	8,727	1,236	1,982	1,236
15:妊娠・分娩・産褥	1, 480, 870	0.69	456	35. 6813	2.06	6, 196	116	239	116
16:周産期発生病態	270,000	0.13	83	6.1520	1.10	12, 273	20	22	20
17:先天奇形変形・染色体異常	1, 016, 710	0.48	313	28.6066	2. 11	5, 187	93	196	93
18:他に分類されないもの	9, 302, 330	4.35	2,861	120. 2707	1.42	16, 761	391	555	391
19:損傷・中毒・外因影響	8, 175, 020	3.82	2,515	187. 9422	2.05	6,535	611	1, 251	611

^{◎ 2020}年度の女性被扶養者入院外医療費総額は多い順に、新生物、内分泌・栄養・代謝疾患、筋骨格系・結合組織疾患であり、一人あたり医療費も同じであった。

【3-7-01】生活習慣病 医療費三要素 被保険者 男性 1/3

【2022年度】	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費
生活習慣病名	(円)	(円)	(件)	(日)	(円)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)
高血圧症等	31, 467, 060	12, 273	1053. 4321	1.17	9, 945	108.55	109.62	101.65	100.00	107.39
脂質異常症	8, 412, 650	3, 281	343. 6037	1.13	8, 430	82.60	83.40	99.84	96.58	86.08
糖尿病	32, 009, 900	12, 484	459. 0484	1.42	19,088	80.53	81.31	97.66	89.31	92.77
高尿酸血症	991, 210	387	53. 4321	1.05	6,883	117.17	118.35	116. 25	95.45	106.58
虚血性心疾患	9, 247, 030	3,606	73. 7129	1.14	43,009	271.28	273.80	98.88	103.64	267. 49
脳血管疾患	8, 076, 220	3, 150	33. 5413	5. 29	17, 750	60.77	61.37	81.92	94.80	78.94
肝機能障害	591, 430	231	15. 6006	1.13	13, 143	63.11	63.81	100.97	91.87	68.73
腎疾患	37, 847, 030	14, 761	57. 7223	8.08	31,645	139.59	140.96	131.09	125.66	85.55

[◎] 男性被保険者の生活習慣病の医療費総額は年度による変動はあるが、直近3年間は糖尿病、腎疾患、高血圧症が必ず上位3位を占めた。

^{◎ 2022}年度の医療費総額は多い順に、腎疾患、糖尿病、高血圧症であった。

[◎] 高血圧症の医療費総額は直近3年間で最も多かった。

【3-7-01】生活習慣病 医療費三要素 被保険者 男性 2/3

【2021年度】	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費
生活習慣病名	(円)	(円)	(件)	(目)	(円)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)
高血圧症等	28, 987, 720	11, 196	1036. 3075	1.17	9, 261	114.03	115.96	108.11	101.74	105.36
脂質異常症	10, 184, 460	3, 934	344. 1483	1.17	9, 793	116.23	118. 21	110.64	101.74	104.84
糖尿病	39, 750, 880	15, 354	470.0657	1.59	20, 575	98.88	100.56	102.20	98.76	99.80
高尿酸血症	845, 980	327	45. 9637	1.10	6, 458	103.03	104.81	93.82	101.85	109.33
虚血性心疾患	3, 408, 700	1,317	74. 5462	1.10	16, 079	63.99	65.10	100.66	83.97	77.27
脳血管疾患	13, 288, 860	5, 133	40. 9424	5. 58	22, 485	79.75	81.12	104.66	96. 21	80.56
肝機能障害	937,070	362	15. 4500	1. 23	19, 124	272.75	278. 46	176.87	112.84	139.15
腎疾患	27, 113, 040	10, 472	44. 0324	6.43	36, 989	100.40	102.10	89.87	92.52	122.86

^{◎ 2021}年度の医療費総額の上位3位は、糖尿病、高血圧症、腎疾患であった。

【3-7-01】生活習慣病 医療費三要素 被保険者 男性 3/3

【2020年度】	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費
生活習慣病名	(円)	(円)	(件)	(日)	(円)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)
高血圧症等	25, 421, 670	9,655	958. 6024	1.15	8,790	_	_	_	_	_
脂質異常症	8, 762, 100	3, 328	311.0520	1.15	9, 341	_	_	_	_	_
糖尿病	40, 203, 070	15, 269	459. 9316	1.61	20,617	_	_	_	_	_
高尿酸血症	821,080	312	48. 9935	1.08	5,907	_	_	_	_	_
虚血性心疾患	5, 327, 120	2,023	74. 0600	1.31	20,809	_	_	_	_	_
脳血管疾患	16, 662, 200	6, 328	39. 1189	5.80	27, 910	_	_	_	_	_
肝機能障害	343, 570	130	8. 7353	1.09	13, 743	_	_	_	_	_
腎疾患	27, 005, 490	10, 257	48. 9935	6.95	30, 106	_	_	_	_	_

^{◎ 2020}年度の医療費総額の上位3位は、糖尿病、腎疾患、高血圧症であった。

[◎] 糖尿病の医療費総額は直近3年間で本年度が最も多かった。

【3-7-02】生活習慣病 医療費三要素 被保険者 女性 1/3

【2022年度】	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費
生活習慣病名	(円)	(円)	(件)	(日)	(円)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)
高血圧症等	9, 183, 800	1,832	222. 5768	1.16	7, 103	117.38	116.10	113.67	104.50	98.05
脂質異常症	6,600,840	1, 316	130. 8337	1.17	8,595	144. 26	142.58	121.50	105.41	111.77
糖尿病	5, 283, 370	1,054	67. 0124	1.19	13, 242	97.17	96.17	94.14	96.75	105.46
高尿酸血症	73,010	15	1. 9944	1.00	7, 301	199.54	214. 29	197.80	100.00	99.77
虚血性心疾患	780,030	156	9. 1743	1.15	14, 718	73.44	72.90	103.40	87.12	80.37
脳血管疾患	5, 642, 770	1, 125	8. 3765	3.83	35, 048	105.19	103.97	166.16	131.16	47.69
肝機能障害	240, 230	48	2. 3933	1.33	15, 014	75.67	75.00	49.45	100.00	151.34
腎疾患	63, 130	13	1. 3961	1.14	7, 891	186.83	185. 71	692.17	114.00	23. 35

- ◎ 女性被保険者の生活習慣病の医療費総額は年度による変動はあるが、直近3年間は高血圧症がすべて1位であった。
- ◎ その他では年度によって異なるが、脂質異常症、糖尿病、脳血管疾患も医療費総額の上位を占めた。
- ◎ 2022年度の医療費総額は多い順に、高血圧症、脂質異常症、脳血管疾患であり、脳血管疾患は2021年から3位を占めており、高血圧、 糖尿病等の基礎疾患管理に注意を要する。
- ◎ 高血圧症、脂質異常症、脳血管疾患の医療費総額は直近3年間で最も多かった。

【3-7-02】生活習慣病 医療費三要素 被保険者 女性 2/3

【2021年度】	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費
生活習慣病名	(円)	(円)	(件)	(日)	(円)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)
高血圧症等	7, 823, 750	1,578	195. 8056	1.11	7, 244	111.03	109.51	111. 23	97.37	100.75
脂質異常症	4, 575, 710	923	107. 6830	1.11	7,690	117.56	115.95	115.75	102.78	97. 21
糖尿病	5, 437, 310	1,096	71. 1837	1.23	12, 557	144. 51	142.52	132.89	105.13	102.12
高尿酸血症	36,590	7	1.0083	1.00	7, 318	-			l	1
虚血性心疾患	1, 062, 090	214	8. 8728	1.32	18, 312	215.07	211.88	135.62	121.10	129.79
脳血管疾患	5, 364, 310	1,082	5. 0413	2.92	73, 484	555.53	549. 24	117. 41	180. 25	258.74
肝機能障害	317, 470	64	4. 8397	1.33	9, 921	116.67	114. 29	94. 68	123. 15	98.44
腎疾患	33, 790	7	0. 2017	1.00	33, 790	20. 25	20.59	9.87	62.50	323.94

^{◎ 2021}年度の医療費総額の上位3位は高血圧症、糖尿病、脳血管疾患であった

【3-7-02】生活習慣病 医療費三要素 被保険者 女性 3/3

【2020年度】	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費
生活習慣病名	(円)	(円)	(件)	(日)	(円)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)
高血圧症等	7, 046, 490	1, 441	176. 0376	1.14	7, 190	-	_	ı	_	_
脂質異常症	3, 892, 330	796	93. 0280	1.08	7, 911	-		-	_	_
糖尿病	3, 762, 570	769	53. 5678	1.17	12, 296	_		-	_	_
高尿酸血症	0	0	0.0000	0.00	0	_			_	_
虚血性心疾患	493,830	101	6. 5426	1.09	14, 109	_			_	_
脳血管疾患	965,620	197	4. 2936	1.62	28, 401	_	_	_	_	_
肝機能障害	272, 100	56	5. 1114	1.08	10, 078	_	_	_	_	_
腎疾患	166,900	34	2. 0446	1.60	10, 431	_	_	_	_	_

◎ 2020年度の医療費総額の上位3位は高血圧症、脂質異常症、糖尿病であった。

【3-8-01】生活習慣病 医療費三要素 被扶養者 男性 1/3

【2022年度】	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費
生活習慣病名	(円)	(円)	(件)	(日)	(円)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)
高血圧症等	1,011,670	728	70. 5544	1.12	9, 197	85.59	86.46	105.38	79.43	103.49
脂質異常症	594, 900	428	46.0763	1.22	7,627	89.99	90.87	104.34	79.74	109.61
糖尿病	1, 261, 790	908	43. 9165	1.11	18,556	154.99	156.55	108.17	93. 28	154.99
高尿酸血症	41, 410	30	5. 0396	1.14	5, 176	94.74	96.77	78.62	93.44	130. 25
虚血性心疾患	114, 890	83	11. 5191	1.06	6,758	21.90	22. 19	115. 52	74.13	25. 76
脳血管疾患	25, 280	18	0. 7199	1.00	25, 280	90.77	90.00	101.07	100.00	90.77
肝機能障害	76, 120	55	5. 7595	1.00	9, 515	100.90	101.85	101.08	100.00	100.90
腎疾患	3, 478, 480	2,504	7. 9194	10.73	29, 479	_	_	_	_	

- ◎ 25歳未満が中心の男性被扶養者の入院・入院外を合わせた生活習慣病の直近3年間の医療費総額は、どの年度も高血圧症等、糖尿病、脂質 異常症、が上位5位以内に入っていた。
- ◎ 2022年度の医療費総額の上位3位は、腎疾患、糖尿病、高血圧症の順であった。
- ◎ 2022年度は腎疾患医療費が最も高額で現れ、何らかの高額医療費が発生したと推察される。

【3-8-01】生活習慣病 医療費三要素 被扶養者 男性 2/3

【2021年度】	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費
生活習慣病名	(円)	(円)	(件)	(日)	(円)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)
高血圧症等	1, 181, 950	842	66. 9516	1.41	8,887	47.84	49.38	112.81	82.46	52.87
脂質異常症	661,050	471	44. 1595	1.53	6, 958	94.46	97. 52	112.26	85.47	101.41
糖尿病	814, 090	580	40. 5983	1.19	11,972	136.43	140. 78	117. 65	94.44	126.39
高尿酸血症	43,710	31	6. 4103	1. 22	3, 974	1	_	_	I	-
虚血性心疾患	524, 700	374	9. 9715	1.43	26, 235	241.14	249.33	76.05	100.70	325. 54
脳血管疾患	27,850	20	0.7123	1.00	27, 850	ı		_	ı	_
肝機能障害	75, 440	54	5. 6980	1.00	9, 430	32.22	33.33	39.32	75.19	112.76
腎疾患	0	0	0.0000	0.00	0	l	_	-	ı	_

^{◎ 2021}年度の医療費総額は、高血圧症等、糖尿病、脂質異常症が上位3位を占めた。

【3-8-01】生活習慣病 医療費三要素 被扶養者 男性 3/3

【2020年度】	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費
生活習慣病名	(円)	(円)	(件)	(日)	(円)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)
高血圧症等	2, 470, 780	1,705	59. 3513	1.71	16,808	-	_	_	_	_
脂質異常症	699,850	483	39. 3375	1. 79	6, 861	-			-	_
糖尿病	596, 730	412	34. 5066	1. 26	9, 472	_	_	_	_	_
高尿酸血症	0	0	0.0000	0.00	0	_			1	_
虚血性心疾患	217, 590	150	13. 1125	1.42	8, 059	-			ı	_
脳血管疾患	0	0	0.0000	0.00	0	-			ı	_
肝機能障害	234, 150	162	14. 4928	1.33	8, 363	-			I	_
腎疾患	0	0	0.0000	0.00	0	-			I	_

^{◎ 2020}年度の医療費総額は、高血圧症等、脂質異常症、糖尿病が上位3位を占めた。

【3-8-02】生活習慣病 医療費三要素 被扶養者 女性 1/3

【2022年度】	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費
生活習慣病名	(円)	(円)	(件)	(日)	(円)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)
高血圧症等	10, 179, 280	3, 230	401. 4599	1.11	7, 255	92.27	92.36	96.91	100.91	94.96
脂質異常症	10, 523, 140	3, 340	337. 9879	1.12	8,836	117.08	117. 23	110.05	98. 25	108.54
糖尿病	5, 355, 750	1,700	95. 5252	1.09	16,378	86.97	87.09	94.77	93.16	98.94
高尿酸血症	50,960	16	1. 9042	2.67	3, 185	1		I	_	
虚血性心疾患	703, 190	223	13. 9638	1.23	13, 022	71.74	71.70	89.91	99.19	81.03
脳血管疾患	5, 409, 510	1,717	16. 1853	2.86	37, 051	371.41	371.65	92.85	248.70	160. 26
肝機能障害	319, 140	101	5. 3951	1.12	16, 797	96.81	97.12	100.13	86.82	112.09
腎疾患	4, 395, 660	1,395	9. 8381	5.81	24, 420	99.47	99. 57	114.96	91.21	95.05

- ◎ 女性被扶養者は25歳未満と55~64歳が多い二層構造で、入院・入院外を合わせた生活習慣病の医療費総額は、直近3年間では高血圧 症等、脂質異常症、糖尿病が毎年度上位5位以内に入っていた。
- ◎ 2022年度の医療費総額の上位3位は脂質異常症、高血圧症、脳血管疾患であった。
- ◎ 2022年度の脂質異常症、脳血管疾患の医療費総額は直近3年間で最多であり、増加傾向がみられた。

【3-8-02】生活習慣病 医療費三要素 被扶養者 女性 2/3

【2021年度】	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費
生活習慣病名	(円)	(円)	(件)	(日)	(円)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)
高血圧症等	11, 032, 480	3, 497	414. 2631	1.10	7, 640	115.57	119.11	112.61	97.35	108.05
脂質異常症	8, 987, 970	2,849	307. 1315	1.14	8, 141	105.43	108.66	111.31	98. 28	99.32
糖尿病	6, 157, 930	1, 952	100. 7924	1.17	16, 554	115.56	119.10	98.11	103.54	116.81
高尿酸血症	0	0	0.0000	0.00	0	_	_	_	1	1
虚血性心疾患	980, 260	311	15. 5309	1.24	16,070	146.89	151.71	123. 15	105.98	115. 59
脳血管疾患	1, 456, 480	462	17. 4326	1.15	23, 119	201.87	208. 11	131.80	117.35	134. 58
肝機能障害	329,670	104	5. 3883	1. 29	14, 985	217. 45	221. 28	175.17	107.50	118.61
腎疾患	4, 419, 090	1, 401	8. 5578	6.37	25, 692	100.86	103.93	115.92	89.34	100. 27

^{◎ 2021}年度の医療費総額は、高血圧症等、脂質異常症、糖尿病が上位3位を占めた。

【3-8-02】生活習慣病 医療費三要素 被扶養者 女性 3/3

【2020年度】	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費	医療費総額	一人あたり医療費	千人あたり件数	一件あたり日数	一日あたり医療費
生活習慣病名	(円)	(円)	(件)	(日)	(円)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)	(前年比%)
高血圧症等	9, 546, 100	2, 936	367. 8868	1.13	7, 071	-	_	ı	_	_
脂質異常症	8, 525, 160	2, 622	275. 9151	1.16	8, 197	_		-	_	_
糖尿病	5, 328, 720	1,639	102. 7376	1.13	14, 172	_	_	-	_	_
高尿酸血症	0	0	0.0000	0.00	0	_	_	-	_	_
虚血性心疾患	667, 360	205	12. 6115	1.17	13, 903	-	_	I	_	_
脳血管疾患	721, 480	222	13. 2267	0.98	17, 178	-		I	_	_
肝機能障害	151,610	47	3. 0760	1.20	12, 634	_	_	_	_	_
腎疾患	4, 381, 530	1, 348	7. 3823	7.13	25, 623	_	_	_	_	_

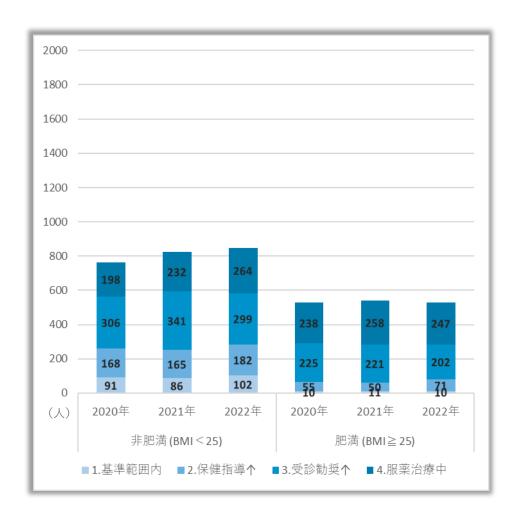
◎ 2020年度の医療費総額は、高血圧症等、脂質異常症、糖尿病が上位3位を占めた。

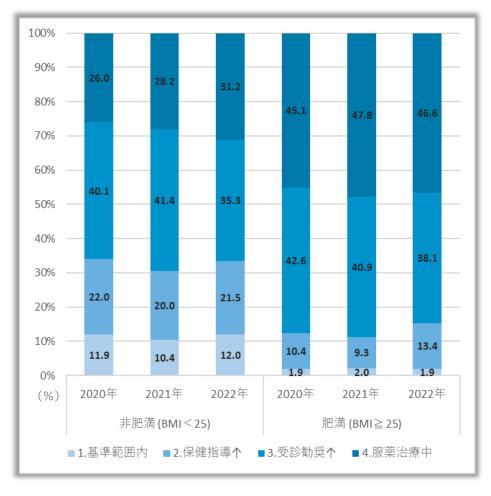
3 医療費

4健康分布

5 後発医薬品

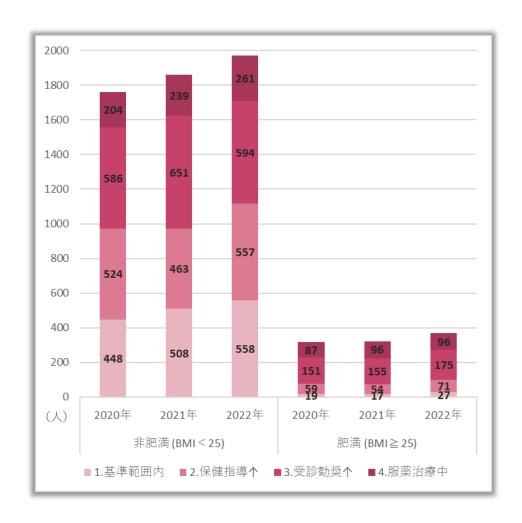
【4-1-01】健康分布 肥満 全年齢 男性 (①人数/②割合)





- ◎ 全年齢(40歳以上がほとんど)男性の肥満該当者の割合は直近3年間の各年度で全体の38~40%であった。
- ◎ 各年度非肥満では基準範囲内が10~12%存在したが、肥満ではこれが1.9~2.0%に減少し、受診勧奨と服薬治療中割合は66~69%から84~87%へ増加した。
- ◎ 非肥満の服薬治療中割合は経年度的に増加傾向であった。受診勧奨割合は非肥満、肥満共にやや減少傾向であった。

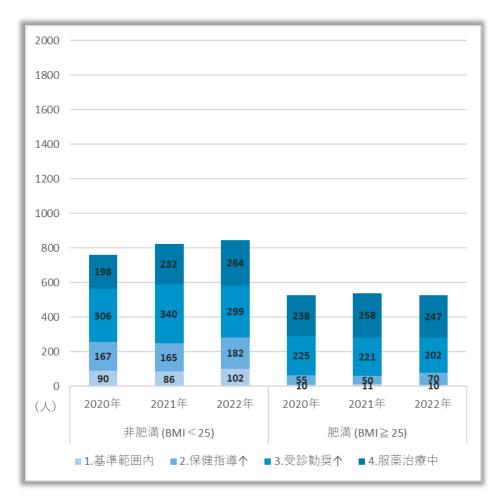
【4-1-02】健康分布 肥満 全年齢 女性(①人数/②割合)

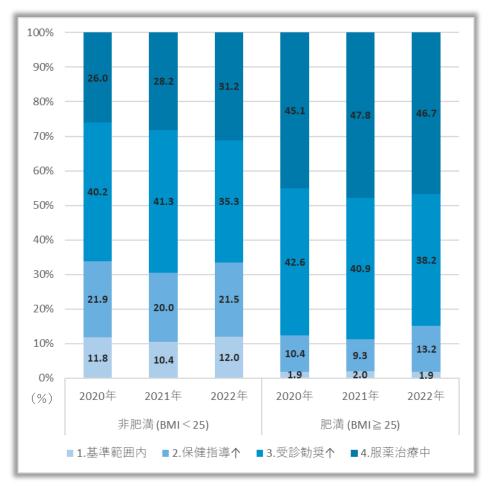




- ◎ 全年齢(40歳以上がほとんど)女性の肥満該当者の割合は各年度14~15%であり、男性の半分以下の割合であった。
- ◎ 非肥満では基準範囲内が25~28%存在したが、肥満ではこの割合が低下し5~7%で、経年度的にやや増加傾向であった。
- ◎ 非肥満では受診勧奨と服薬治療中を合わせた割合は43~47%で、肥満ではこの割合は73~75%であった。

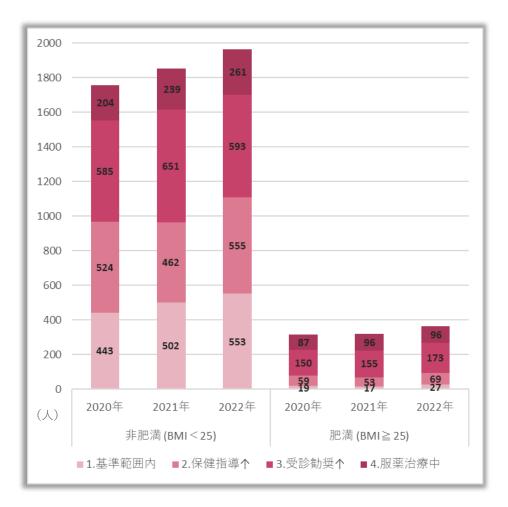
【4-1-03】健康分布 肥満 40歳以上 男性(①人数/②割合)

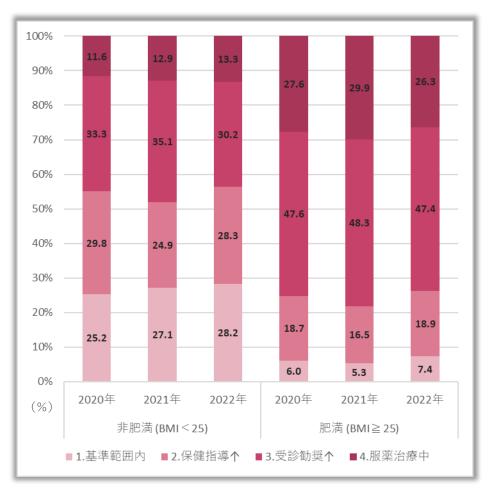




- ◎ 健診データはほとんどが40歳以上で、40歳未満の対象が少ないため、「4-1-01」とほぼ同様の結果となった。
- ◎ 40歳以上 男性の肥満該当者の割合は直近3年間の各年度で全体の38~40%であった。
- ◎ 各年度非肥満では基準範囲内が10~12%存在したが、肥満ではこれが1.9~2.0%に減少し、受診勧奨と服薬治療中割合は66~69%から84~87%へ増加した。
- ◎ 非肥満の服薬治療中割合は経年度的に増加傾向であった。受診勧奨割合は非肥満、肥満共にやや減少傾向であった。

【4-1-04】健康分布 肥満 40歳以上 女性(①人数/②割合)





- ◎ 健診データはほとんどが40歳以上で、40歳未満の対象が少ないため、「4-1-02」とほぼ同様の結果となった。
- ◎ 40歳以上 女性の肥満該当者の割合は各年度14~15%であり、男性の半分以下の割合であった。
- ◎ 非肥満では基準範囲内が25~28%存在したが、肥満ではこの割合が低下し5~7%で、経年度的にやや増加傾向であった。
- ◎ 非肥満では受診勧奨と服薬治療中を合わせた割合は43~47%で、肥満ではこの割合は73~75%であった。

【4-2-01】健康分布 問診票 食習慣 1/1

			[2020	年度】					【2021	年度】			【2022年度】						
人と比較した食べる速度	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)		女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)		女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)		女性(人)	女性(%)	
①速い	1005	31.4	492	40.3	513	25.9	1063	31.0	536	40.6	527	25.0	1088	30.6	522	39.4	566	25.3	
②ふつう	1992	62.3	677	55.5	1315	66.5	2158	63.0	731	55.4	1427	67.8	2221	62.4	746	56.3	1475	66.0	
③遅い	201	6.3	51	4.2	150	7.6	204	6.0	53	4.0	151	7.2	251	7.1	58	4.4	193	8.6	
就寝間近の夕食が週3回以上	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	
①はい	813	25.5	359	29.5	454	23.1	865	25.4	388	29.5	477	22.8	949	26.7	407	30.7	542	24.3	
②いいえ	2372	74.5	860	70.5	1512	76.9	2546	74.6	928	70.5	1618	77.2	2608	73.3	918	69.3	1690	75.7	
間食や甘い飲み物の摂取	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	
①毎日	650	21.2	128	11.0	522	27.5	664	20.3	129	10.2	535	26.5	757	22.0	168	13.2	589	27. 2	
②時々	1640	53.6	585	50.3	1055	55.6	1829	55.8	671	53.2	1158	57.4	1861	54.2	633	49.8	1228	56.8	
③ほとんどない	769	25.1	450	38.7	319	16.8	786	24.0	462	36.6	324	16.1	816	23.8	470	37.0	346	16.0	
朝食を抜くのが週に3回以上	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	
①はい	628	19.7	272	22.4	356	18.0	716	21.0	303	23.0	413	19.6	765	21.6	319	24.2	446	20.0	
②いいえ	2566	80.3	944	77.6	1622	82.0	2701	79.0	1012	77.0	1689	80.4	2782	78.4	1000	75.8	1782	80.0	
お酒を飲む頻度	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	
①毎日	739	23.1	388	31.7	351	17.7	763	22.3	402	30.5	361	17.2	818	23.0	415	31.3	403	18.0	
②時々	1157	36.1	484	39.5	673	34.0	1227	35.8	521	39.5	706	33.6	1239	34.8	500	37.7	739	33.0	
③ほとんど飲まない	1309	40.8	352	28.8	957	48.3	1434	41.9	397	30.1	1037	49.3	1505	42.3	410	30.9	1095	48.9	
飲酒日の1日あたり飲酒量	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	
①1合未満	1279	53.4	422	41.5	857	62.2	1515	58.2	511	46.2	1004	67.2	1448	55.7	444	41.7	1004	65.4	
②1~2合未満	756	31.6	359	35.3	397	28.8	714	27.5	359	32.5	355	23.7	764	29.4	369	34.6	395	25.7	
③2~3合未満	276	11.5	173	17.0	103	7.5	290	11.1	175	15.8	115	7.7	292	11.2	177	16.6	115	7.5	
④3合以上	85	3.5	64	6.3	21	1.5	82	3.2	61	5.5	21	1.4	97	3.7	76	7. 1	21	1.4	

^{◎ 3}年間の男女の食習慣傾向として男性は「食べる速度が速い」人が4割、「就寝間近の夕食を週3日以上」の人が3割弱、「朝食を抜くのが週に3回以上」の人が2割強で女性より多く(各々2.5割、2割強、2割弱)、女性は「間食や甘い飲み物の摂取を毎日」の人が約3割弱存在し男性の1割強より多かった。

[◎] 男女とも「朝食を抜くのが週に3回以上」の人の割合が経年度的に増加傾向であった(男22.4⇒24.2%、女18.0⇒20.0%)。

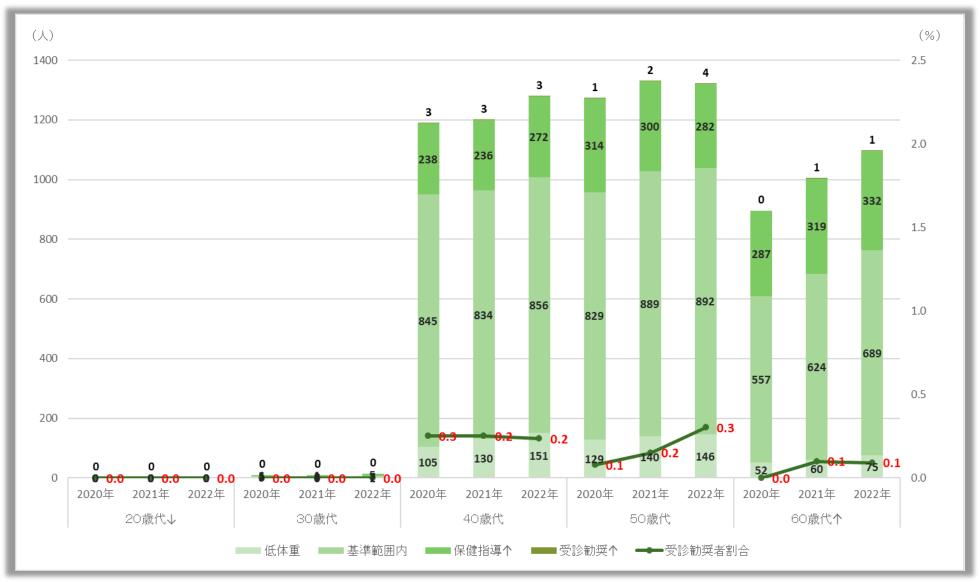
[◎] 飲酒に関しては、「お酒を飲む頻度毎日」は男性3割強女性2割弱、「1日あたりの量が1合以上」の割合は男性6割弱、女性3割強であった。

【4-2-02】健康分布 問診票 その他の生活習慣 1/1

			[2020	年度】					【2021	年度】					[2022	年度】		
睡眠で休養が十分とれている	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)
①はい	2172	68.6	911	75.3	1261	64.5	2358	69.6	965	73.7	1393	67.1	2433	69.3	985	75.6	1448	65.6
②いいえ	994	31.4	299	24.7	695	35.5	1029	30.4	345	26.3	684	32.9	1079	30.7	318	24.4	761	34.4
20歳時から体重10kg以上増加	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)
①はい	1017	31.8	558	45.7	459	23.2	1086	31.7	581	44.0	505	24.0	1137	32.0	588	44.4	549	24.6
②いいえ	2185	68.2	663	54.3	1522	76.8	2339	68.3	739	56.0	1600	76.0	2421	68.0	736	55.6	1685	75.4
咀嚼の状態	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)
①何でも噛める	2870	93.8	1082	93.0	1788	94.3	3081	94.1	1185	93.9	1896	94.2	3166	92.8	1164	92.3	2002	93.2
②噛みにくい	172	5.6	77	6.6	95	5.0	176	5.4	72	5.7	104	5.2	217	6.4	89	7.1	128	6.0
③ほとんど噛めない	18	0.6	5	0.4	13	0.7	18	0.5	5	0.4	13	0.6	27	0.8	8	0.6	19	0.9
30分↑の運動を週2↑、1年間	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)
①はい	791	24.7	392	32.1	399	20.1	863	25. 2	420	31.8	443	21.0	954	26.8	460	34.7	494	22.1
②いいえ	2414	75.3	831	67.9	1583	79.9	2563	74.8	901	68.2	1662	79.0	2603	73.2	864	65.3	1739	77.9
歩行等を1日1時間以上実施	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)
①はい	1168	36.5	372	30.4	796	40.2	1281	37.5	418	31.7	863	41.1	1427	40.1	431	32.6	996	44.6
②いいえ	2033	63.5	850	69.6	1183	59.8	2139	62.5	901	68.3	1238	58.9	2132	59.9	893	67.4	1239	55.4
保健指導を利用したいか	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)	男女計(人)	男女計(%)	男性(人)	男性(%)	女性(人)	女性(%)
①はい	841	26.6	353	29.2	488	24.9	885	26.1	344	26.3	541	26.0	860	24.3	339	25.8	521	23.5
②いいえ	2323	73.4	855	70.8	1468	75.1	2506	73.9	966	73.7	1540	74.0	2675	75.7	975	74.2	1700	76.5

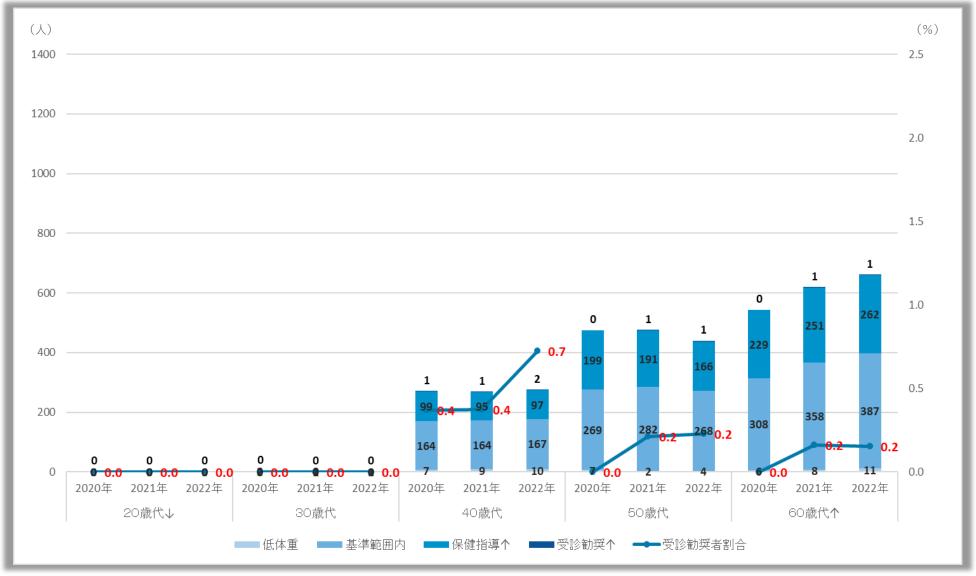
- ◎「20歳時から10kg以上増加」は男性45%前後、女性25%弱で男性の割合が多かった。
- ◎「30分以上の運動」習慣がある人は女性より男性が多かった。男女とも経年度的にわずかに増加傾向であった。(男性32.1%⇒34.7%、女性20.1%⇒22.1%)
- ◎ 「歩行等を1日1時間以上実施」の習慣は男性3割強、女性4割強で、どちらも経年的に増加傾向がみられた
- ◎「保健指導利用」は男女とも希望が減少しており(男女計26.6%⇒24.3%)、指導内容や時間、時期等の見直しが必要な可能性もある。

【4-3-01】健康分布 検査·計測 BMI ①男女計



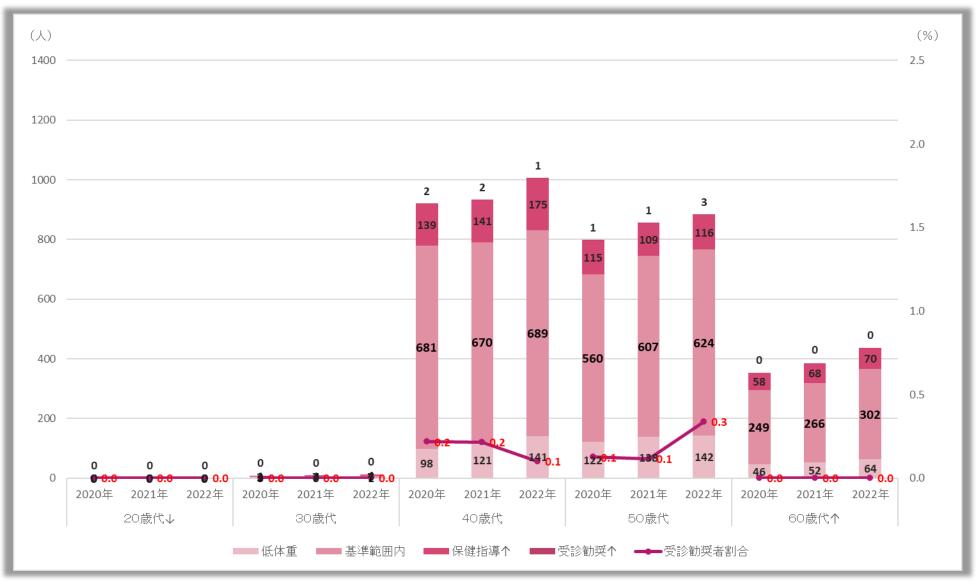
- ◎ BMI 40以上が受診勧奨対象であるが、40歳以上の集計の中では男女計で各年度最大で4名が対象であった。
- ◎ 保健指導対象者(BMI 25以上)割合は、多い順に60歳代以上(30~32%)、50歳代(22~24%)、40歳代(19~21%)であった。
- ◎ 低体重対象者(BMI 18.5未満)割合は、男女計で40歳代、50歳代が10%強で、60歳代以上でも6%みられた(2022年度)。

【4-3-01】健康分布 検査·計測 BMI ②男性



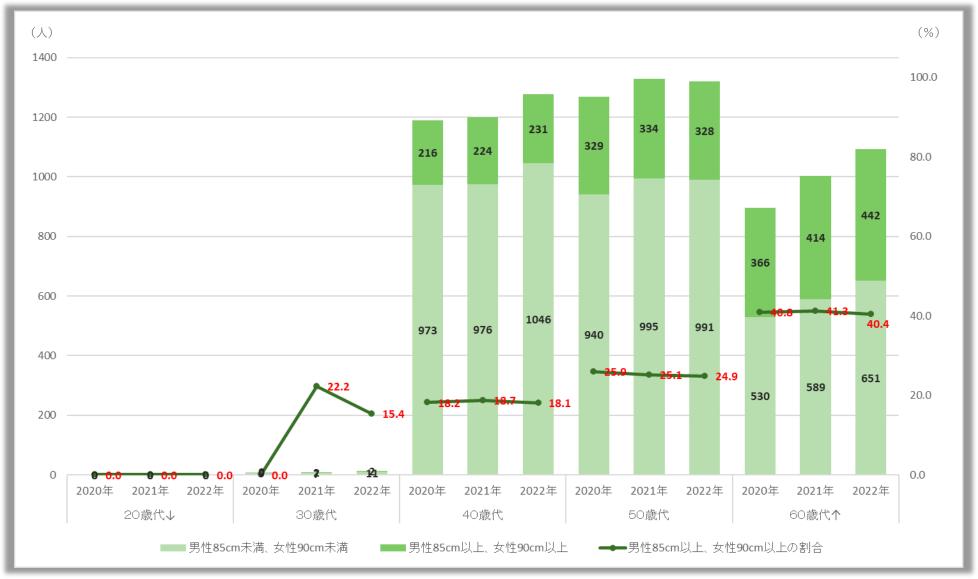
- ◎ BMI高値は男性に多い特徴があり、男性の受診勧奨対象者は各年代1~2名であった。
- ◎ 保健指導対象者は多い順に60歳代以上(39~42%)、50歳代(38~41%)、40歳代(35~36%)であった。

【4-3-01】健康分布 検査·計測 BMI ③女性



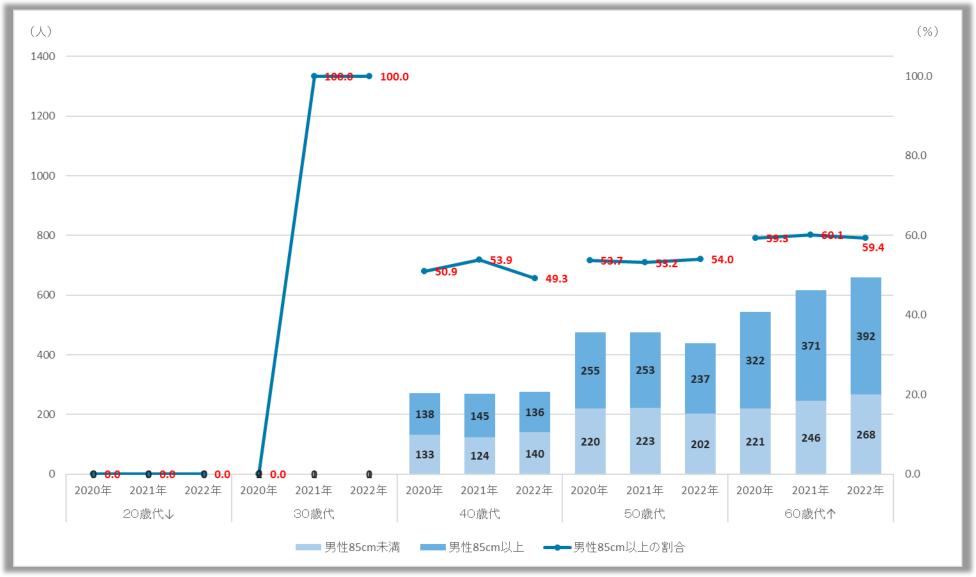
- ◎ 女性の受診勧奨者は40歳代、50歳代に各年度1~3名が対象になっていた。
- ◎ 保健指導対象者割合は40歳代で15~17%、50歳代で11~13%、60歳代以上で16~17%と男性の約半数以下の割合であった。
- ◎ 女性の低体重者割合は40歳代で10~14%、50歳代では12~16%存在し、60歳代以上で13~14%であった。

【4-3-02】健康分布 検査·計測 腹囲 ①男女計



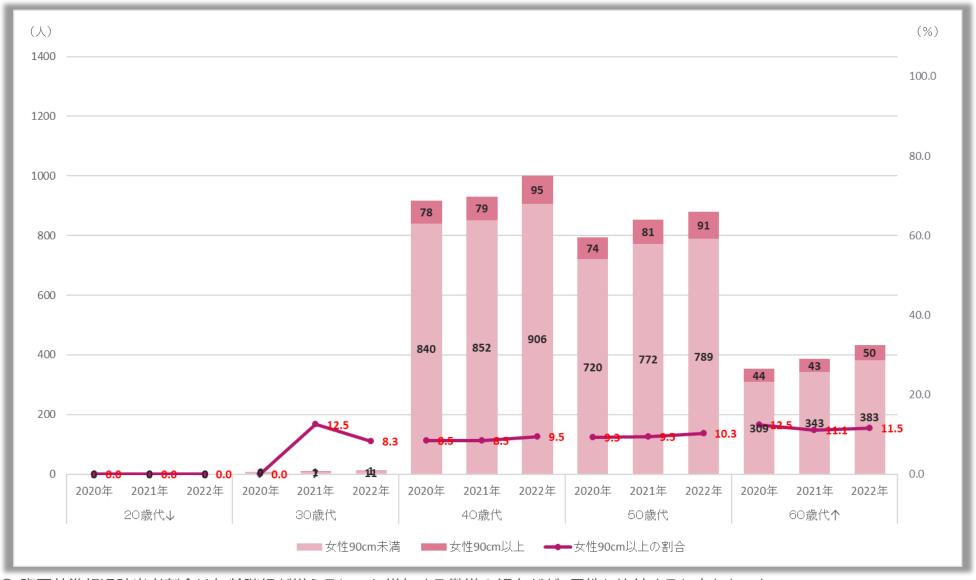
- ◎ 腹囲基準を超過する該当者割合は男女計でBMI 25以上(4-3-01)よりも明確に年齢階級が増すごとに増加する傾向がみられた。
- ◎ 腹囲基準を超過する割合は40歳代以上では経年度的な変化はなかった。

【4-3-02】健康分布 検査·計測 腹囲 ②男性



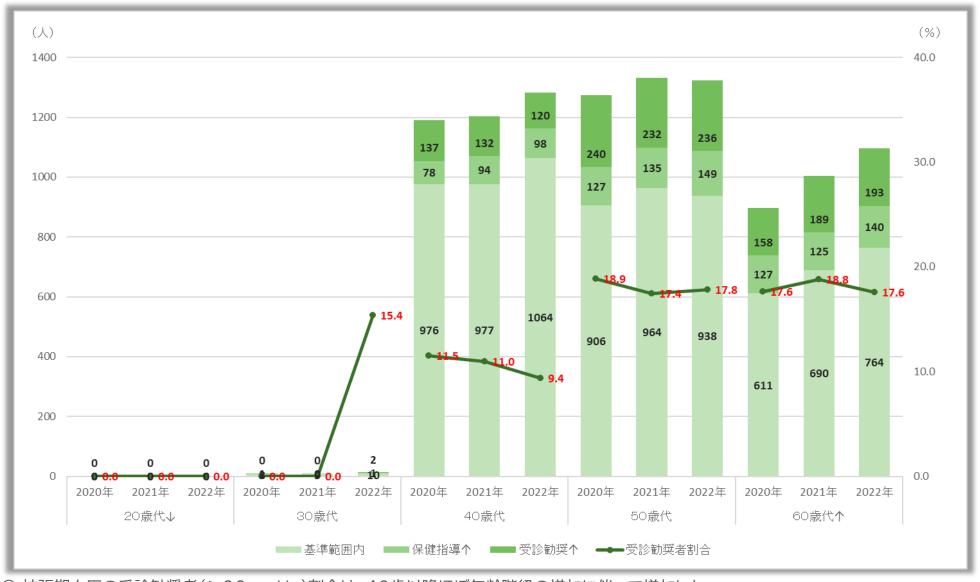
◎ 腹囲基準超過該当者割合は男性で5割強と多く、年齢階級が増えるにつれて微増傾向で、60歳代以上では6割が該当者であった。

【4-3-02】健康分布 検査·計測 腹囲 ③女性



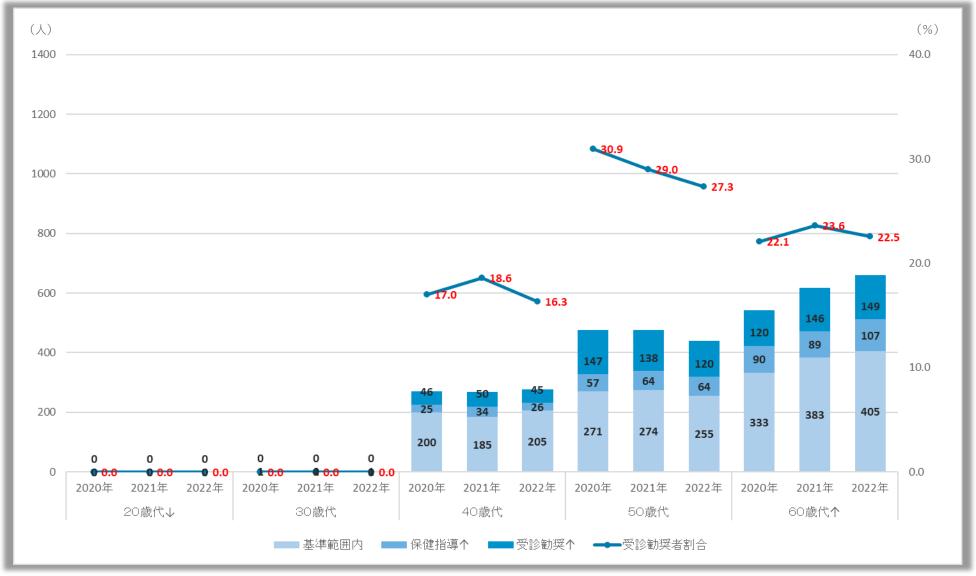
◎ 腹囲基準超過該当者割合は年齢階級が増えるにつれ増加する微増の傾向だが、男性と比較すると少なかった。

【4-3-03】健康分布 検査·計測 拡張期血圧 ①男女計



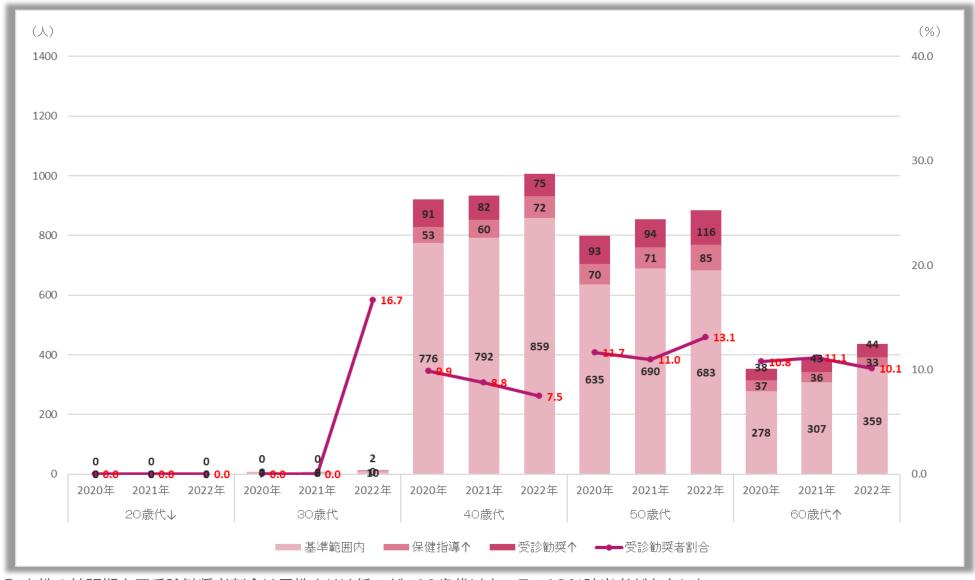
◎ 拡張期血圧の受診勧奨者(≥90mmHg)割合は、40歳以降ほぼ年齢階級の増加に伴って増加した。

【4-3-03】健康分布 検査·計測 拡張期血圧 ②男性



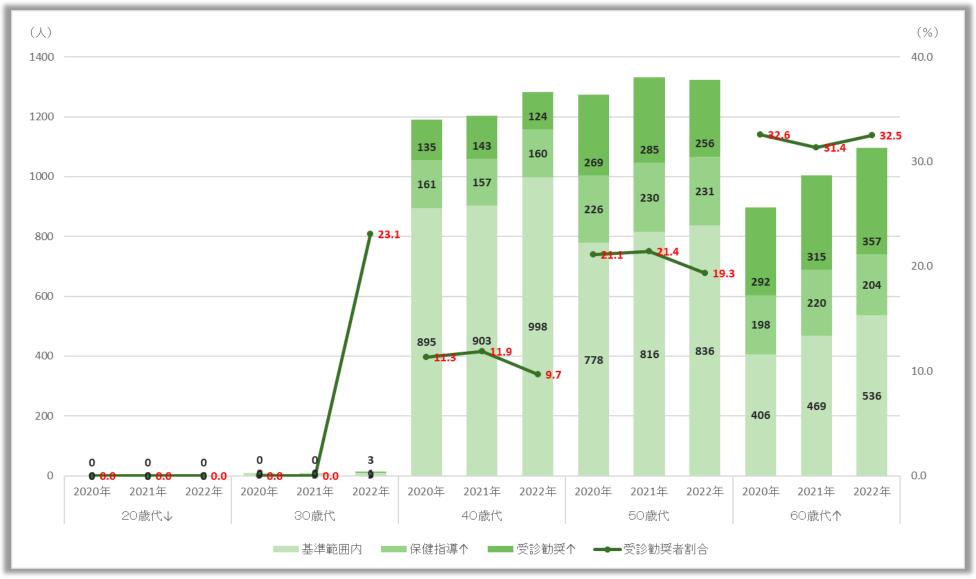
◎ 拡張期血圧の受診勧奨者割合は男性において多く、40歳代から50歳代にかけて倍近く増加したため血圧管理に注意を要する。60歳代以上では22~23%を示した。

【4-3-03】健康分布 検査·計測 拡張期血圧 ③女性



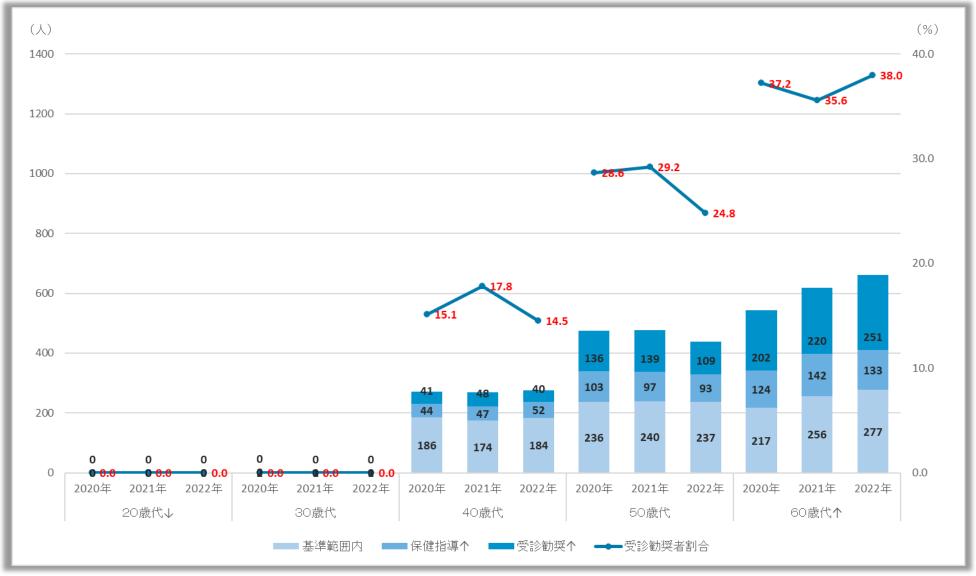
◎ 女性の拡張期血圧受診勧奨者割合は男性よりは低いが、40歳代以上で7~13%該当者が存在した。

【4-3-04】健康分布 検査·計測 収縮期血圧 ①男女計



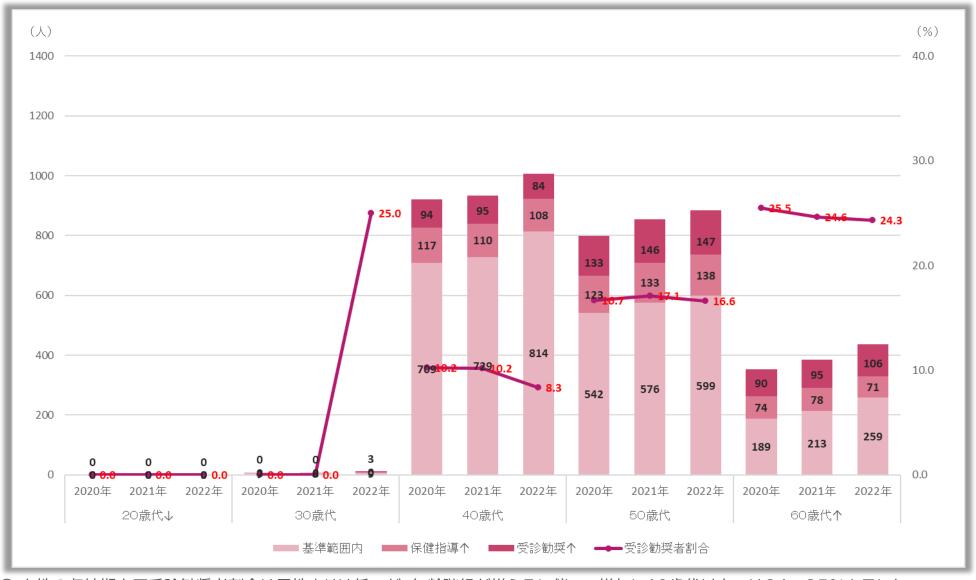
◎ 収縮期血圧の受診勧奨者(≥140mmHg)割合は年齢階級の増加に伴って明確に増加し、50歳代で19~21%、60歳代以上で31~32%を示した。

【4-3-04】健康分布 検査·計測 収縮期血圧 ②男性



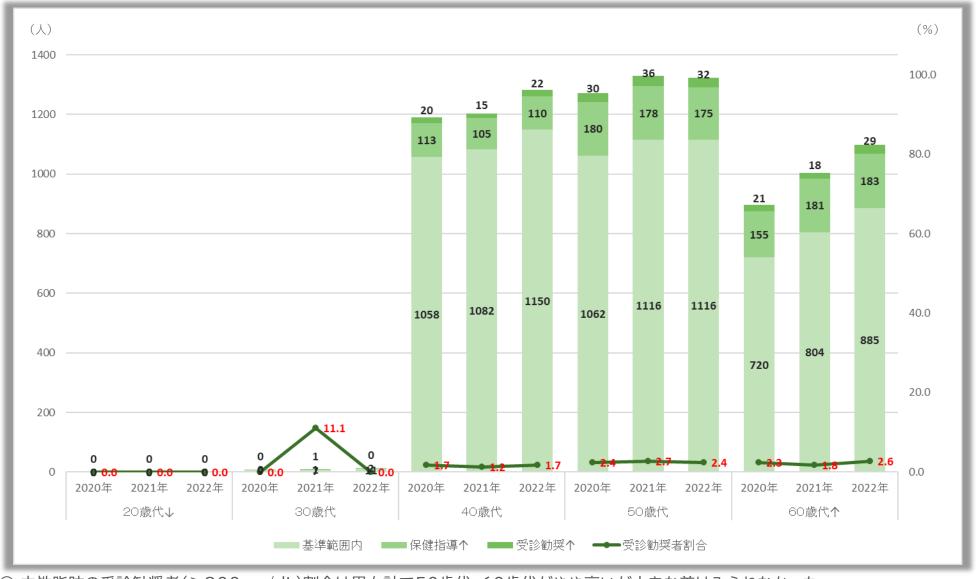
◎ 収縮期血圧の受診勧奨者割合は女性より男性で高く、加齢に伴って増加し50歳代で24~29%、60歳代以上で35~38%であった。

【4-3-04】健康分布 検査·計測 収縮期血圧 ③女性



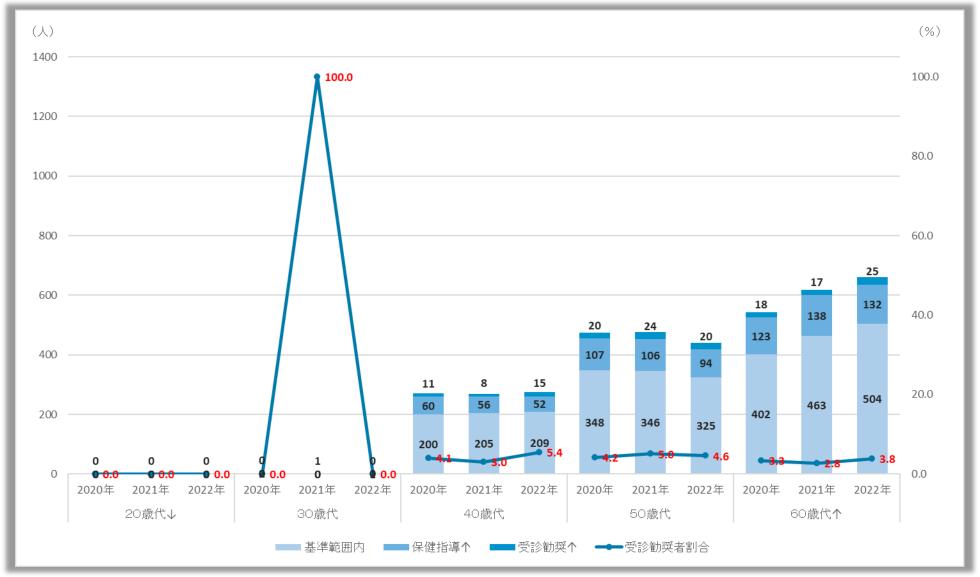
◎ 女性の収縮期血圧受診勧奨者割合は男性よりは低いが、年齢階級が増えるに伴って増加し60歳代以上では24~25%を示した。

【4-3-05】健康分布 検査·計測 中性脂肪 ①男女計



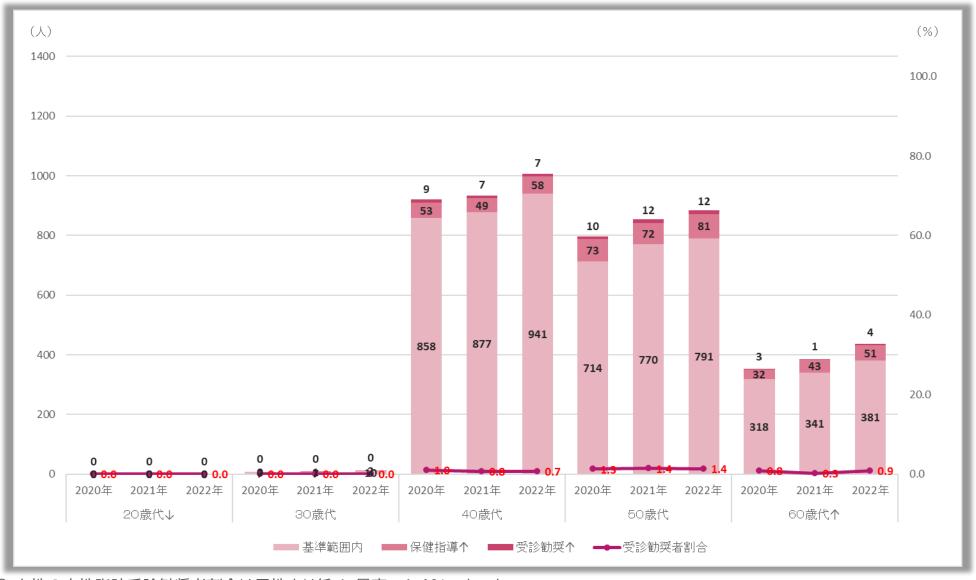
◎ 中性脂肪の受診勧奨者(≥300mg/dL)割合は男女計で50歳代、60歳代がやや高いが大きな差はみられなかった。

【4-3-05】健康分布 検査·計測 中性脂肪 ②男性



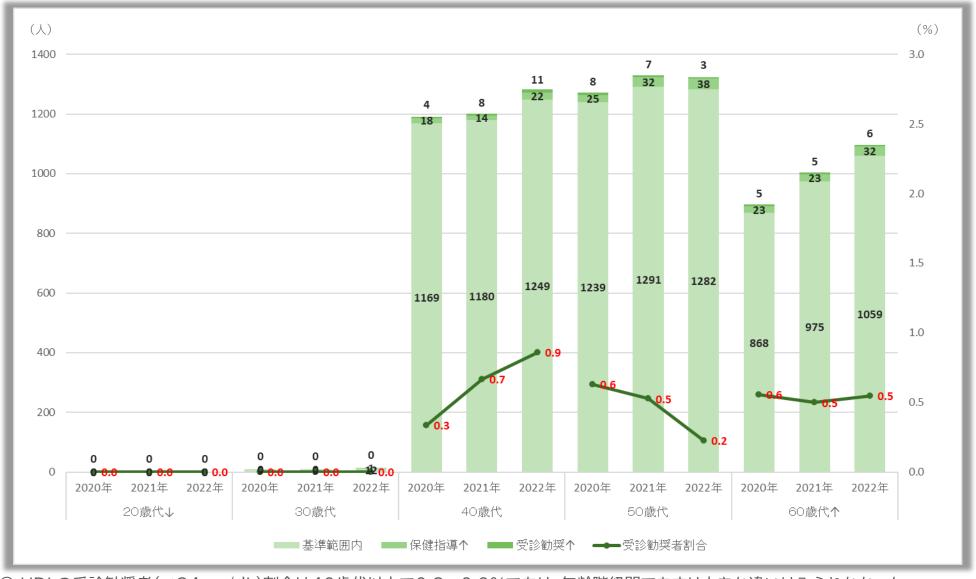
◎ 中性脂肪の受診勧奨者割合は女性より男性で倍以上高く、40、50歳代が3~5.4%、60歳代以上が若干低めの2.8~3.8%であった。

【4-3-05】健康分布 検査·計測 中性脂肪 ③女性



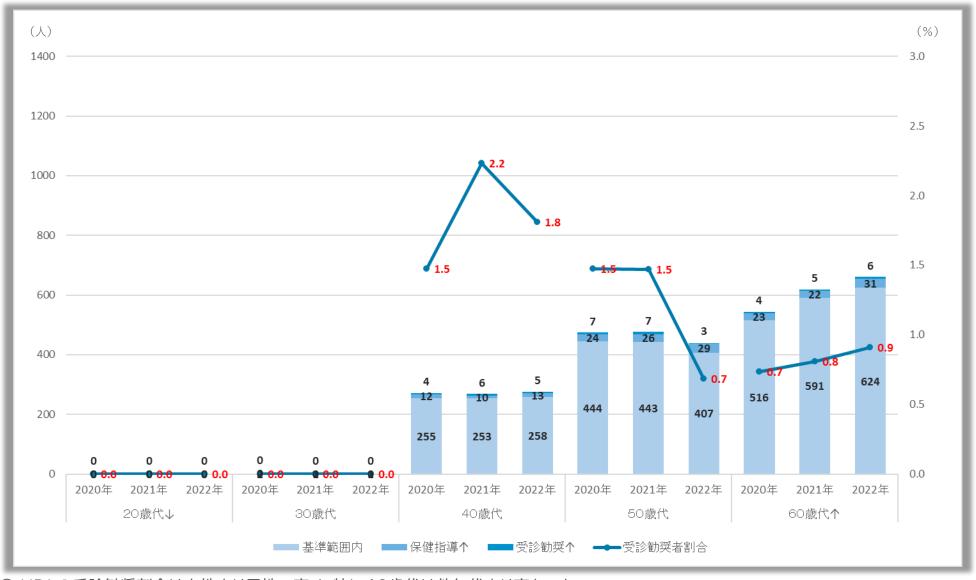
◎ 女性の中性脂肪受診勧奨者割合は男性より低く、最高で1.4%であった。

【4-3-06】健康分布 検査·計測 HDL ①男女計



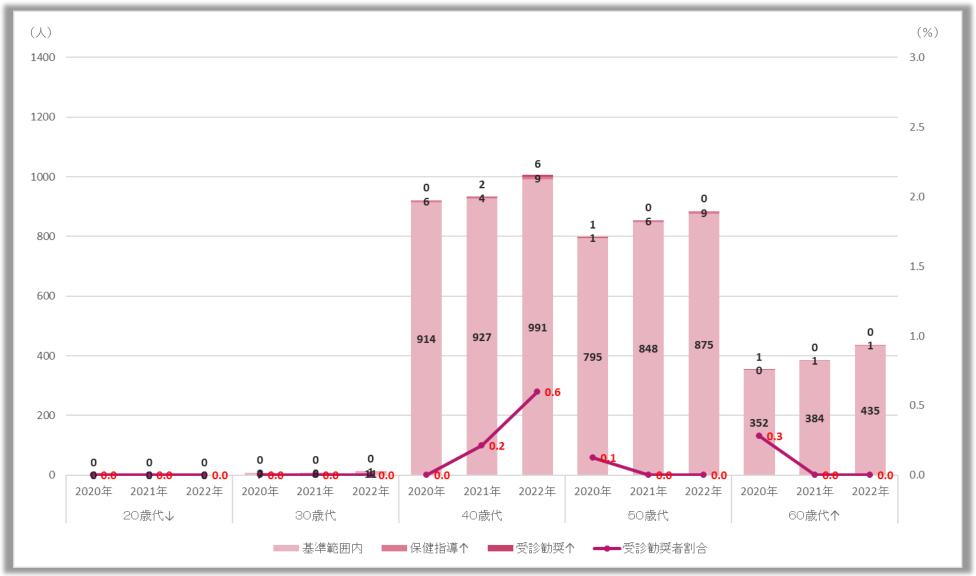
- ◎ HDLの受診勧奨者(≦34mg/dL)割合は40歳代以上で0.2~0.9%であり、年齢階級間であまり大きな違いはみられなかった。
- ◎ 40歳代は経年度推移で増加傾向であるため注意を要する。

【4-3-05】健康分布 検査·計測 HDL ②男性



- ◎ HDLの受診勧奨割合は女性より男性で高く、特に40歳代は他年代より高かった。
- ◎ 年齢階級が増すごとに減少傾向だが、60歳代以上では経年度的に増加傾向のため注意を要する。

【4-3-06】健康分布 検査·計測 HDL ③女性



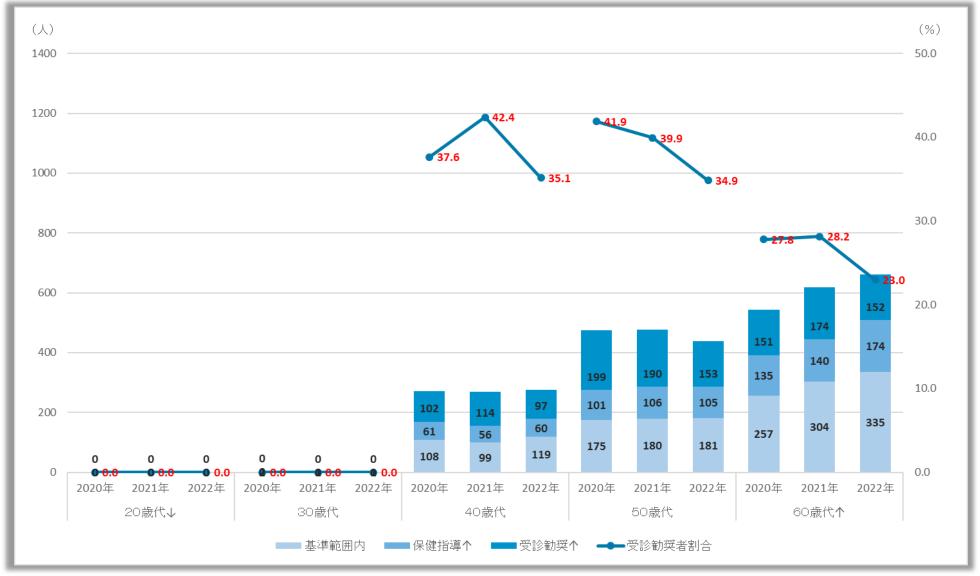
◎ 女性のHDL受診勧奨者割合は男性より低いが、40歳代が他年代より若干高く、また経年度的に増加傾向であったため注意を要する。

【4-3-07】健康分布 検査·計測 LDL ①男女計



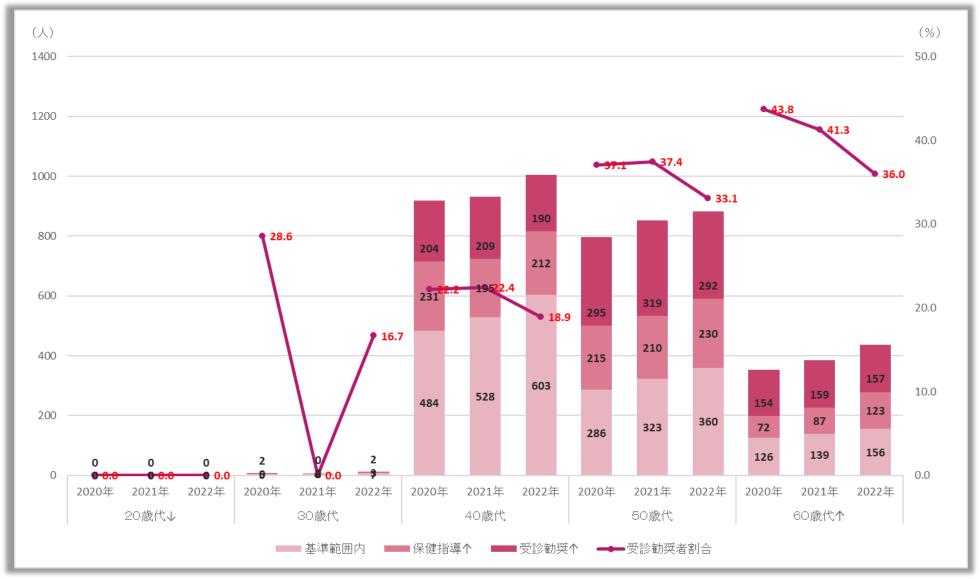
- ◎ LDL受診対象者(≥140mg/dL)割合は男女計で50歳代が最も多く、次いで60歳代以上、40歳代であった。
- ◎ 40歳代~60歳代では概ね経年度的な減少傾向がみられた。

【4-3-07】健康分布 検査·計測 LDL ②男性



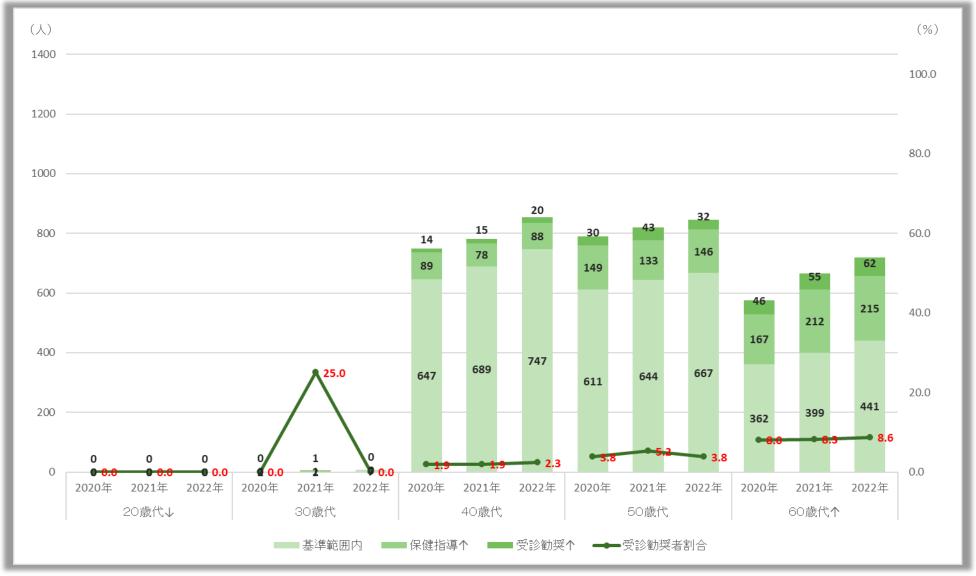
- ◎ 男性のLDLの受診勧奨者割合は40、50歳代でほぼ同じで34~42%で、60歳代では減少した。
- ◎ 40歳代~60歳代では概ね経年度的な減少傾向がみられた。

【4-3-07】健康分布 検査·計測 LDL ③女性



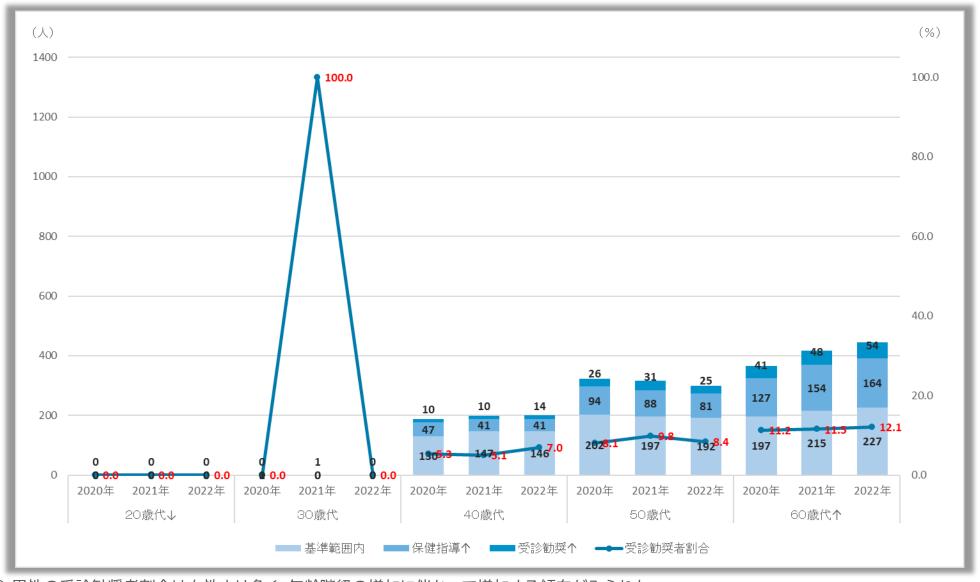
- ◎ 女性のLDL受診勧奨者割合は年齢階級の増加に伴って急増し、40歳代の18~22%に比べ、60歳代以上では36~43%と倍近くの割合を示した。
- ◎ 50歳以上では閉経に伴って増加したと推察される。経年度的推移では40歳代~60歳代以上それぞれで減少傾向であった。

【4-3-08】健康分布 検査·計測 空腹時血糖 ①男女計



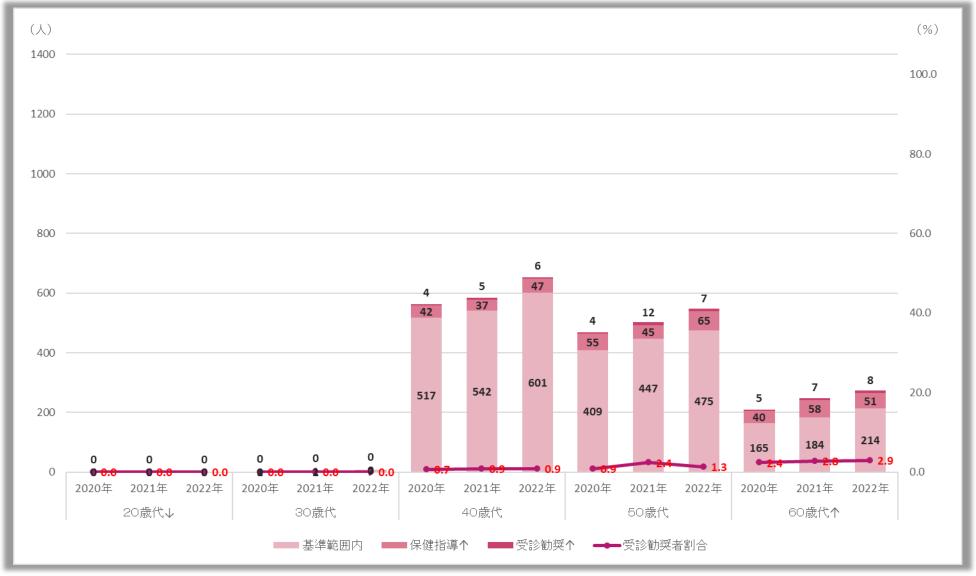
◎ 空腹時血糖の受診勧奨者(≥126mg/dL)割合は、年齢階級の増加に伴い増加し、60歳代以上では8%であった。

【4-3-08】健康分布 検査·計測 空腹時血糖 ②男性



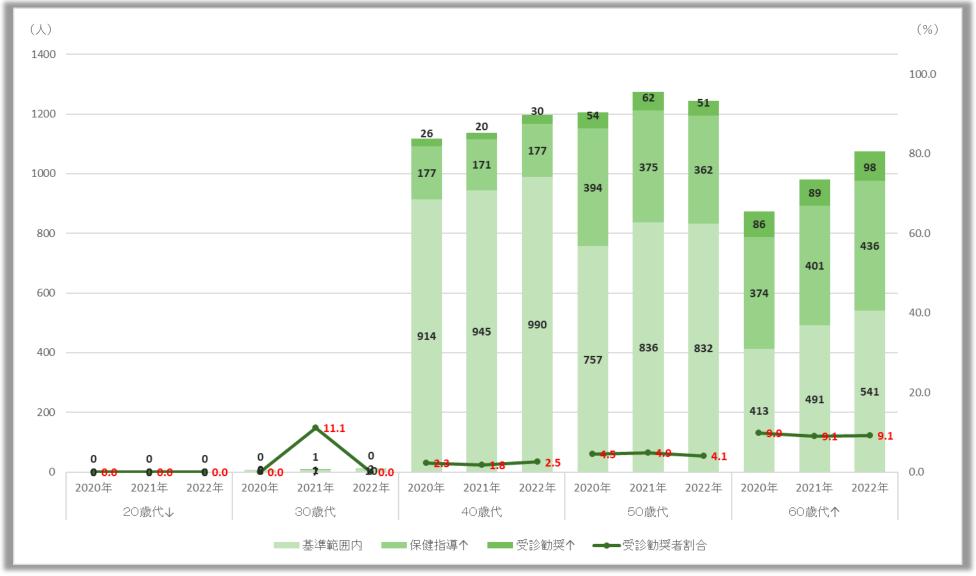
- ◎ 男性の受診勧奨者割合は女性より多く、年齢階級の増加に伴なって増加する傾向がみられた。
- ◎ 40歳代は5~7%に対し、60歳代以上では11~12%であった。

【4-3-08】健康分布 検査·計測 空腹時血糖 ③女性



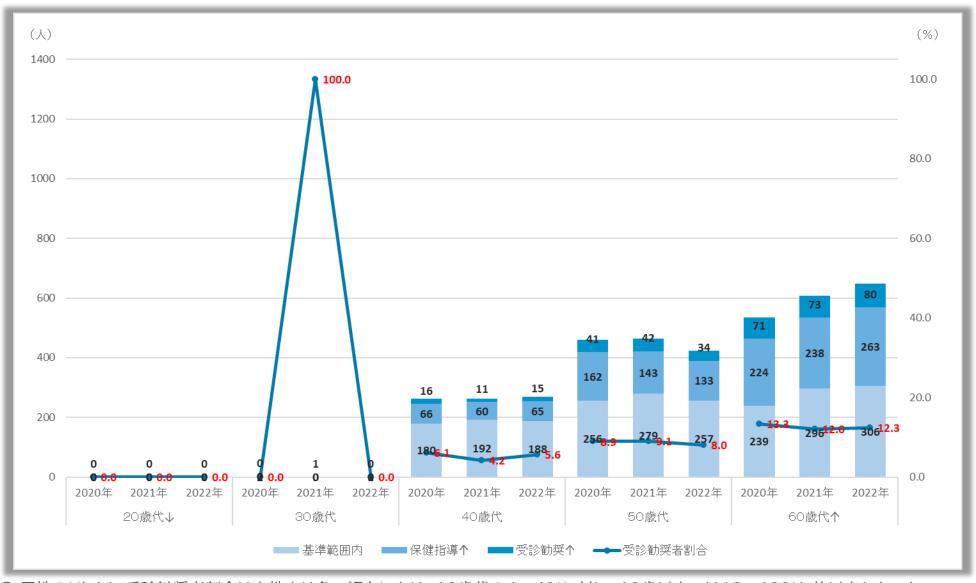
◎ 女性の空腹時血糖受診勧奨者割合は男性より低く、60歳代以上が他の年代よりやや多かったが年齢階級の影響もあまりみられなかった。

【4-3-09】健康分布 検査·計測 HbA1c ①男女計



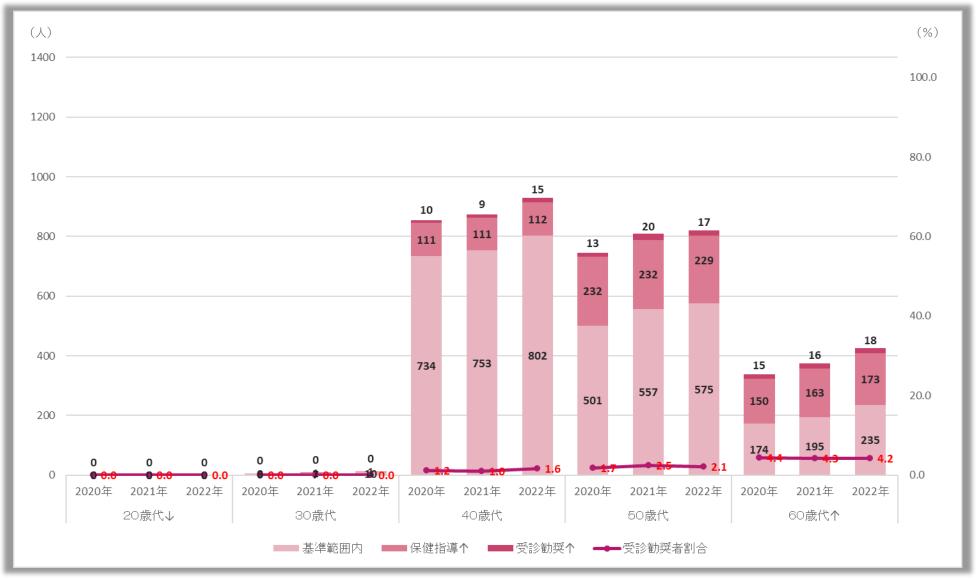
◎ HbA1c受診勧奨者(≧6.5)割合は、男女計で年齢階級が増すにつれて増加し、40歳代で1.8~2.5%、60歳代以上では9%であった。

【4-3-09】健康分布 検査·計測 HbA1c ②男性



◎ 男性のHbA1c受診勧奨者割合は女性より多い傾向にあり、40歳代の4~6%に対し、60歳以上では12~13%と倍以上となった。

【4-3-09】健康分布 検査·計測 HbA1c ③女性



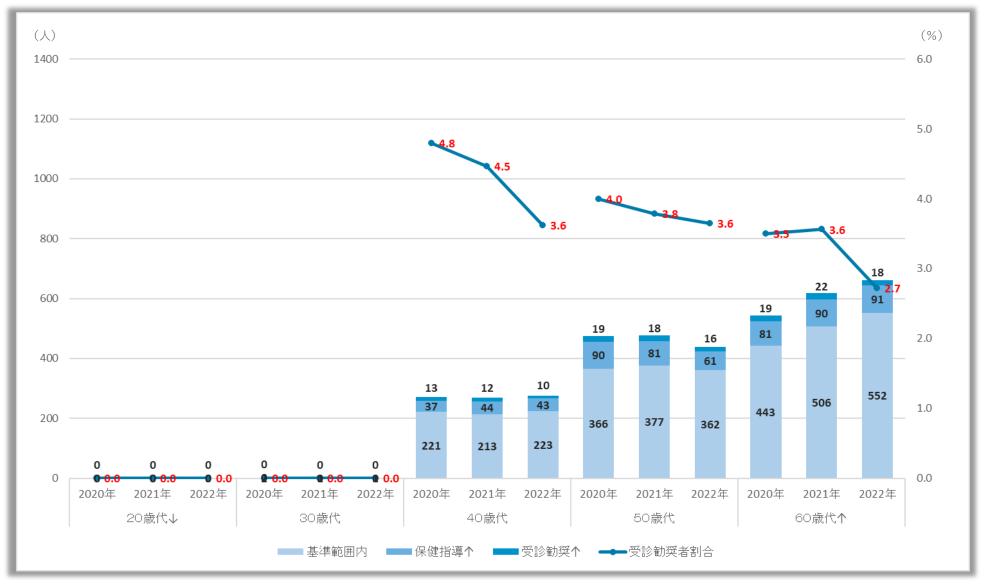
◎ 女性のHbA1c受診勧奨者割合は全体的に男性より少ないが、60歳代以上では40歳代(1.0~1.6%)に比べて増加がみられた(4%)。

【4-3-10】健康分布 検査·計測 AST(GOT) ①男女計



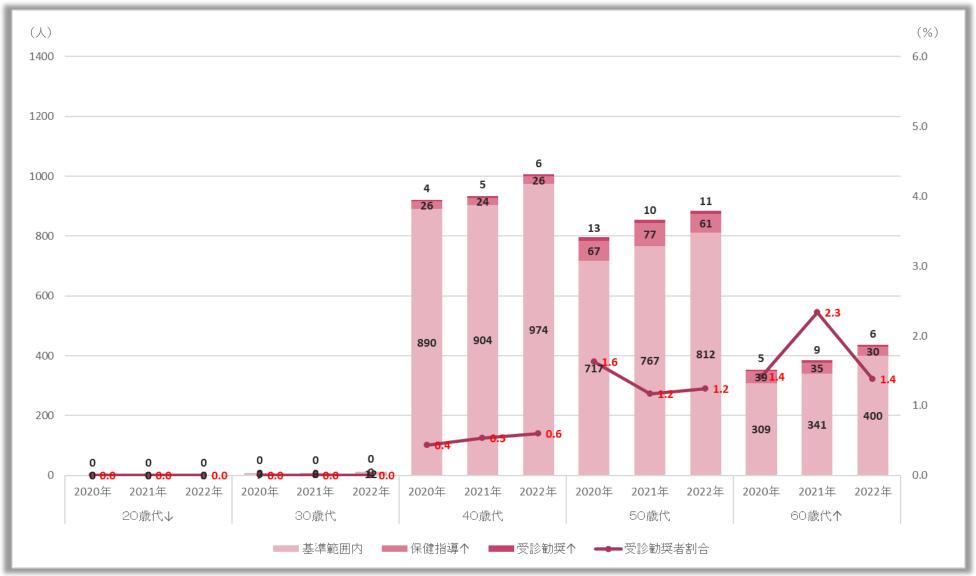
◎ ASTの受診勧奨者(≥51U/L)割合は男女計では年齢階級が増すに伴い若干の増加傾向がみられた。

【4-3-10】健康分布 検査·計測 AST (GOT) ②男性



- ◎ AST受診勧奨者割合は女性より男性で高く、年齢階級が低いほど(特に40歳代で)高い傾向がみられた。
- ◎ 経年度的な推移では、40歳代~60歳代以上で減少傾向であった。

【4-3-10】健康分布 検査·計測 AST(GOT) ③女性



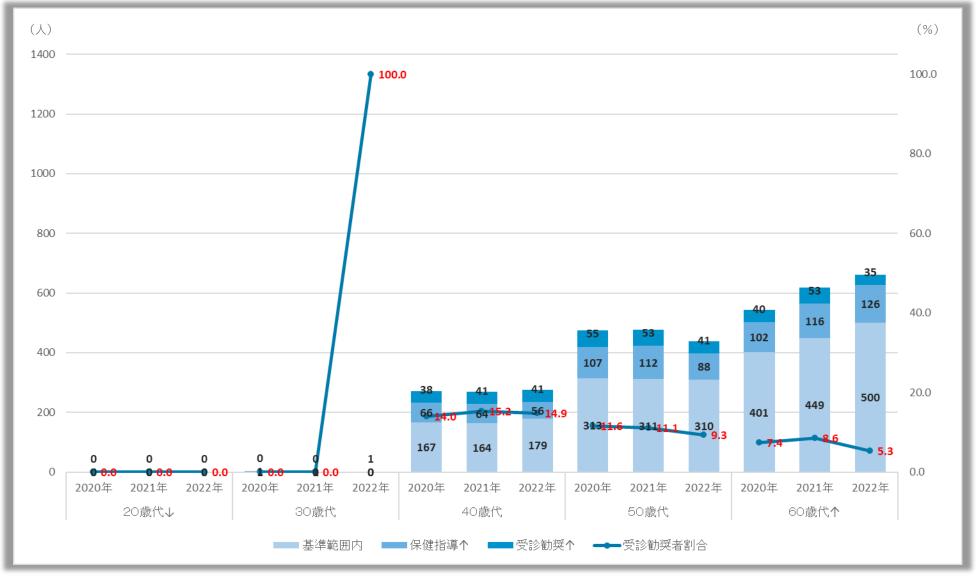
◎ 女性のAST受診勧奨者割合は男性より低いが、年齢階級が増すに伴い増加傾向であった。50歳代以上では40歳代の倍以上の数値となっている年度もあった。

【4-3-11】健康分布 検査·計測 ALT(GPT) ①男女計



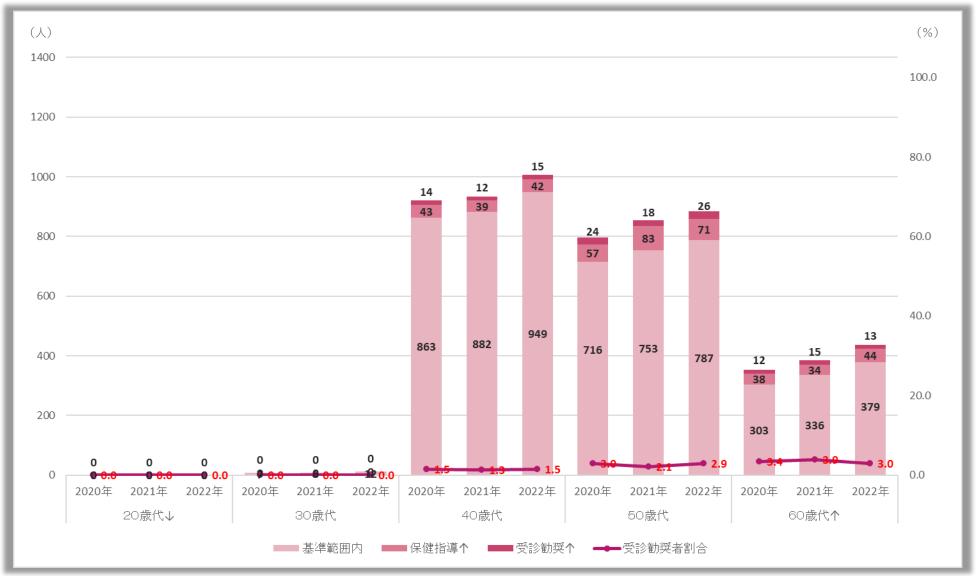
◎ ALT受診勧奨対象者(≥51U/L)割合は、男女計でASTに比べて倍ほど高く、40歳代から60歳代以上にかけてはほぼ同等か若干増加傾向であった。

【4-3-11】健康分布 検査·計測 ALT (GPT) ②男性



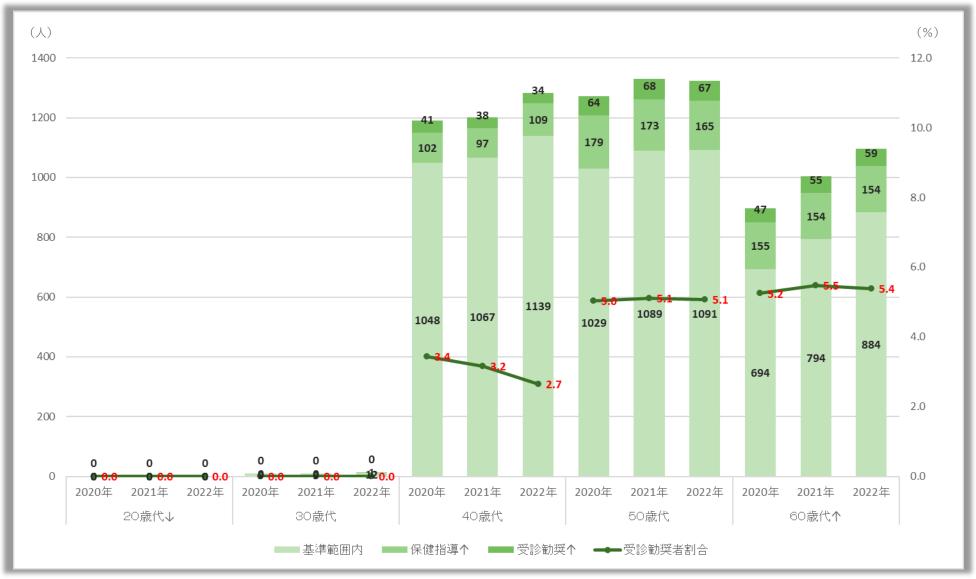
[◎] 男性のALT受診勧奨者割合は女性より高かった。また年齢階級が増すに伴いゆるやかな減少傾向がみられた。

【4-3-11】健康分布 検査·計測 ALT(GPT) ③女性



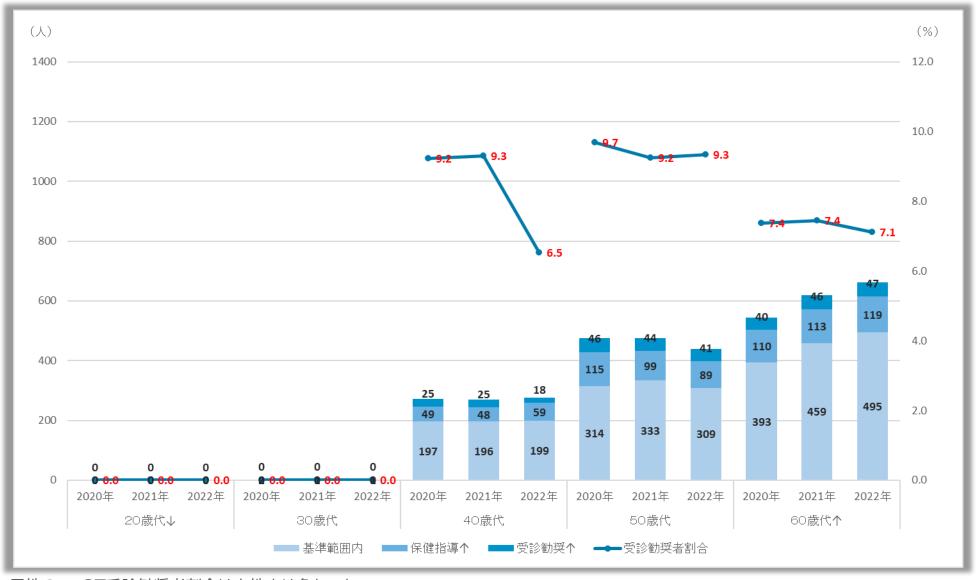
◎ 女性のALT受診勧奨者割合は男性よりは低く、40歳代で最も低く1.3~1.5%、60歳以上は若干高く3~3.9%であったが、年齢階級の増加に伴って緩やかな増加傾向がみられた。

【4-3-12】健康分布 検査・計測 γ -GT(γ -GTP) ①男女計



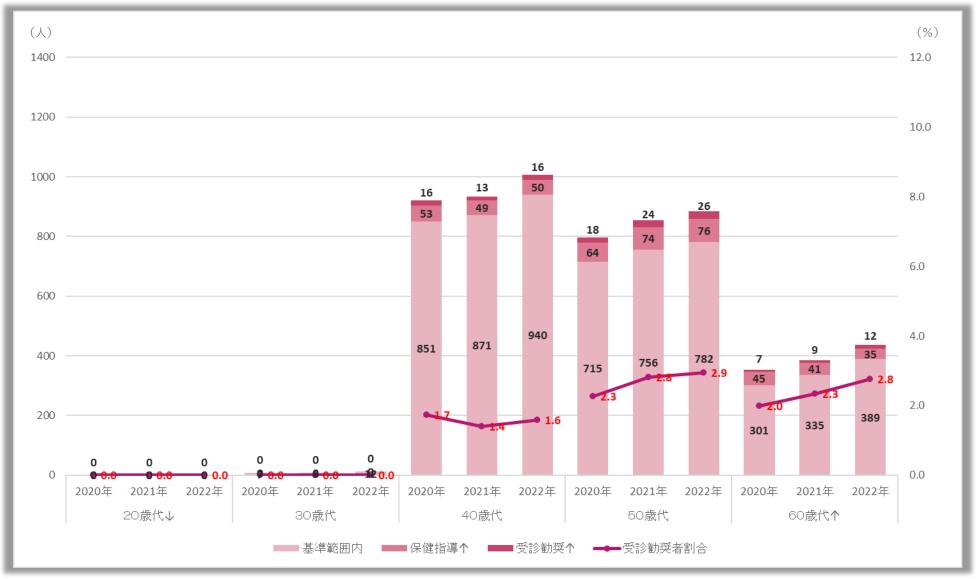
- ◎ γ -GTの受診勧奨者(\ge 101U/L)割合は、40歳代が最も低く2.7 \sim 3.4%、50歳代、60歳代以上はほぼ同じで5%であった。
- ◎ 40歳代は受診勧奨者割合が経年度的に減少傾向であった。

【4-3-12】健康分布 検査・計測 γ -GT(γ -GTP) ②男性



- ◎ 男性のγ-GT受診勧奨者割合は女性より多かった。
- ◎ 受診勧奨者割合は40、50歳代がほぼ同等の9%前後、60歳代以上がやや低下し7%であった。

【4-3-12】健康分布 検査・計測 γ -GT(γ -GTP) ③女性



- ◎ 女性のγ-GT受診勧奨者割合は男性よりは少なかった。
- ◎ 受診勧奨者割合は40歳代が低<1.4~1.7%、50歳代、60歳代以上2.0~2.9%がやや増加であった。また50歳代、60歳代以上は経年度的に増加傾向であった。

【4-4-01】健康分布 喫煙率 (①実数)

男性	【2020年度】				【2021年度】		【2022年度】		
	有効回答者数	喫煙者数	喫煙率	有効回答者数	喫煙者数	喫煙率	有効回答者数	喫煙者数	喫煙率
年 代	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)
全 体	1, 292	215	16.6	1,362	220	16.2	1,367	217	15.9
20歳代↓	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
30歳代	2	1	50.0	1	1	100.0	1	1	100.0
40歳代	271	54	19.9	268	58	21.6	272	58	21.3
50歳代	476	92	19.3	475	86	18.1	435	81	18.6
60歳代↑	543	68	12.5	618	75	12.1	659	77	11.7

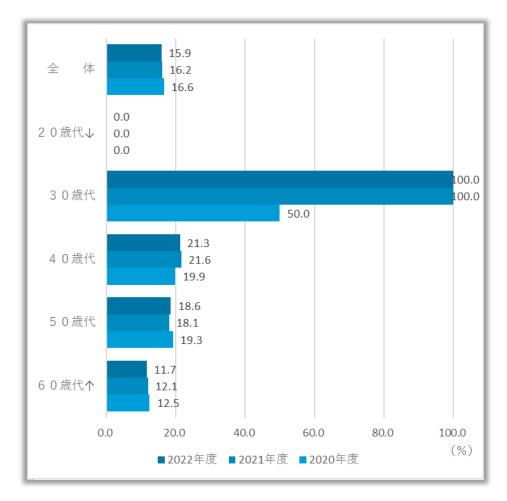
女性	【2020年度】			【2021年度】			【2022年度】		
	有効回答者数	喫煙者数	喫煙率	有効回答者数	喫煙者数	喫煙率	有効回答者数	喫煙者数	喫煙率
年 代	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)	(%)
全 体	2,074	281	13.5	2, 178	289	13.3	2,310	295	12.8
20歳代↓	0	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
30歳代	7	2	28.6	8	1	12.5	12	2	16.7
40歳代	918	151	16.4	931	153	16.4	990	146	14.7
50歳代	796	111	13.9	853	116	13.6	876	121	13.8
60歳代↑	353	17	4.8	386	19	4.9	432	26	6.0

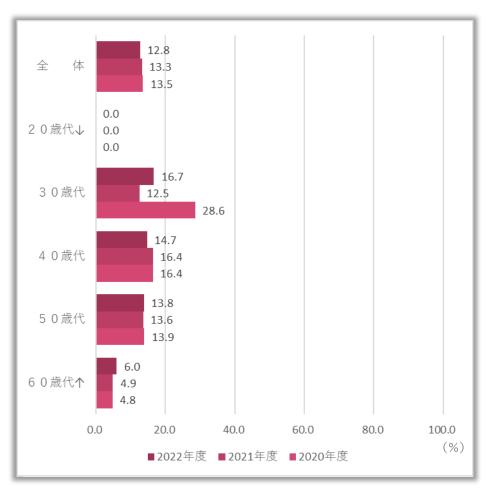
[◎] 喫煙率は男性は15%台、女性が12%台で男女とも経年度的に喫煙率の低下がみとめられた(男性全体16.6⇒15.9%、女性13.5⇒12.8%)。

^{◎ 40}歳代以上では、男女とも40歳代の喫煙率が高く、これら年齢層を中心に喫煙率を下げる対策が必要と考えられる。厚労省の2022年度の国民生活基礎調査では、全体で男性の喫煙率は25.4%、女性は7.7%であり、それと比べると男性は国の基準より低く、逆に女性が高めであったため、特に女性の禁煙対策が望まれる。

男 性

女性





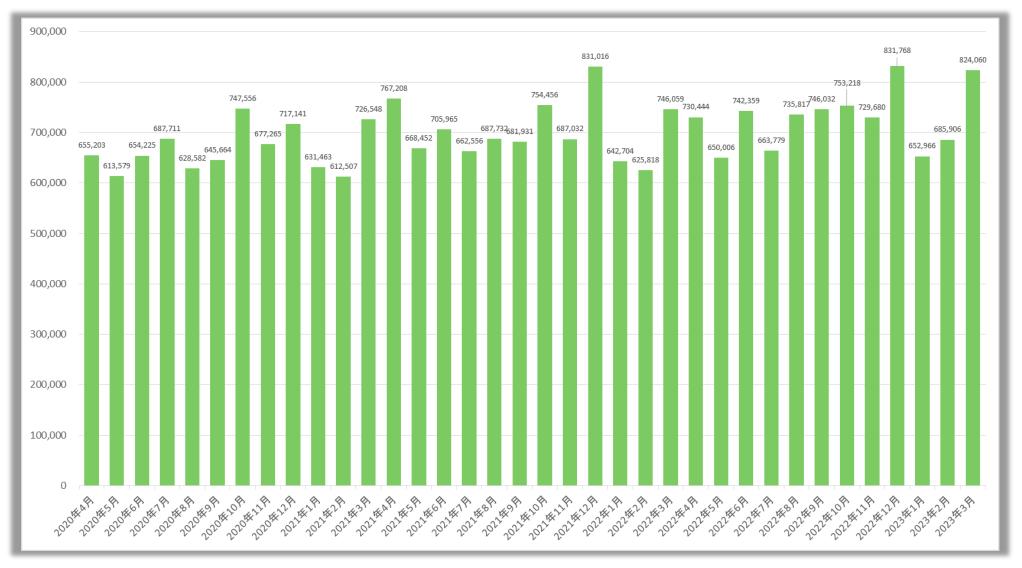
◎ 厚生労働省 2022年 国民生活基礎調査では、40歳代および50歳代の喫煙率は男性で35%および33%、女性で11%および12%であり、比較すると男性は全国基準よりも低く、女性は基準よりも高かった。男性はさらなる禁煙対策、女性はより積極的な禁煙対策が必要と考えられる。

3 医療費

4健康分布

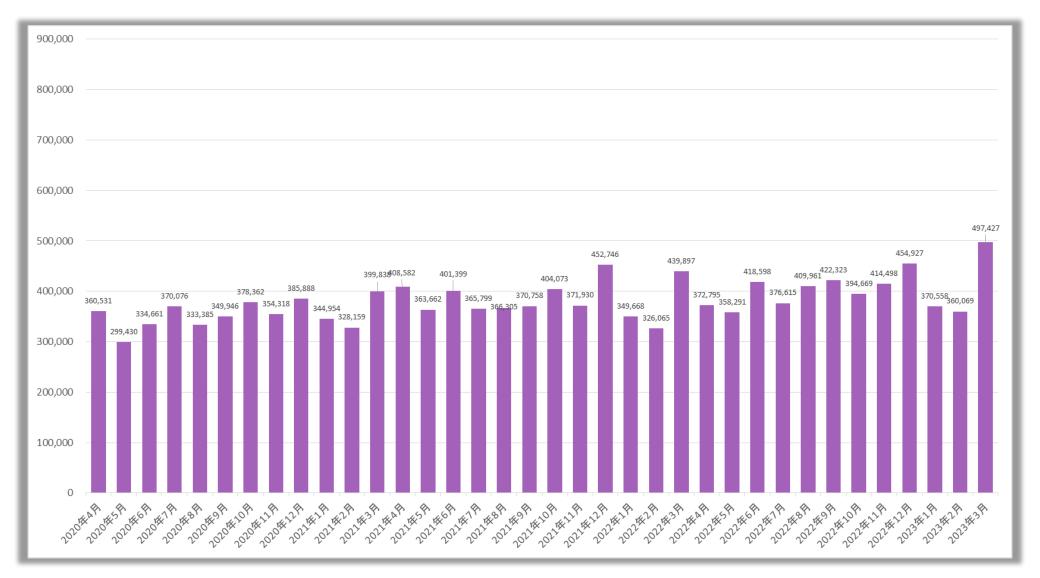
5 後発医薬品

【5-1-00】後発医薬品 数量 全体



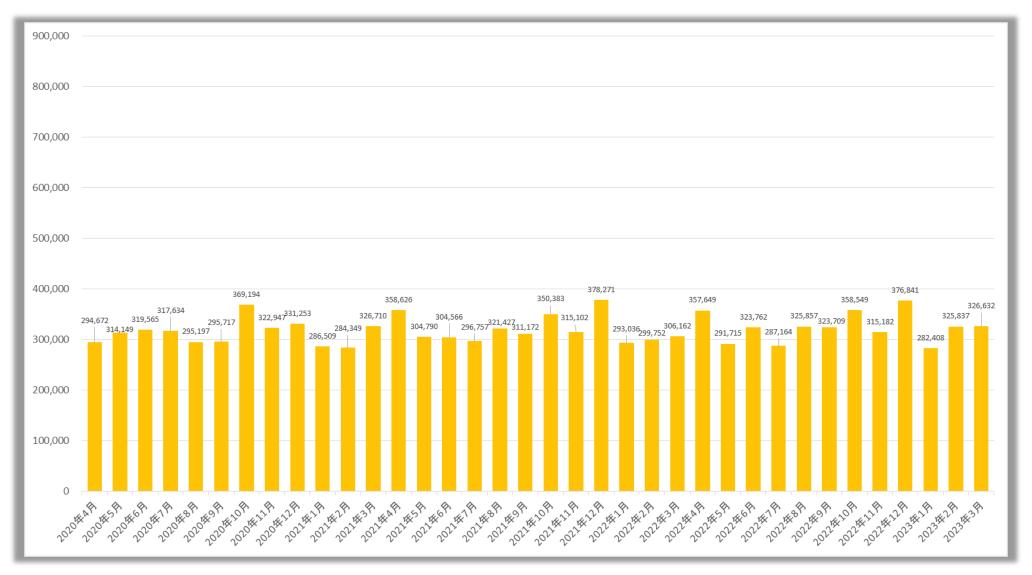
- ◎ 後発医薬品の全体の数量は2022年度にかけて緩やかに増加傾向であった。
- ◎ 後発医薬品の使用月は3月前後(花粉症)、12月前後(感冒)に多い傾向がみられた。

【5-1-01】後発医薬品 数量 被保険者



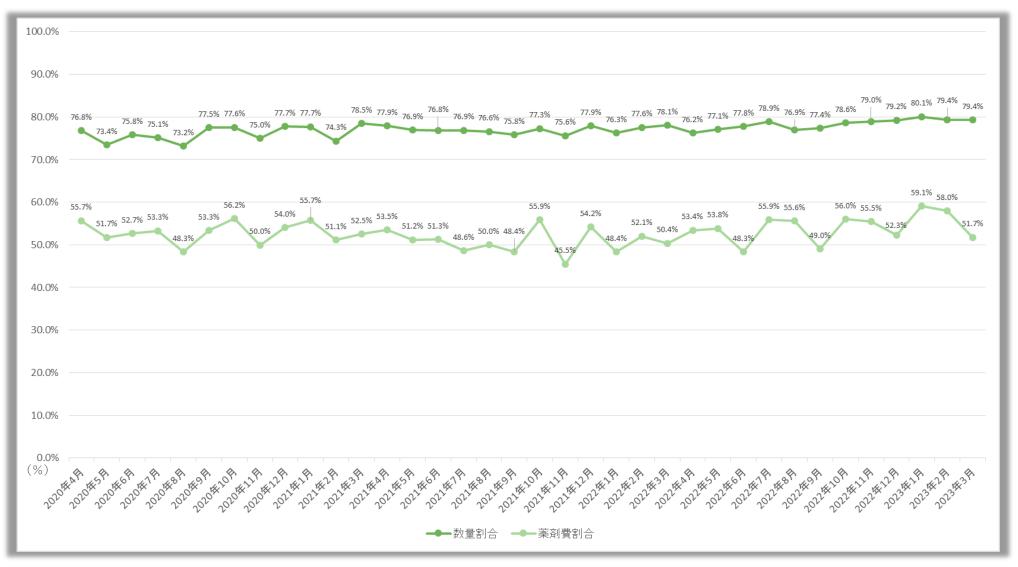
- ◎ 被保険者の後発医薬品の数量は、2020年度から2022年度にかけてやや増加傾向であった。
- ◎ 後発医薬品の使用は、3月前後、7月前後、12月前後に多い傾向が見られた。

【5-1-02】後発医薬品 数量 被扶養者



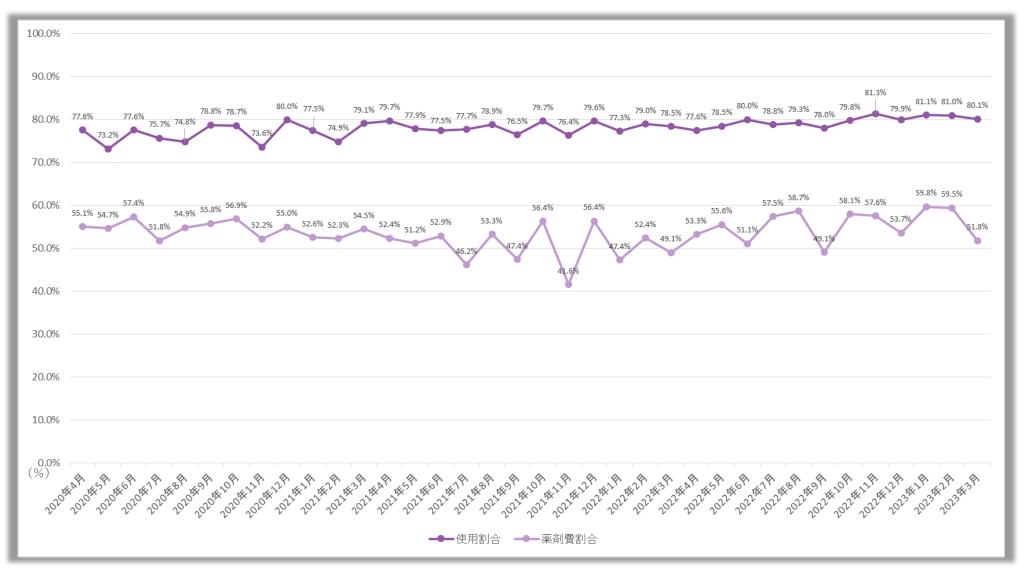
- ◎ 被扶養者の後発医薬品の数量は、2020~2022年度でほぼ横ばいであった。
- ◎ 後発医薬品の使用は、12月、3月に多い傾向が見られた。

【5-2-00】後発医薬品 数量・薬剤費割合 全体



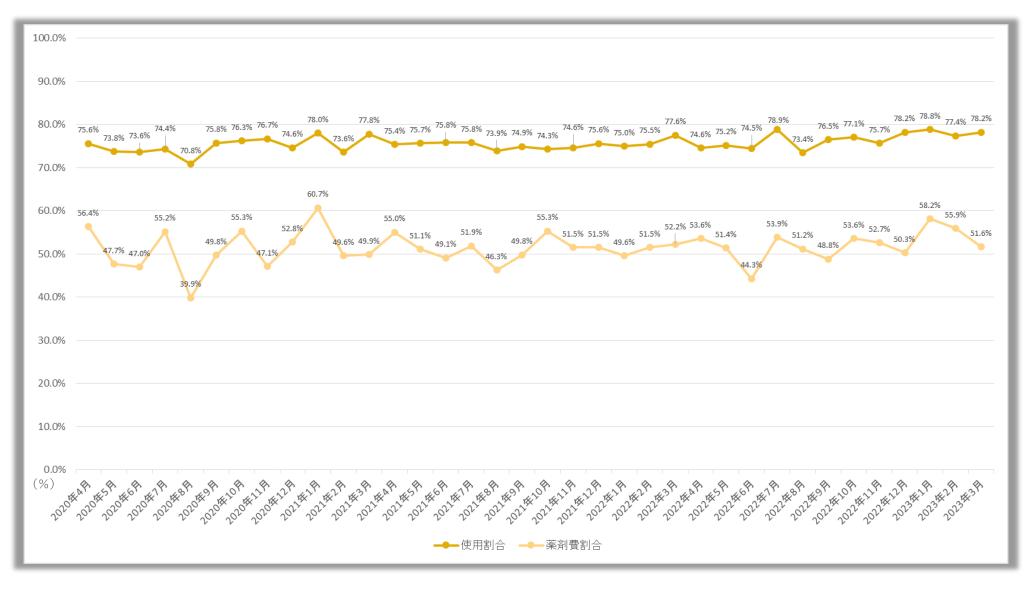
- ◎ 後発医薬品の数量割合は、概ね70%台前半から後半の微増で推移した。
- ◎ 薬剤費割合は使用月による変動はあるがほぼ横ばいでの推移で50%台であった。

【5-2-01】後発医薬品 数量・薬剤費割合 被保険者



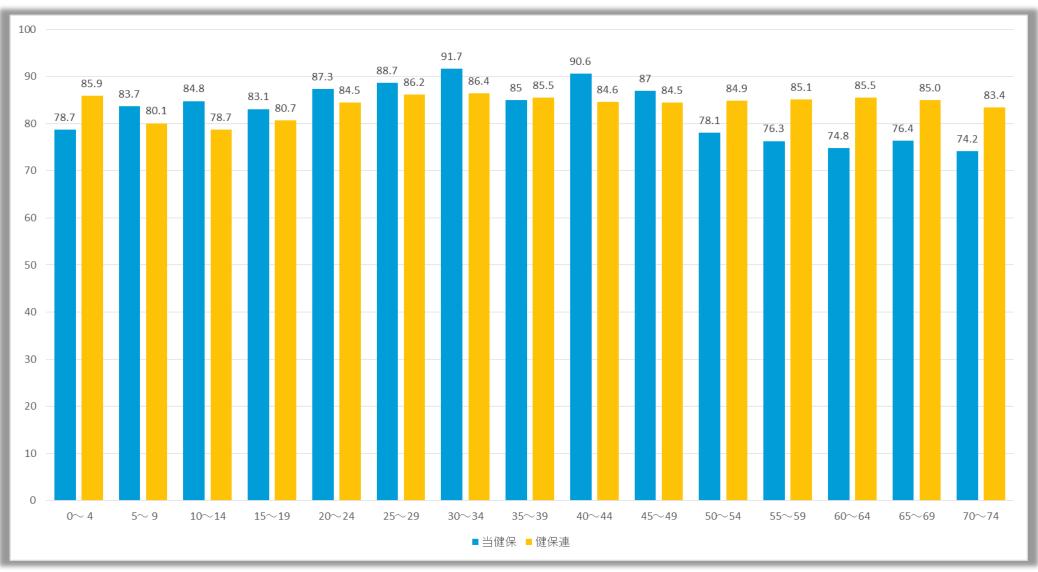
- ◎ 後発医薬品使用割合は被保険者については70%台での推移だったが、2023年度後半に向かって80%台になる月もあった。
- ◎ 薬剤費割合は月ごとに変動はあるが、2023年度にかけて若干の増加がみられた。(最大:59.8%、最小:41.6%)

【5-2-02】 後発医薬品 数量·薬剤費割合 被扶養者



- ◎ 被扶養者の後発医薬品使用割合はほぼ横ばいの70%台で推移した。
- ◎ 薬剤費割合は月ごとの変動はあるが、こちらもほぼ横ばいの推移であった。

【5-3-01】後発医薬品 数量割合 比較



◎ 後発医薬品の数量割合を2023年1月調剤分で健保連データと年齢階級別に比較したところ、5~49歳は健保連とほぼ同等か若干多めであったが、50歳以上の高齢者と0~4歳は少なかった。